

アセスメントデータ BOOK 2024

－各種調査・アンケート回答結果－

東京女子体育大学

東京女子体育短期大学

目 次

【Ⅰ】アセスメント報告

1. 学習成果の測定・評価方法

- 1) アセスメント・ポリシー.....1
- 2) 学習成果の測定・評価指標.....2
- 3) アセスメントマップ.....3
- 4) アセスメント年次進行表(R5～R7).....4

2. 令和6年度アセスメント報告

- 1) 入学試験におけるアセスメントチェック.....5
- 2) 退学率・休学率・GPA.....10
- 3) 進路状況・卒業生アンケート・就職先インタビュー.....17
- 4) 教職センターアセスメント.....45
- 5) 入学者アンケート.....60
- 6) スターターズプログラム実施結果.....70
- 7) 授業評価アンケート.....87
- 8) 体力テストアセスメント報告.....89
- 9) PROG テスト.....94

【Ⅱ】各種調査・アンケート集計結果

1. 大学の生活と学びに関するアンケート

- 1) 集計結果.....101
- 2) 設問内容.....115
- 3) 参考資料.....119

【Ⅰ】アセスメント報告

1. 学習成果の測定・評価方法

1) アセスメント・ポリシー

東京女子体育大学、東京女子体育短期大学では「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）、「入学者受け入れの方針」（アドミッション・ポリシー）に基づき「学習成果を評価するための評価方針」を策定しています。この方針に沿って、機関（大学・短期大学全体）、教育課程（学科）、授業科目の3段階のレベルで学習成果と教育効果に関する測定・評価を以下のとおり行います。

<学習成果を評価するための評価方針>

学習成果を評価するための評価方針

1. 学習成果の評価基準

本学における学習成果は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、求める各能力の修得状況について、達成すべき資質・能力を以下の観点から評価します。なお、具体的な評価要件は下記に示すとおりです。

- ① 人間形成・知識・技能・理解力・指導力
- ② 実践的に必要な思考力・判断力・表現力
- ③ 社会との関わり・関心・意欲

2. 学習成果の評価方法

1. 機関レベル※

学生の就職率、卒業年次を実施する学習成果測定アンケート（卒業時アンケート）、就職先インタビュー、卒業生調査等によって、達成すべき資質・能力の修得状況进行评估します。

2. 教育課程レベル（学科レベル）

卒業・進級要件の達成状況（単位修得状況・GPA）、学部・学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況、学習成果測定アンケート等によって、達成すべき資質・能力の修得状況进行评估します。

3. 授業科目レベル

シラバスで提示された成績評価基準等に基づいて、達成すべき資質・能力の修得状況进行评估します。

※機関レベルには、大学及び短期大学が含まれる

3. アセスメントの活用

1. 教育課程の編成
2. FD活動の推進
3. 自己点検・評価活動
4. 学生支援
5. その他

運用は、内部質的保証システムによる。

2) 学習成果の測定・評価指標

◆東京女子体育大学の学習成果の測定・評価指標

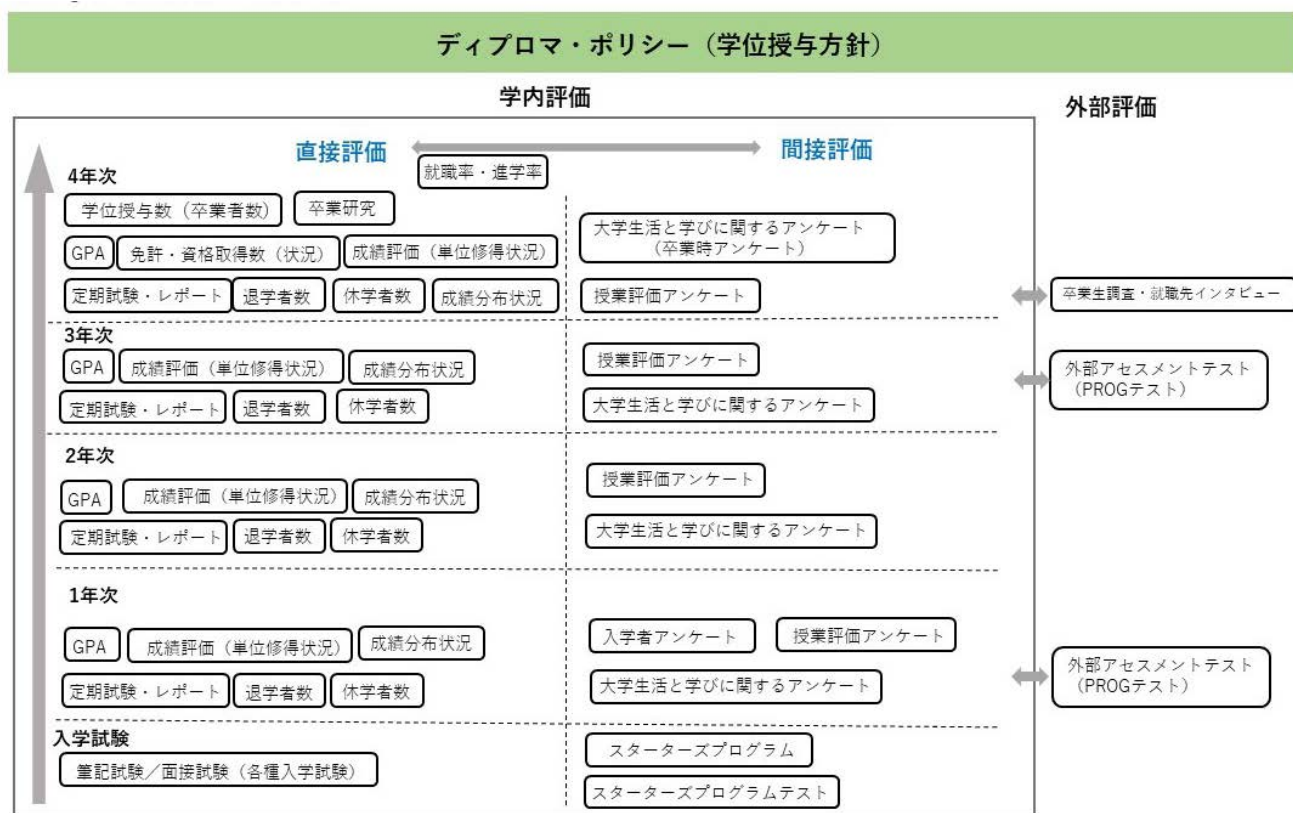
	入学前・入学時	在学中	卒業時・卒業後
機関レベル (大学全体レベル)	・各種入学試験	・退学者数 ・休学者数 ・大学生活と学びに関するアンケート	・学位授与数（卒業者数） ・就職率、進学率 ・免許・資格取得数（状況） ・大学生活と学びに関するアンケート（卒業時アンケート） ・卒業生調査 ・就職先インタビュー
教育課程レベル (学科レベル)	・スターターズプログラム ・入学者アンケート ・外部アセスメントテスト（PROGテスト）	・成績評価（単位修得状況） ・GPA ・スターターズプログラムテスト ・大学生活と学びに関するアンケート ・外部アセスメントテスト（PROGテスト）	・卒業研究
授業科目レベル		・定期試験・レポート ・成績分布状況 ・授業評価アンケート	

◆東京女子体育短期大学の学習成果の測定・評価指標

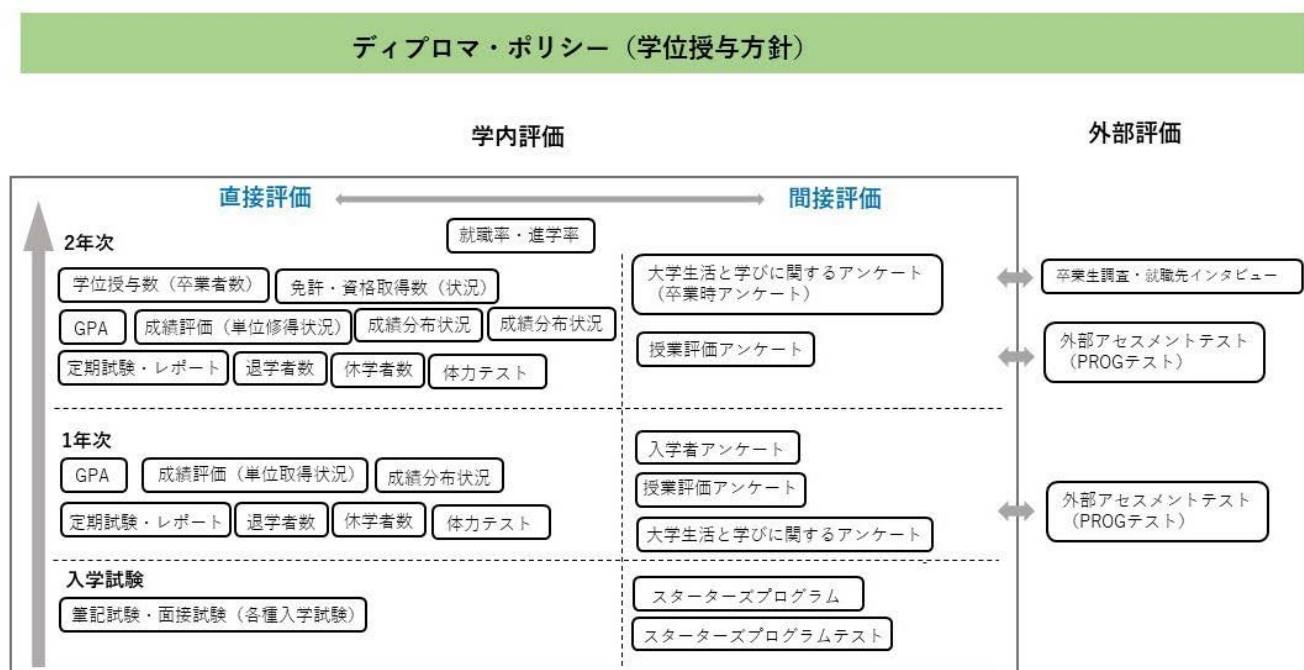
	入学前・入学時	在学中	卒業時・卒業後
機関レベル (短大全体レベル)	・各種入学試験	・退学者数 ・休学者数 ・大学生活と学びに関するアンケート	・学位授与数（卒業者数） ・就職率、進学率 ・免許・資格取得数（状況） ・大学生活と学びに関するアンケート（卒業時アンケート） ・卒業生調査 ・就職先インタビュー
教育課程レベル (学科レベル)	・スターターズプログラム ・入学者アンケート ・外部アセスメントテスト（PROGテスト）	・成績評価（単位修得状況） ・GPA ・大学生活と学びに関するアンケート ・スターターズプログラムテスト ・外部アセスメントテスト（PROGテスト） ・体力テスト	
授業科目レベル		・定期試験・レポート ・成績分布状況 ・授業評価アンケート	

3) アセスメントマップ

◆東京女子体育大学アセスメントマップ



◆東京女子体育短期大学アセスメントマップ



アセスメント年次進行予定表（R5～R7）

レベル	評価指標	関連部署	令和5年度												令和6年度												令和7年度												卒業後	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
機関 レベル	入学試験	入試	●	◆	◆	■		★	★	★	★	★	★		●	●		■		★	★	★	★	★	★		●	●		■		★	★	★	★	★	★	◆		
	退学率	教務・学生・入試		★	◆	◆	■										★	◆	■		■								★	●	◆		■	■						
	休学率	教務・学生・入試		★	◆	◆	■											★	◆	■		■							★	●	◆		■	■						
	学生調査アンケート	企画						★			●	◆		■	アンケート統合												アンケート統合													
	学位授与数	教務・学生・入試			◆	■								★	●		◆	■								★	●		◆	■								★	●	
	就職率・進学率	キャリア			●	◆	■							★			●	◆	■							★	●		◆	■								★		
	免許・資格取得状況	教職			●	◆	■							★	●	◆	●	■	■							★	●	●	◆	■	■							★	●	
	資格取得状況	キャリア																											●	◆	■								★	
	学習成果測定アンケート （卒業時）	企画	●	◆	■									★	アンケート統合												アンケート統合													
	大学生活と学びに関するアンケート	企画													●	◆	■								★		●	◆	■									★		
	大学生活と学びに関するアンケート （卒業時）	企画													●	◆	■								★		●	◆	■									★		
	卒業生調査	キャリア			★		●	◆		■							★	●	◆		■									★	●	●	■	■	■				★	●
	就職先インタビュー	キャリア				★		●	◆	■								★		●	◆					■				★		●	■	■	■				★	●
学科 レベル	スターターズ'プロ'ラム	FD・総務		●		■	◆		■				★		●	◆	■								★		●	◆	■									★		
	入学者アンケート	広報	★	●		■								★	●	◆			■							★	●	◆			■									
	体力テスト （短大のみ）	女子研	★				●			◆		■		★			●				◆				★				●				■			■				
	成績評価 （単位取得状況）	教務		◆	■				★	●		◆	■		★	●		★	●	◆	■							★	●	◆	■							◆		
	GPA	教務		◆	■				★	●		◆	■		★	●		★	●	◆	■								★	●	◆	■						◆		
	学習成果測定アンケート	企画	●	◆	■									★	アンケート統合												アンケート統合													
	日本語基礎力テスト	企画	実施しない																																					
	PROGテスト	企画													★	●		■	◆	★	●	■	■	◆	■		★	●		■	■	■	■	■	■	■				
	スターターズ'プロ'ラムテスト	企画	★	●	■	◆						■		★	●	■	■									★	●	◆	■	■										
	卒業研究	教務		◆	■						★	●				◆	■							★	●			◆	■						★	●				
授業科目 レベル	定期試験・レポート	教務		◆	■		★	●				★	●		◆	■		★	●				★	●		◆	■		★	●					★	●				
	成績分布状況	教務			●	◆	■		★	●				★		●	◆	■		★	●			★		◆	■	■		★	●						★	●		
	授業評価アンケート	FD・企画	●	◆	■	★		●	◆	■		★		●	◆	■	■	■		■	■		■	■		●	◆	■	■	★		●	◆		■	■				
シラバス		シラバス部会・教務		■					◆			★		●		■				◆			★		●		■				◆			★			●			

【PDCA】

- ★ 実施（D）
- 部署・委員会 検証（C）（各部署において改善課題の抽出）
- 教育の質保証委員会の検証（C）
- 各部署で改善（案）構築・策定（A.P）
- 教育の質保証委員会で改善策の決定⇒教育の質保証委員会において各部署へ改善措置を指示⇒教授会・理事会提案⇒次年度の計画へ反映、改善

4) アセスメント年次進行表（令和5年～令和7年）

2. 令和6年度アセスメント報告

1) 入学試験におけるアセスメントチェック

入学試験におけるアセスメントチェックの実施結果について

1. 目的

入学試験要綱に沿った入学試験の実施

アドミッションポリシーに沿った入学試験要綱の作成

2. 点検・評価・分析の方法（入試課→企画調査室 提出）

① スターターズプログラムテストの結果を活用

② 入学後の成績、学籍状況を活用

3. 基本情報

2023 年度入学者

体育学科 263 名, 保健体育学科 12 名, こどもスポーツ教育学科 36 名（計 311 名）

4. 結果

① スターターズプログラムテスト

（2023 年度入学者が入学時に受験）

科目： 国語（40 点）、数学（20 点）、英語（40 点） 計 100 点満点

〔受験者数〕

	学生数	受験者数	受験率
体育学部 体育学科	263	259	98.5 %
保健体育学科	12	12	100.0 %
こどもスポーツ教育学科	36	36	100.0 %
計	311	307	98.7 %

〔試験結果〕 平均点

		国語	数学	英語	合計
大学	体育	24.2	11.0	19.0	54.3
短大	保体	21.7	10.3	13.7	45.7
	コスポ	26.4	13.4	19.8	59.8
全体		24.3	11.3	18.9	54.6
標準偏差		8.9	5.2	10.5	19.5

合計点に応じ
ランクを設定

設定ランク	点数	人数
A	82～100	40
B	62～80	58
C	42～60	119
D	22～40	86
E	0～20	4

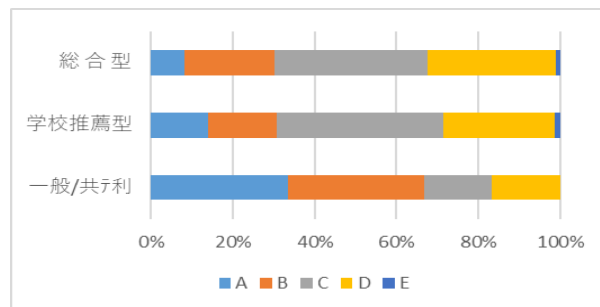
〔入試区分別結果〕

2023年度入学者 入試区分別人数

	総合型	学校推薦型	一般・共テ	計
体育学部 体育学科	77	178	8	263
保健体育学科	3	8	1	12
こどもスポーツ教育学科	7	26	3	36
計	87	212	12	311

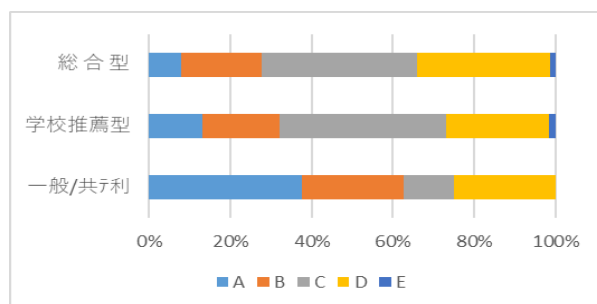
全体

	A	B	C	D	E	計	平均点
総合型	7	19	32	27	1	86	51.4
学校推薦型	29	35	85	57	3	209	55.1
一般/共テ利	4	4	2	2	0	12	68.3
						307	54.6



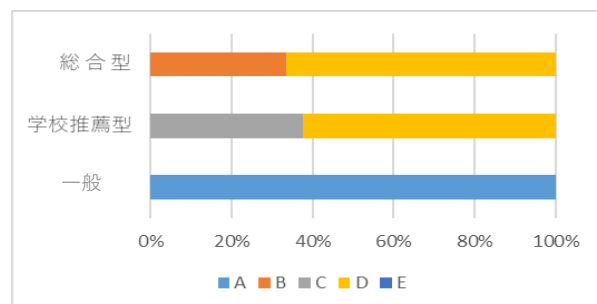
大学

	A	B	C	D	E	計	平均点
総合型	6	15	29	25	1	76	50.1
学校推薦型	23	33	72	44	3	175	55.6
一般/共テ利	3	2	1	2		8	65.0
						259	54.3



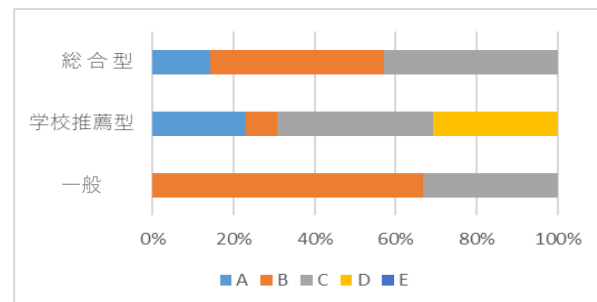
保体

	A	B	C	D	E	計	平均点
総合型		1		2		3	48.7
学校推薦型			3	5		8	38.0
一般	1					1	98.0
						12	45.7



コスボ

	A	B	C	D	E	計	平均点
総合型	1	3	3			7	66.6
学校推薦型	6	2	10	8		26	56.8
一般		2	1			3	67.3
						36	59.8



②-1 入学後の成績

(2023 年度入学生の 1 年次終了時の GPA を調査)

〔学科別 GPA〕

	学生数	最低	最高	GPA平均
体育学部 体育学科	252	0.00	3.83	2.56
保健体育学科	12	2.03	3.57	2.59
こどもスポーツ教育学科	35	2.18	3.83	2.95

R5	R4	R3
2.62	2.44	2.50
2.70	2.51	2.23
2.61	2.68	2.49

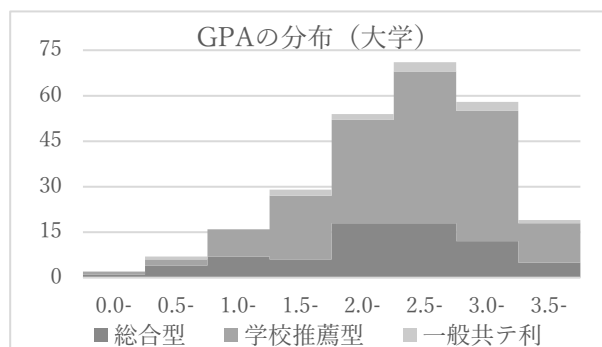
〔入試区分別結果〕

	学生数	最低	最高	GPA平均
総合型	81	0.00	3.83	2.46
学校推薦型	206	0.03	3.83	2.65
一般・共通テスト利用	12	0.98	3.68	2.79

R5	R4	R3
2.57	2.27	2.37
2.64	2.55	2.58
2.67	2.79	2.68

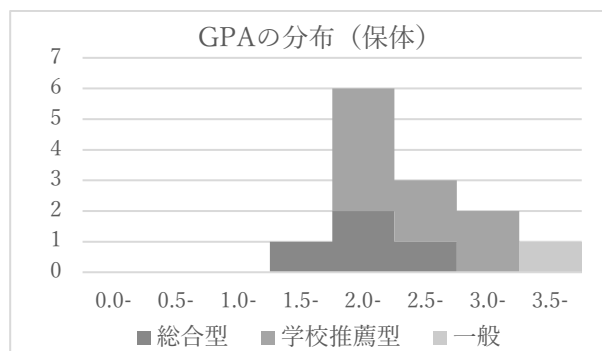
大学 体育学部 体育学科

	GPA	総合型	学校推薦型	一般共通利
大学	0.00 ~ 0.49	1	1	0
	0.50 ~ 0.99	4	2	1
	1.00 ~ 1.49	7	9	0
	1.50 ~ 1.99	6	21	2
	2.00 ~ 2.49	18	34	2
	2.50 ~ 2.99	18	50	3
	3.00 ~ 3.49	12	43	3
	3.50 ~ 4.00	5	13	1
	GPA平均値	2.42	2.60	2.77



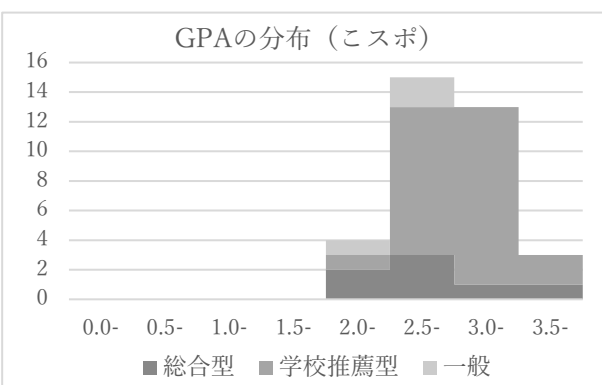
短期大学 保健体育学科

	GPA	総合型	学校推薦型	一般
保体	0.00 ~ 0.49	0	0	0
	0.50 ~ 0.99	0	0	0
	1.00 ~ 1.49	0	0	0
	1.50 ~ 1.99	1	0	0
	2.00 ~ 2.49	2	4	0
	2.50 ~ 2.99	1	2	0
	3.00 ~ 3.49	0	2	0
	3.50 ~ 4.00	0	0	1
	GPA平均値	2.37	2.55	3.57



短期大学 こどもスポーツ教育学科

	GPA	総合型	学校推薦型	一般
こスポ	0.00 ~ 0.49	0	0	0
	0.50 ~ 0.99	0	0	0
	1.00 ~ 1.49	0	0	0
	1.50 ~ 1.99	0	0	0
	2.00 ~ 2.49	2	1	1
	2.50 ~ 2.99	3	10	2
	3.00 ~ 3.49	1	12	0
	3.50 ~ 4.00	1	2	0
	GPA平均値	2.83	3.03	2.58



②－2 学籍状況

(2023 年度入学生の 1 年次終了時の学籍異動を調査→11 名が退学・除籍)

〔入試区分学籍異動〕

受験区分		所属学科	異動
総合型	Ⅰ期 (一般)	大学	退学
		大学	退学
		大学	退学
	Ⅰ期 (卒業生等推薦)	大学	退学
		大学	除籍
	Ⅱ期(一般)	大学	退学
学校推薦型	指定校	大学	退学
		大学	退学
		大学	退学
	スポーツ	大学	退学
		コスポ	退学

5. 分析・考察

I スターターズプログラムテスト

○入試区分別（全体）で見ると、総合型選抜と学校推薦型選抜は C・D ランクの割合が高く、学力試験を課している一般選抜・共通テスト利用選抜の A・B ランクの割合が高いことがわかる。

○学力試験を課している一般選抜・共通テスト利用選抜の A・B ランクの割合が高いが、総合型・学校推薦型はともに得点率 A・B ランク（6 割以上）が 3 割、C ランク（4～6 割）が 4 割、D ランク（2～4 割）が 3 割という分布である。

○入試区分別（大・短、学科別）で見ると、大学の総合型・学校推薦型いずれも C ランクの割合が最も高い。保体は総合型・学校選抜型いずれも D ランクの割合が最も高く、6 割以上を占めている。コスポは学校推薦型選抜での入学者が 7 割以上であるが、その 7 割近くが C・D ランクの成績である。コスポの総合型選抜の半数以上が A・B ランクであり、成績は良好である。

II 入学後 GPA

○学科別に GPA を見ると、コスポの成績が最も高い。

○大学においては、総合型選抜の GPA は 2.00～2.99 に最も多く分布しており、学校推薦型選抜では 2.50～3.49 に最も多く分布している。一般および共テ利用でも 2.50～3.49 に最も多く分布している。

○保体においては、総合型選抜・学校推薦型選抜いずれも GPA が 2.00～2.49 の学生が最も多い。一般選抜の学生（1 名）は GPA が最も高く 3.50～4.00 に位置する。

○コスポにおいては、総合型選抜の GPA は 2.50～2.99 の学生が最も多く、学校推薦型選抜は 3.00～3.49 の学生が最も多い。

III 結論とまとめ

○入学前のスターターズプログラムテストの成績は、全体的に C・D ランクの割合が高く、多くの学生が十分に学習できていないことが考えられる。

○入学後 1 年次の GPA は 2.50 以上の学生の割合が高く、1 年次は熱心に学修しようとする学生が多くいるのではないかと推測できる。特に学校推薦型選抜入学者の 1 年次の GPA が高い傾向にある。

○総じて短大の GPA が高い。特に保体は入学時のスターターズプログラムテストの成績が飛び抜けて悪かったにも関わらず GPA の低い学生が少ないのは、少人数クラスのため、教員の目が行き届き、手厚い教育を受けられているためではないかと考えられる。

以上（アセスメント担当委員：藤坂・渡邊）

2) 退学・休学率・GPA

教務担当アセスメント実施に関する資料

< 1 > 休学者の推移（平成 28 年度～令和 5 年度 8 年間の経緯）

< 2 > 退学者の推移（平成 28 年度～令和 5 年度 8 年間の経緯）

< 3 > 学年別退学者数(含除籍者)年度推移（令和元年度～令和 5 年度 5 年間の経緯）

< 4 > G P A（令和 4 年度）

- ・ 学科別/学年別分布グラフ
- ・ 学部/学年別/コース毎分布グラフ

休学者の推移（平成28年度～令和5年度）

令和6年6月26日 教務委員会
令和6年7月17日 教育の質保証委員会

【年度別】

①平成28年度

学科	学生数 (学校基本調査)	休学者数	休学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		H28入学	H27入学	H26入学	H25入学 (過年)	
体育学部	1564	18	1.2%	1	3	6	8 (4)	H24(4)
保健体育学科	111	1	0.9%	1	0			
児童教育学科	154	1	0.6%	0	1			
	1829	20		2	4	6	8	

②平成29年度

学科	学生数 (学校基本調査)	休学者数	休学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		H29入学	H28入学	H27入学	H26入学 (過年)	
体育学部	1548	12	0.8%	4	3	1	4 (3)	H25 (3)
保健体育学科	90	1	1.1%	1	0			
児童教育学科	140	1	0.7%	0	1			
	1778	14		5	4	1	4	

③平成30年度

学科	学生数 (学校基本調査)	休学者数	休学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		H30入学	H29入学	H28入学	H27入学 (過年)	
体育学部	1528	11	0.7%	3	4	1	3 (2)	H26(1) R25(1)
保健体育学科	69	0	0.0%	0	0			
児童教育学科	137	2	1.5%	2	0			
	1734	13		5	4	1	3	

④令和元年度

学科	学生数 (学校基本調査)	休学者数	休学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R元入学	H30入学	H29入学	H28入学 (過年)	
体育学部	1495	19	1.3%	3	3	9	4 (3)	H27 (3)
保健体育学科	77	1	1.3%	0	1			
児童教育学科	150	3	2.0%	1	2			
	1722	23		4	6	9	4	

⑤令和2年度

学科	学生数 (学校基本調査)	休学者数	休学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R2入学	R元入学	H30入学	H29入学 (過年)	
体育学部	1458	10	0.7%	0	2	2	6 (2)	H28 (1) H27(1)
保健体育学科	68	1	1.5%	0	0	1		
児童教育学科	140	0	0.0%	0	0			
	1666	11		0	2	3	6	

⑥令和3年度

学科	学生数 (学校基本調査)	休学者数	休学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R3入学	R2入学	R元入学	H30入学 (過年)	
体育学部	1403	23	1.6%	3	3	6	11 (6)	H29(5) R28(1)
保健体育学科	56	1	1.8%	0	0	1		
児童教育学科	107	1	0.9%	1	0			
	1566	25		4	3	7	11	

⑦令和4年度

学科	学生数 (学校基本調査)	休学者数	休学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R4入学	R3入学	R2入学	R元入学 (過年)	
体育学部	1337	29	2.2%	4	4	6	15 (8)	H30(5) R29(2) R28(1)
保健体育学科	46	0	0.0%	0	0			
児童教育学科	86	4	4.7%	3	1			
	1469	33		7	5	6	15	

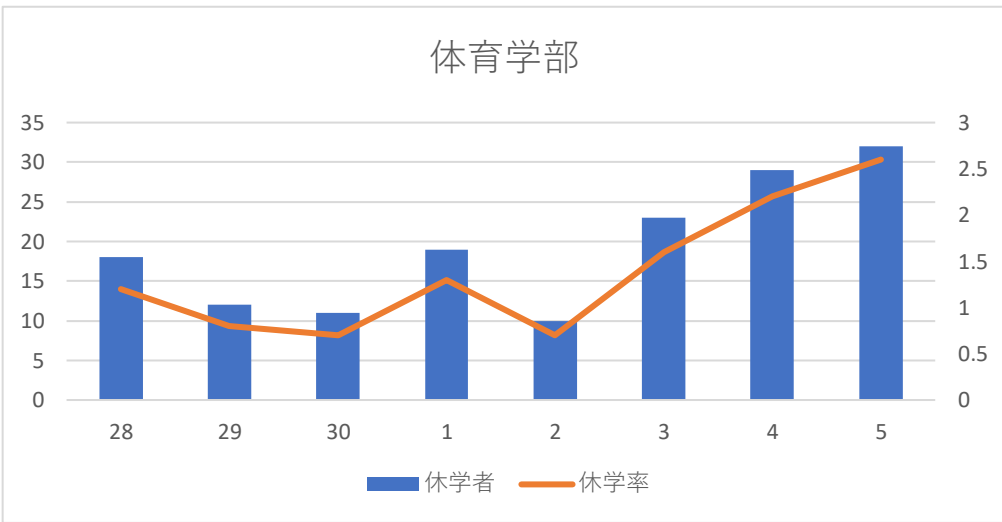
⑧令和5年度

学科	学生数 (学校基本調査)	休学者数	休学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R5入学	R4入学	R3入学	R2入学 (過年)	
体育学部	1227	30	2.4%	9	6	2	13 (10)	H30(1) R1(8) R2(1)※編入生
保健体育学科	28	0	0.0%	0	0			
こどもスポーツ 教育学科	79	1	1.3%	0	1			
	1334	33		9	7	2	15	

【学科別】

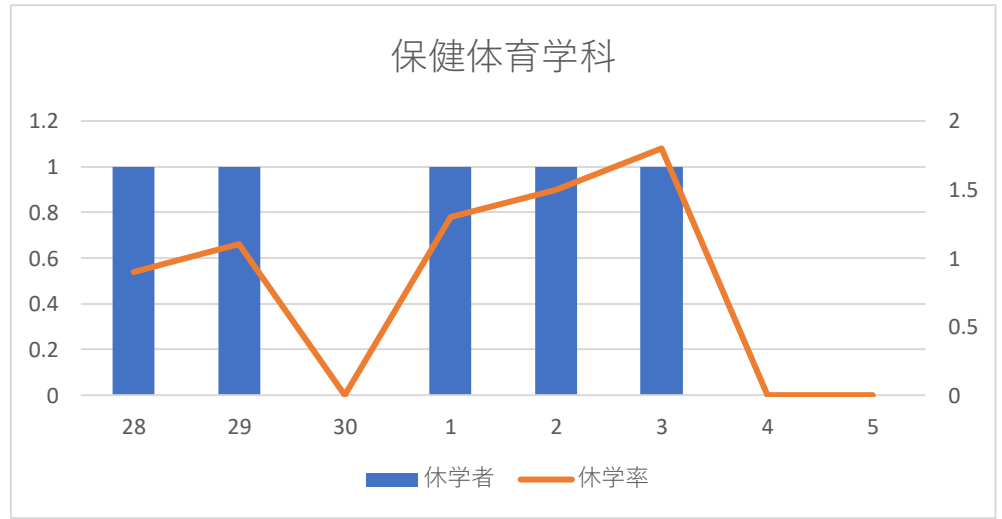
体育学部

年度	28	29	30	1	2	3	4	5
休学者	18	12	11	19	10	23	29	32
休学率	1.2	0.8	0.7	1.3	0.7	1.6	2.2	2.6



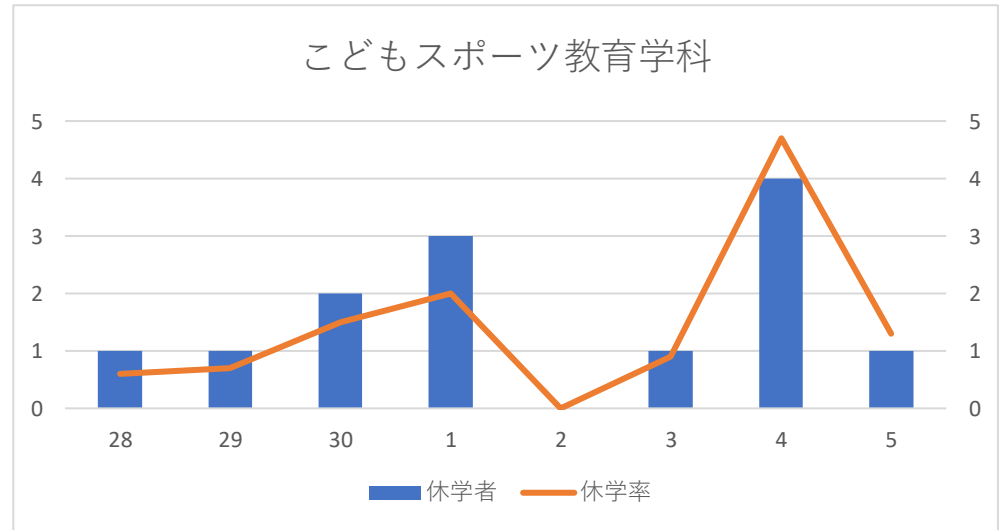
保健体育学科

年度	28	29	30	1	2	3	4	5
休学者	1	1	0	1	1	1	0	0
休学率	0.9	1.1	0	1.3	1.5	1.8	0	0



こどもスポーツ教育学科

年度	28	29	30	1	2	3	4	5
休学者	1	1	2	3	0	1	4	1
休学率	0.6	0.7	1.5	2	0	0.9	4.7	1.3



退学者の推移（平成28年度～令和5年度）

令和6年6月26日 教務委員会
令和6年7月17日 教育の質保証委員会

【年度別】

①平成28年度

学科	学生数 (学校基本調査)	退学者数 (含除籍者)	退学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		H28入学	H27入学	H26入学	H25入学 (通年)	
体育学部	1564	43	2.7%	12	12	6	13 (9)	H24 (8) H22 (1)
保健体育学科	111	7	6.3%	4	3			
児童教育学科	154	8	5.2%	4	4			
	1829	58		20	19	6	13	

②平成29年度

学科	学生数 (学校基本調査)	退学者数 (含除籍者)	退学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		H29入学	H28入学	H27入学	H26入学 (通年)	
体育学部	1548	32	2.1%	7	13	3	9 (5)	H25 (4) H27編 (1)
保健体育学科	90	1	1.1%	0	1			H27 (1)
児童教育学科	140	5	3.6%	2	3			H27 (1)
	1778	38		9	17	3	9	

③平成30年度

学科	学生数 (学校基本調査)	退学者数 (含除籍者)	退学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		H30入学	H29入学	H28入学	H27入学 (通年)	
体育学部	1528	36	2.4%	9	10	8	9 (5)	H26 (2) H25 (3)
保健体育学科	69	1	1.4%	0	1			
児童教育学科	137	6	4.4%	3	3			H28 (1)
	1734	43		12	14	8	9	

④令和元年度

学科	学生数 (学校基本調査)	退学者数 (含除籍者)	退学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R元入学	H30入学	H29入学	H28入学 (通年)	
体育学部	1495	39	2.6%	10	13	13	3 (1)	H27 (1)
保健体育学科	77	1	1.3%	0	1			
児童教育学科	150	6	4.0%	3	3			
	1722	46		13	17	13	3	

⑤令和2年度

学科	学生数 (学校基本調査)	退学者数 (含除籍者)	退学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R2入学	R元入学	H30入学	H29入学 (通年)	
体育学部	1458	31	2.1%	10	5	4	12 (5)	H28 (2) R28編 (1) H27 (2)
保健体育学科	68	2	2.9%	1	1			
児童教育学科	140	5	3.6%	3	2			
	1666	38		14	8	4	12	

⑥令和3年度

学科	学生数 (学校基本調査)	退学者数 (含除籍者)	退学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R3入学	R2入学	R元入学	H30入学 (通年)	
体育学部	1403	43	3.1%	11	13	7	12 (6)	H29 (5) R28 (1)
保健体育学科	56	1	1.8%	1	0			
児童教育学科	107	4	3.7%	1	3			
	1566	48		13	16	7	12	

⑦令和4年度

学科	学生数 (学校基本調査)	退学者数 (含除籍者)	退学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R4入学	R3入学	R2入学	R元入学 (通年)	
体育学部	1337	51	3.8%	11	15	11	14 (6)	H30 (4) R29 (1) R28 (1)
保健体育学科	46	3	6.5%	0	1	1	1	
児童教育学科	86	3	3.5%	1	2			
	1469	57		12	18	12	15	

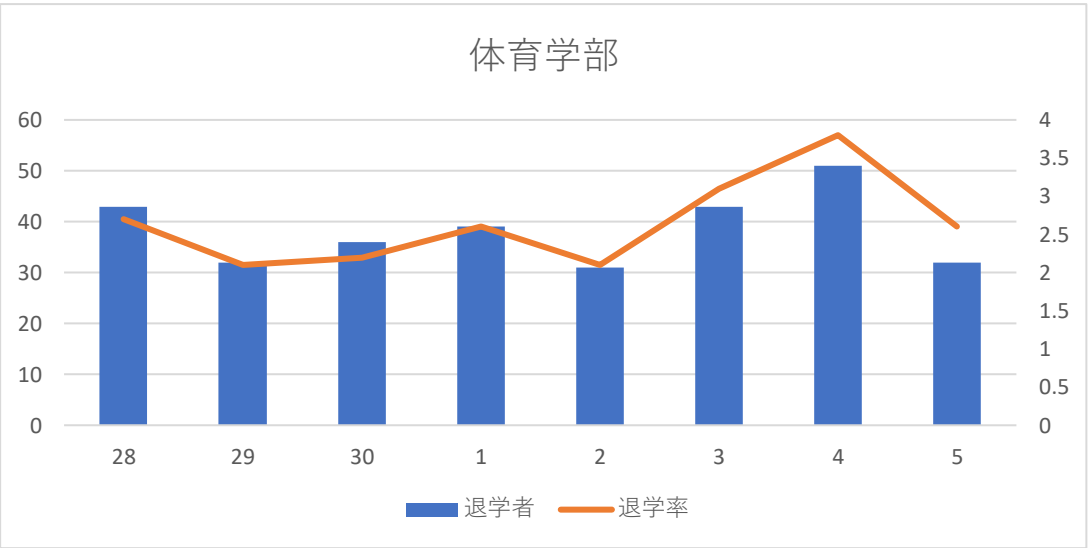
⑦令和5年度

学科	学生数 (学校基本調査)	退学者数 (含除籍者)	退学率	学 年				備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	5月1日現在	3月31日まで		R5入学	R4入学	R3入学	R2入学 (通年)	
体育学部	1227	32	2.6%	9	6	9	8 (3)	H31 (1) H30 (2)
保健体育学科	28	1	3.6%	0	0	1		
こどもスポーツ教育学科	79	3	3.8%	1	1	1		
	1334	36		10	7	11	8	

【学科別】

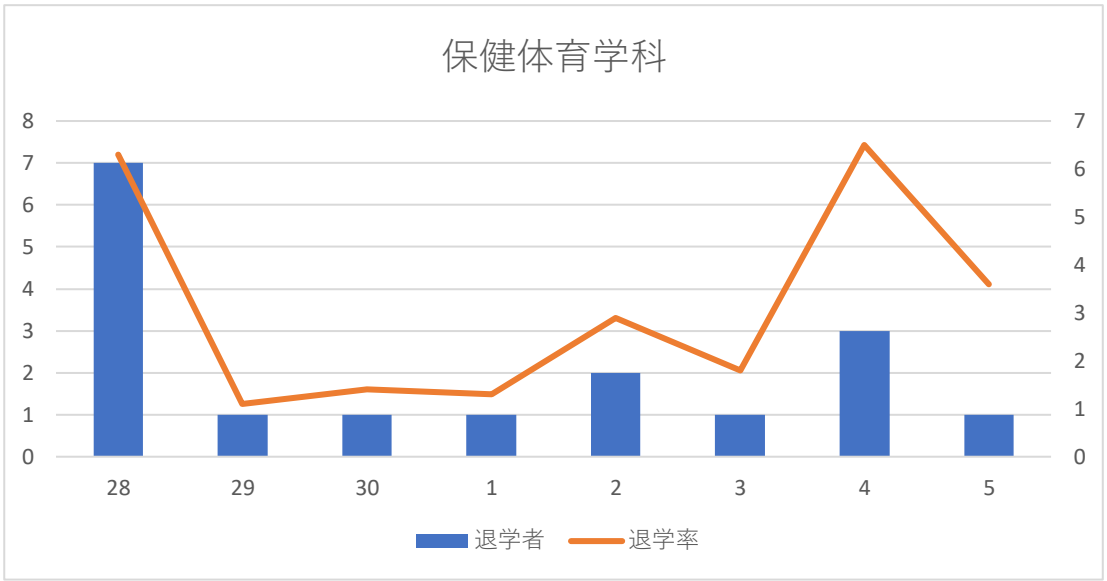
体育学部

年度	28	29	30	1	2	3	4	5
退学者	43	32	36	39	31	43	51	32
退学率	2.7	2.1	2.2	2.6	2.1	3.1	3.8	2.6



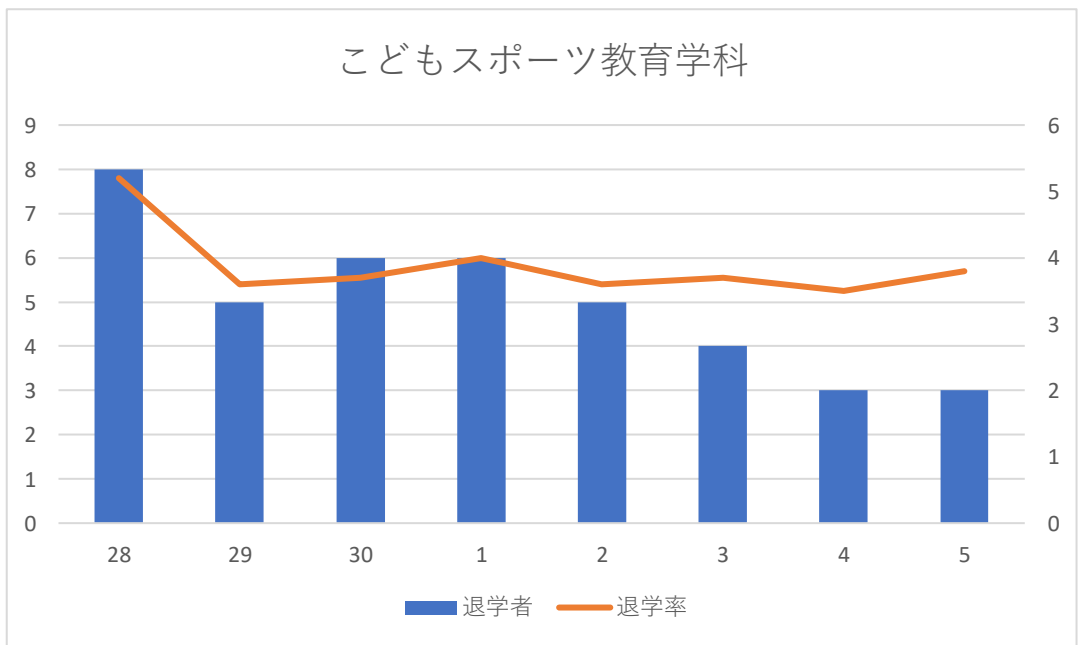
保健体育学科

年度	28	29	30	1	2	3	4	5
退学者	7	1	1	1	2	1	3	1
退学率	6.3	1.1	1.4	1.3	2.9	1.8	6.5	3.6



こどもスポーツ教育学科

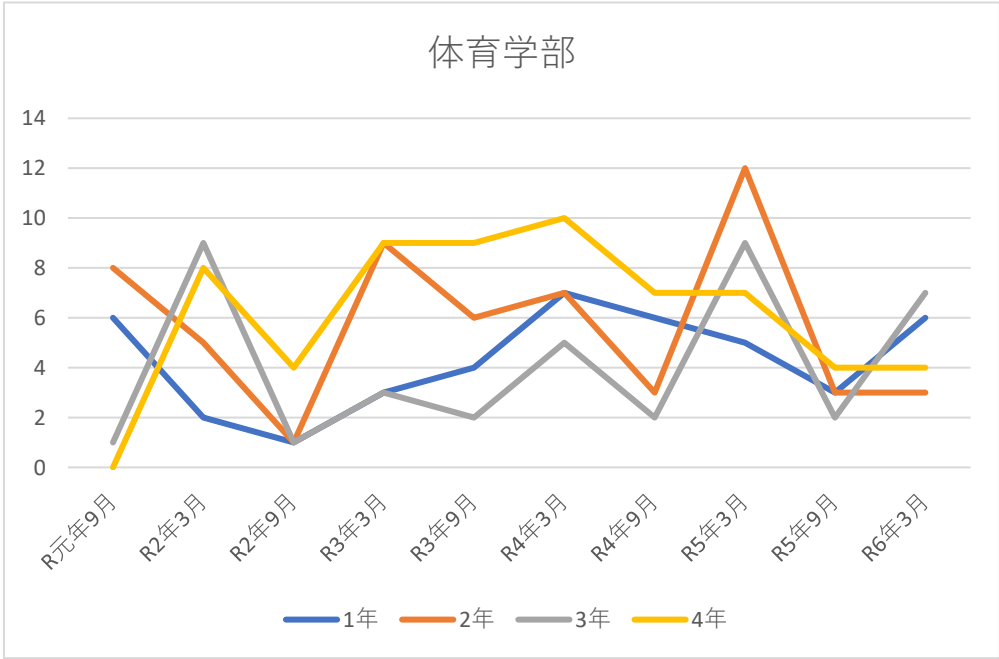
年度	28	29	30	1	2	3	4	5
退学者	8	5	6	6	5	4	3	3
退学率	5.2	3.6	3.7	4	3.6	3.7	3.5	3.8



学年別退学者数(含除籍者)年度推移

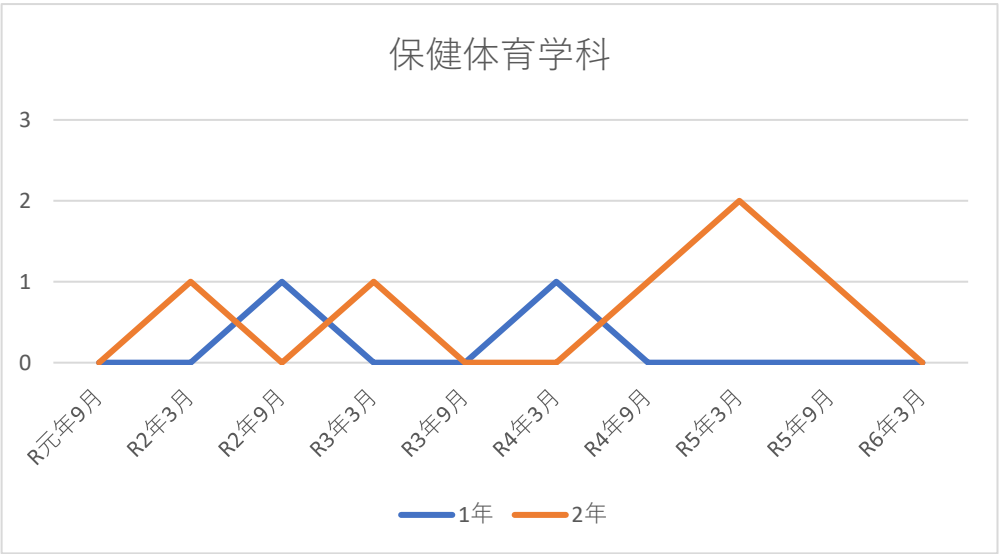
①体育学部

	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	R元年9月	R2年3月	R2年9月	R3年3月	R3年9月	R4年3月	R4年9月	R5年3月	R5年9月	R6年3月
1年	6	2	1	3	4	7	6	5	3	6
2年	8	5	1	9	6	7	3	12	3	3
3年	1	9	1	3	2	5	2	9	2	7
4年	0	8	4	9	9	10	7	7	4	4



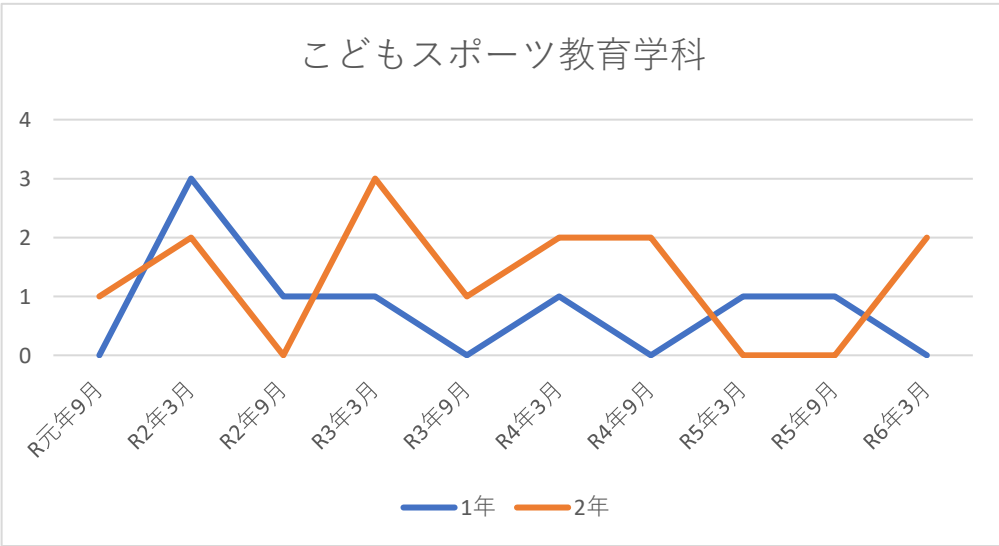
②保健体育学科

	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	R元年9月	R2年3月	R2年9月	R3年3月	R3年9月	R4年3月	R4年9月	R5年3月	R5年9月	R6年3月
1年	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
2年	0	1	0	1	0	0	1	2	1	0



③こどもスポーツ教育学科(前：児童教育学科)

	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	R元年9月	R2年3月	R2年9月	R3年3月	R3年9月	R4年3月	R4年9月	R5年3月	R5年9月	R6年3月
1年	0	3	1	1	0	1	0	1	1	0
2年	1	2	0	3	1	2	2	0	0	2

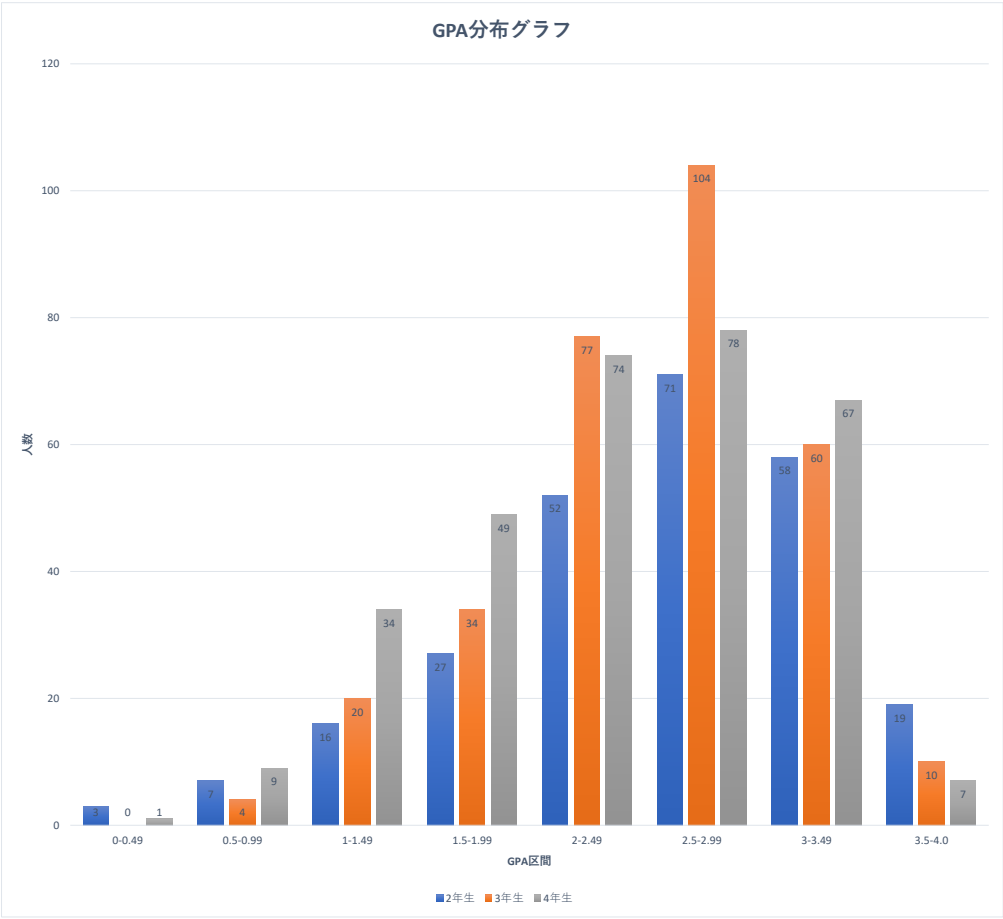


※退学年月日が特別な事由により3月、または9月の時期が外れている場合は前期期間に該当する退学は9月、後期期間に該当する退学は3月として算出している。

令和6年度アセスメント

令和5年度学年別成績分布（東京女子体育大学 GPA）

令和6年5月1日現在



区間	0-0.49	0.5-0.99	1-1.49	1.5-1.99	2-2.49	2.5-2.99	3-3.49	3.5-4.0	合計
2年生	3	7	16	27	52	71	58	19	253
3年生	0	4	20	34	77	104	60	10	309
4年生	1	9	34	49	74	78	67	7	319

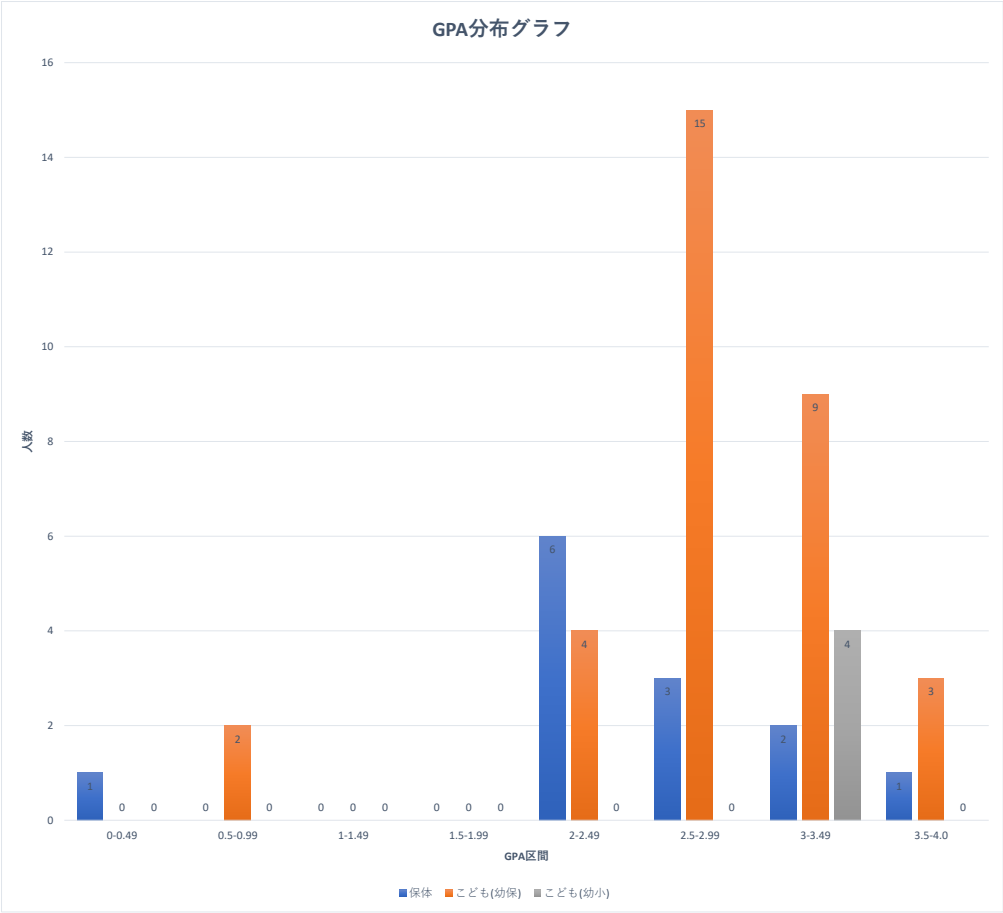
区間 以上-以下

下位25%			
	人数	GPA	備考
2年生	64	2.12以下	2.12 3名
3年生	75	2.14以下	2.14 2名
4年生	81	1.88以下	1.88 2名

令和6年度アセスメント

令和5年度学年別成績分布（東京女子体育短期大学 GPA）

令和6年5月1日現在



区間	0-0.49	0.5-0.99	1-1.49	1.5-1.99	2-2.49	2.5-2.99	3-3.49	3.5-4.0	合計
保体	3	7	5	0	0	0	0	0	15
こども(幼保)	0	4	20	18	0	0	0	0	42
こども(幼小)	1	9	32	0	0	0	0	0	42

区間 以上-以下

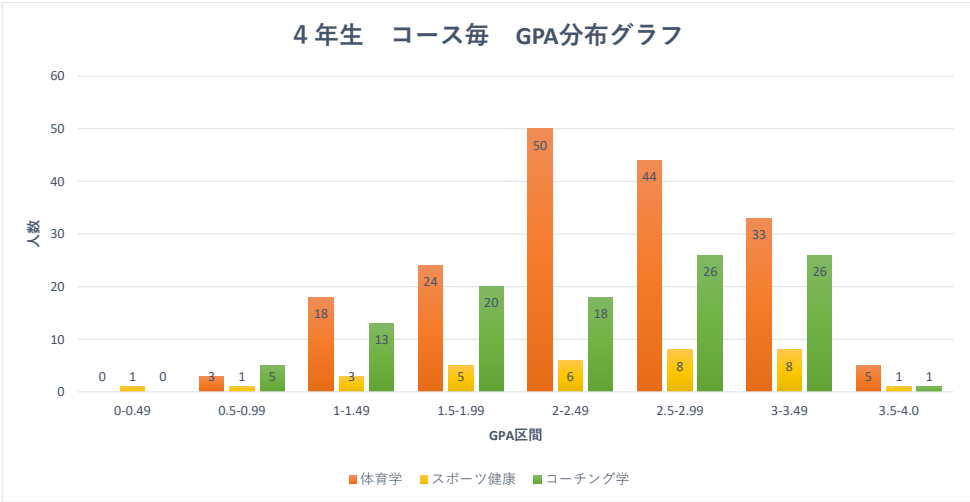
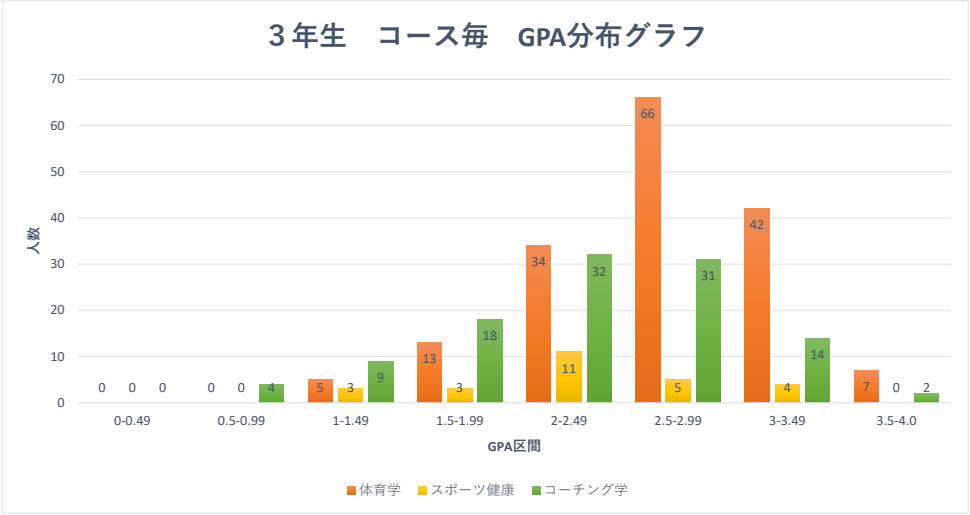
下位25%

	人数	GPA	備考
保体	4	2.15以下	
こども(幼保)	9	2.66以下	
こども(幼小)	1	3.00以下	

令和6年度アセスメント

令和5年度3・4年コース別成績分布（東京女子体育大学 GPA）

令和6年5月1日現在



	GPA区間	0-0.49	0.5-0.99	1-1.49	1.5-1.99	2-2.49	2.5-2.99	3-3.49	3.5-4.0	合計
3年	体育学	0	0	5	13	34	66	42	7	167
3年	スポーツ健康	0	0	3	3	11	5	4	0	26
3年	コーチング学	0	4	9	18	32	31	14	2	110
4年	体育学	0	3	18	24	50	44	33	5	177
4年	スポーツ健康	1	1	3	5	6	8	8	1	33
4年	コーチング学	0	5	13	20	18	26	26	1	109

3) 進路状況・卒業生アンケート・就職先インタビュー

令和5年度 卒業生の進路状況について

◆卒業生の進路状況

		大学		短期大学			
		体育学部	%	保健体育学科	%	こどもスポーツ教育学科	%
就職者	正社員・正規職員等	223	71.2%	10	71.4%	20	52.6%
	非正規・契約社員等	54	17.3%	1	7.1%	2	5.3%
	就職者 小計	277	88.5%	11	78.6%	22	57.9%
アルバイト・パートタイム等		6	1.9%		0.0%	2	5.3%
進学者	大学院	5	1.6%		0.0%		0.0%
	大学	1	0.3%		0.0%	12	31.6%
	短期大学		0.0%		0.0%		0.0%
	その他学校	2	0.6%	1	7.1%		0.0%
	進学者 小計	8	2.6%	1	7.1%	12	31.6%
科目等履修生・研究生		4	1.3%		0.0%		0.0%
上記以外	就職活動中	5	1.6%	1	7.1%	1	2.6%
	就職準備・待機中	3	1.0%		0.0%		0.0%
	その他の活動	9	2.9%		0.0%	1	2.6%
進路先不明者		1	0.3%	1	7.1%		0.0%
合計 = 卒業者数		313	100.0%	14	100.0%	38	100.0%

※令和5年9月卒業含む。

◆就職率

	体育学部	保健体育学科	こどもスポーツ教育学科
就職希望者（就職者+就職活動中）	282	12	23
就職率（就職者/就職希望者）	98.2%	91.7%	95.7%

◆就職者の就職先内訳

			体育学部		保健体育学科		こどもスポーツ教育学科	
			正規・専任	非正規・臨時	正規・専任	非正規・臨時	正規・専任	非正規・臨時
学 校	教 員	幼稚園	3				8	
		小学校	25	16			2	1
		中学校		13				
		中等教育	1	2				
		高等学校	5	9				
		特別支援	4	5				
		大学・短期大学						
		その他の学校(専門学校等)						
	職 員	学校職員等		3				
	学 校 等 計 (就職者全体に対する割合)		38 (13.7%)	48 (17.3%)	0	0	10 (45.5%)	1 (4.5%)
保育所(園) (就職者全体に対する割合)		3 (1.1%)	(0.0%)			7 (31.8%)		
官 公 庁	一般行政		4					
	公安(警察・消防・自衛官等)		10					
	協会・事業団体・公営体育施設等		2	1	1			
	官 公 庁 計 (就職者全体に対する割合)		16 (5.8%)	1 (0.4%)	1 (9.1%)	0	0	0
一 般 企 業	体 育 関 連	プロ選手・実業団等	6					
		体育指導・体育施設・フィットネス等	35	2	5		2	
		スポーツメーカー・スポーツショップ等	9	1				
	医療、介護福祉関連企業・団体		9					
	児童福祉関連企業・団体		7		1	1		1
	その他一般企業(事務・営業等)		100	2	3		1	
	一 般 企 業 計 (就職者全体に対する割合)		166 (59.9%)	5 (1.8%)	9 (81.8%)	1 (9.1%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)
就 職 者 総 計 (就職者全体に対する割合)		223 (80.5%)	54 (19.5%)	10 (90.9%)	1 (9.1%)	20 (90.9%)	2 (9.1%)	
		277		11		22		

令和6年度 卒業生アンケート(卒業5年目)について

■実施報告

対象学生 令和元年度卒業:(大学)346名 (保体)31名 (児教)66名 合計:443名

実施日 令和6年6月15日(土)～6月29日(土)

実施方法 卒業時回収『進路状況報告』記載の個人アドレスへメール配信

実施項目 学生生活振り返り、離職・転職確認と就職支援案内、ディプロマポリシー

社会人基礎力修得状況意識確認、本学に求めること

回答数 9名 内訳:(大学)8名 (保体)1名 (児教)0名

回答率 2.03%

■アンケート項目

1. あなたは、本学での学生生活を振り返って満足されていますか。

■満足している	3名	33.3%
■まあまあ満足している	6名	66.7%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%

2. 現在の生活のなかで、大学/短大での学びは役に立っていますか。

■役立っている	1名	11.1%
■まあ役立っている	7名	77.8%
■あまり役立っていない	1名	11.1%
■役立っていない	0名	0.0%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業5年目)について

3. 大学生生活を振り返ってみて、本学の「学び」はいかがでしたか？

それぞれの項目について、あなたの満足度を教えてください。

「カリキュラムについて」

■ 満足している	2名	22.2%
■ まあまあ満足している	6名	66.7%
■ やや不満である	1名	11.1%
■ 不満である	0名	0.0%

「教養科目について」

■ 満足している	1名	11.1%
■ まあまあ満足している	6名	66.7%
■ やや不満である	2名	22.2%
■ 不満である	0名	0.0%

「専門科目について」

■ 満足している	2名	22.2%
■ まあまあ満足している	6名	66.7%
■ やや不満である	1名	11.1%
■ 不満である	0名	0.0%

「資格科目について」

■ 満足している	2名	22.2%
■ まあまあ満足している	4名	44.4%
■ やや不満である	3名	33.3%
■ 不満である	0名	0.0%

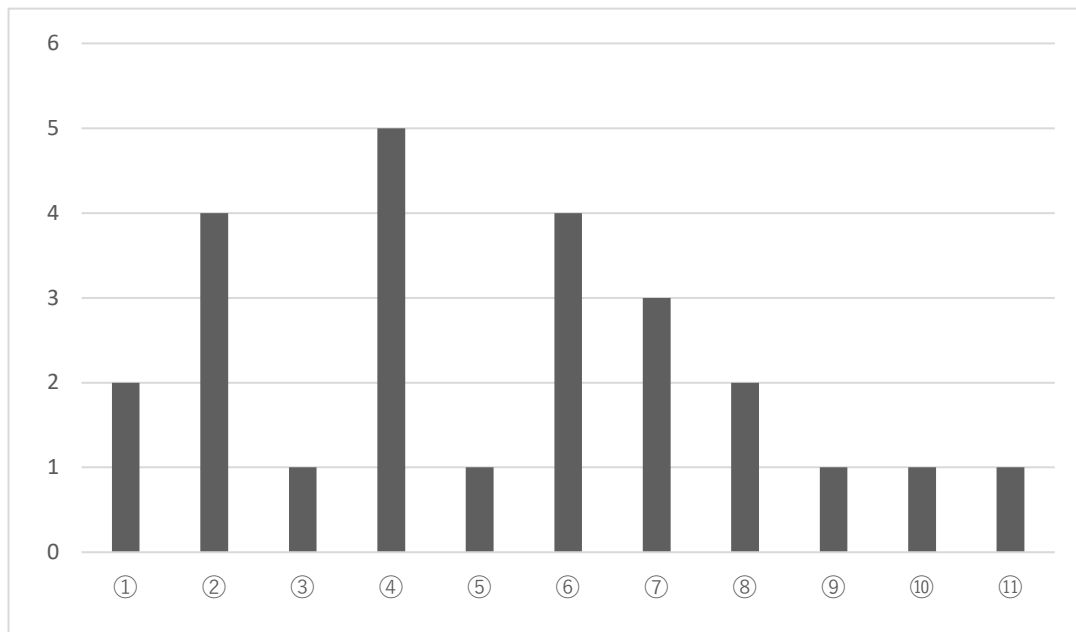
「学習環境について」

■ 満足している	1名	11.1%
■ まあまあ満足している	5名	55.6%
■ やや不満である	3名	33.3%
■ 不満である	0名	0.0%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業5年目)について

4. 大学生生活を振り返ってみて、あなたが本学の「学び」で身につけることができた・できる
ようになったと思うものを選んでください。(当てはまるもの全て選択してください)

①専門的な知識と技能	2名
②豊かな社会性と人間性	4名
③幅広い教養	1名
④体育学に関する知識と理解	5名
⑤他者の意見を聴き、口頭もしくは文章化する能力	1名
⑥体育に関わる指導力	4名
⑦体育やスポーツに基づいた社会への寄与	3名
⑧「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から	2名
⑨児童教育、幼児教育および保育に関わる指導力	1名
⑩児童教育、幼児教育および保育に基づいた社会への寄与	1名
⑪あてはまるものはない	1名



令和6年度 卒業生アンケート(卒業5年目)について

5. あなたは現在の生活のなかで「スポーツ」を行われていますか。

■週5日以上、何らかのスポーツを行っている	1名	11.1%
■週2～4日程度、何らかのスポーツを行っている	2名	22.2%
■週1日程度、何らかのスポーツを行っている	2名	22.2%
■月2～3回程度、何らかのスポーツを行っている	0名	0.0%
■月1回程度、何らかのスポーツを行っている	1名	11.1%
■スポーツは行っていない	3名	33.3%

6. あなたは、本学での学生生活を振り返って何が身についたと思いますか。(自由記述)

■理不尽に対する耐性
■出来ない子へのアプローチや考え方が身に付いたことで、当たり前を当たり前と思わずに 寄り添うことが大切だと感じた。尚、感覚や何となく出来てる事の言語化を身につけた。
■「腰伸ばせ即ち腹の力」の言葉から、忍耐能力が身についたと感じています。 卒業した後もこの言葉を思い出します。
■コミュニケーション能力
■周りの人との協力や自ら行動する能力です。
■他者を尊重する心

7. 現在の就業について伺います。

■正社員、職員として就業している	9名	100.0%
■有期雇用社員、職員(アルバイト・パートを含む)として就業している	0名	0.0%
■進学・編入・留学 等	0名	0.0%
■就業していない	0名	0.0%
■その他	0名	0.0%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業5年目)について

8. 現在、就業されている職種について伺います。(例:教員、販売、営業など)

就業されていない方は「就業していない」と記述してください。

■教員	3名
■学童保育	1名
■整体師	1名
■人事採用	1名
■販売	1名
■インストラクター	1名
■IT(情報システム系)	1名

9. 在学中、キャリア支援課(キャリアセンター)を活用されましたか。

■活用した	0名	0.0%
■まあまあ活用した	4名	44.4%
■あまり活用していない	3名	33.3%
■活用していない	2名	22.2%

10. キャリア支援課(キャリアセンター)をどのように活用しましたか。

(当てはまるもの全て選択してください)

■適性相談	0名
■求人票検索	3名
■業界業種研究	1名
■応募書類の書き方、添削	3名
■面接練習	0名
■書籍貸出	0名
■企業説明会、WEB採用試験会場として活用	0名
■活用していない	3名

令和6年度 卒業生アンケート(卒業5年目)について

11. 在学中の就職活動を振り返ってどのように思われますか。

■活動した	1名	11.1%
■まあまあ活動した	1名	11.1%
■あまり活動していない	6名	66.7%
■活動しなかった	1名	11.1%

12.今年度の教職採用試験に受験されましたか。

■受験した	1名	11.1%
■受験しない	2名	22.2%
■教員志望ではない	6名	66.7%

13. あなたが大学を卒業してから現在までの学習状況について、あてはまるものを選んでください。

勤務する企業から受講を促された場合も含みます。教材の有償無償は問いません。

(当てはまるもの全て選択してください)

■大学、大学院などの教育機関が提供する対面教育 (単発・短期の集中講座を含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	1名
■大学、大学院などの教育機関が提供するオンライン講座・教材 (edXやJMOOC、放送大学などを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	0名
■企業が提供する教育機関の対面教育(英会話スクールやカルチャーセンター など)を利用して学んでいる・学んだことがある	0名
■企業が提供する教育機関のオンライン講座・教材(アプリやオンライン英会話、 通信教育、Udemyなどを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	1名
■あてはまるものはない	7名

令和6年度 卒業生アンケート(卒業5年目)について

14. 在学中に取得した免許、資格で、現在活用できているものを選んでください。(複数回答可)

■ 中学校教諭一種免許状(保健体育)・高等学校教諭一種免許状(保健体育)	2名
■ 中学校教諭二種免許状(保健体育)	0名
■ 小学校教諭二種免許状	2名
■ 幼稚園教諭二種免許状	2名
■ 保育士資格	0名
■ スポーツリーダー ・ コーチングアシスタント (共通科目)	0名
■ ジュニアスポーツ指導員	0名
■ スポーツプログラマー	0名
■ 健康運動指導士	0名
■ 健康運動実践指導者	0名
■ 初級パラスポーツ指導員	0名
■ 日本赤十字社 救急法救急員	0名
■ 日本赤十字社 水上安全法救助員 I	0名
■ 秘書検定2級	2名

15. 在学中に取得しておけば良かったと思う免許、資格があれば回答してください。

■ 中学校教諭一種免許状
■ 秘書検定 取れるものは取っておく方が良かったと思う
■ トレーナー系の資格が取れる環境であつたら良かったと思った

令和6年度 卒業生アンケート(卒業5年目)について

16. 最後に本アンケートや本学について意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください。

・学生生活楽しかったです！

■今後について

- アンケート項目の検討、改善
就職に関する質問事項以外の内容を多くする場合は担当部署の見直しも検討する。
- アンケートの回答率を上げるための体制づくり
 - ・卒業後も情報交換ができるようにするため、フリーアドレスの入力を卒業前に登録させる。
 - ・教員の協力を得て、ゼミ生やクラブ関係を通じた依頼をする。
- 雇用形態について
 - ・Q7 現在の就業についての回答から、回答者全員が正社員、職員として就業していることがわかった。卒業後に就職した企業や学校・団体から変わっている(転職)している可能性はあるが、卒業5年目で社会人として活躍していることが伺える。

令和6年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

■実施報告

対象学生 令和3年度卒業:(大学)357名 (保体)21名 (児教)60名 合計:438名

実施日 令和6年6月15日(土)～6月29日(土)

実施方法 卒業時回収『進路状況報告』記載の個人アドレスへメール配信

実施項目 学生生活振り返り、離職・転職確認と就職支援案内、ディプロマポリシー
社会人基礎力修得状況意識確認、本学に求めること

回答数 12名 内訳:(大学)9名 (児教)3名

回答率 2.74%

■アンケート項目

1. あなたは、本学での学生生活を振り返って満足されていますか。

■満足している	6名	50.0%
■まあまあ満足している	5名	41.7%
■やや不満である	1名	8.3%
■不満である	0名	0.0%

2. 現在の生活のなかで、大学/短大での学びは役に立っていますか。

■役立っている	4名	33.3%
■まあ役立っている	5名	41.7%
■あまり役立っていない	3名	25.0%
■役立っていない	0名	0.0%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

3. 大学生生活を振り返ってみて、本学の「学び」はいかがでしたか。

それぞれの項目について、あなたの満足度を教えてください。

「カリキュラムについて」

■満足している	5名	41.7%
■まあまあ満足している	6名	50.0%
■やや不満である	1名	8.3%
■不満である	0名	0.0%

「教養科目について」

■満足している	3名	25.0%
■まあまあ満足している	9名	75.0%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%

「専門科目について」

■満足している	7名	58.3%
■まあまあ満足している	5名	41.7%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%

「資格科目について」

■満足している	4名	33.3%
■まあまあ満足している	7名	58.3%
■やや不満である	1名	8.3%
■不満である	0名	0.0%

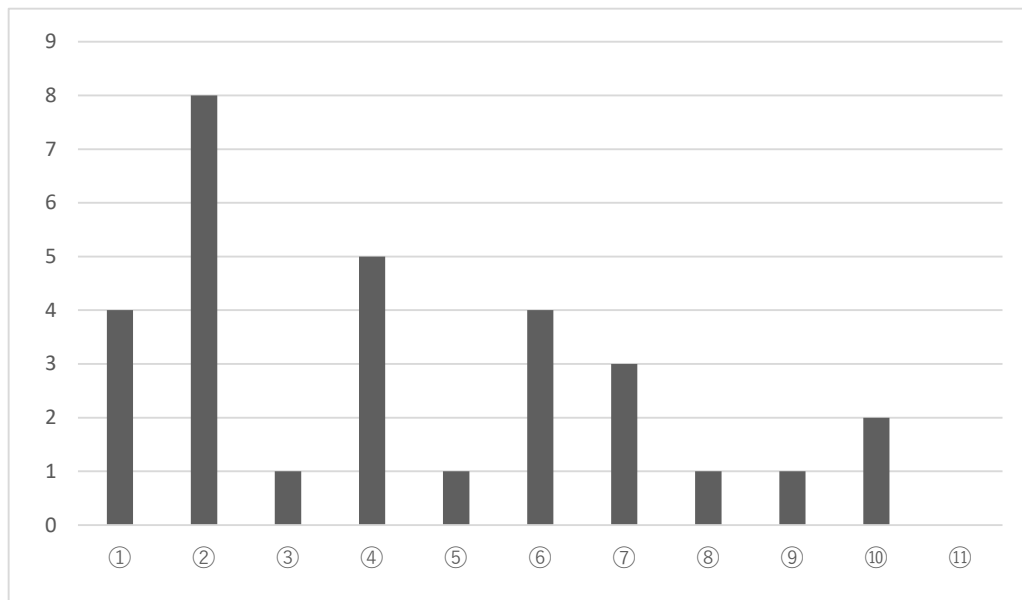
「学習環境について」

■満足している	4名	33.3%
■まあまあ満足している	8名	66.7%
■やや不満である	0名	0.0%
■不満である	0名	0.0%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

4. 大学生生活を振り返ってみて、あなたが本学の「学び」で身につけることができた・できる
ようになったと思うものを選んでください。(当てはまるもの全て選択してください)

①専門的な知識と技能	4名
②豊かな社会性と人間性	8名
③幅広い教養	1名
④体育学に関する知識と理解	5名
⑤他者の意見を聴き、口頭もしくは文章化する能力	1名
⑥体育に関わる指導力	4名
⑦体育やスポーツに基づいた社会への寄与	3名
⑧「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から	1名
⑨児童教育、幼児教育および保育に関わる指導力	1名
⑩児童教育、幼児教育および保育に基づいた社会への寄与	2名
⑪あてはまるものはない	0名



令和6年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

5. あなたは現在の生活のなかで「スポーツ」を行われていますか。

■週5日以上、何らかのスポーツを行っている	1名	8.3%
■週2～4日程度、何らかのスポーツを行っている	1名	8.3%
■週1日程度、何らかのスポーツを行っている	2名	16.7%
■月2～3回程度、何らかのスポーツを行っている	2名	16.7%
■月1回程度、何らかのスポーツを行っている	1名	8.3%
■スポーツは行っていない	5名	41.7%

6. あなたは、本学での学生生活を振り返って何が身についたと思いますか。(自由記述)

■実技等の授業を通して、何かをすぐにできる学生もいれば、できない学生もいて、 他者の気持ちに寄り添い教え合うことで技術の向上や達成感を味わうことができた。 他人と何かを頑張り、それを達成することの喜びが経験として生きていると思う。
■短期間で学ぶ為の集中力や忍耐力。仲間と協力して一つのことを成し遂げる力。
■社会に出て役に立っている事はチャレンジ精神、気持ちの良い挨拶、 人前でも堂々とし自分の意見を伝えられる発言力
■コミュニケーション能力

7. 現在の就業について伺います。

■正社員、職員として就業している	9名	75.0%
■有期雇用社員、職員(アルバイト・パートを含む)として就業している	3名	25.0%
■進学・編入・留学 等	0名	0.0%
■就業していない	0名	0.0%
■その他	0名	0.0%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

8. 現在、就業されている職種について伺います。(例:教員、販売、営業など)

就業されていない方は「就業していない」と記述してください。

■教員	1名
■幼稚園教諭	1名
■非常勤講師	1名
■保育士	1名
■公務員(消防)	1名
■団体職員	1名
■一般事務	1名
■営業	2名
■接客業	1名
■販売	1名
■体育指導補助	1名

9. 在学中、キャリア支援課(キャリアセンター)を活用されましたか。

■活用した	4名	33.3%
■まあまあ活用した	2名	16.7%
■あまり活用していない	1名	8.3%
■活用していない	5名	41.7%

10. キャリア支援課(キャリアセンター)をどのように活用しましたか。

(当てはまるもの全て選択してください)

■適性相談	0名
■求人票検索	3名
■業界業種研究	1名
■応募書類の書き方、添削	4名
■面接練習	4名
■書籍貸出	0名
■企業説明会、WEB採用試験会場として活用	0名
■活用していない	5名

令和6年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

11. 在学中の就職活動を振り返ってどのように思われますか。

■活動した	1名	8.3%
■まあまあ活動した	6名	50.0%
■あまり活動していない	1名	8.3%
■活動しなかった	4名	33.3%

12.今年度の教職採用試験に受験されましたか。

■受験した	1名	8.3%
■受験しない	3名	25.0%
■教員志望ではない	8名	66.7%

13. あなたが大学を卒業してから現在までの学習状況について、あてはまるものを選んでください。

勤務する企業から受講を促された場合も含みます。教材の有償無償は問いません。

(当てはまるもの全て選択してください)

■大学、大学院などの教育機関が提供する対面教育 (単発・短期の集中講座を含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	1名
■大学、大学院などの教育機関が提供するオンライン講座・教材 (edXやJMOOC、放送大学などを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	0名
■企業が提供する教育機関の対面教育(英会話スクールやカルチャーセンター など)を利用して学んでいる・学んだことがある	0名
■企業が提供する教育機関のオンライン講座・教材(アプリやオンライン英会話、 通信教育、Udemyなどを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	2名
■あてはまるものはない	9名

令和6年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

14. 在学中に取得した免許、資格で、現在活用できているものを選んでください。(複数回答可)

■中学校教諭一種免許状(保健体育)・高等学校教諭一種免許状(保健体育)	5名
■中学校教諭二種免許状(保健体育)	0名
■小学校教諭二種免許状	1名
■幼稚園教諭二種免許状	2名
■保育士資格	2名
■スポーツリーダー ・ コーチングアシスタント (共通科目)	1名
■ジュニアスポーツ指導員	3名
■スポーツプログラマー	0名
■健康運動指導士	0名
■健康運動実践指導者	1名
■初級バラスポーツ指導員	0名
■日本赤十字社 救急法救急員	1名
■日本赤十字社 水上安全法救助員 I	0名
■秘書検定2級	1名

15. 在学中に取得しておけば良かったと思う免許、資格があれば回答してください。

■水上安全法救助員
■MOS(マイクロソフト オフィス スペシャリスト)
■小学校教諭二種

令和6年度 卒業生アンケート(卒業3年目)について

16. 最後に本アンケートや本学について意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください。

回答なし

■今後について

- アンケート項目の検討、改善
就職に関する質問事項以外の内容を多くする場合は担当部署の見直しも検討する。
- アンケートの回答率を上げるための体制づくり
 - ・卒業後も情報交換ができるようにするため、フリーアドレスの入力を卒業前に登録させる。
 - ・教員の協力を得て、ゼミ生やクラブ関係を通じた依頼をする。
- 大学での学びについて
 - ・Q4 本学の「学び」で身につけることができたことについての回答から、豊かな社会性と人間性が身についたという回答が一番多かった。授業やクラブ、ゼミ等、大学での様々な学びにより、一生ものの、姿勢をつくることができていたと考えられる。

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

■実施報告

対象学生 令和5年度卒業:(大学)309名 (保体)13名 (コスボ)38名 合計:360名

実施日 令和6年9月4日(水)～10月9日(水)

実施方法 卒業時にformsにおいて回答または進路決定時に提出している個人アドレスへメール配信

実施項目 学生生活振り返り、離職・転職確認と就職支援案内、ディプロマポリシー

社会人基礎力修得状況意識確認、本学に求めること

回答数 44名 内訳:(大学)42名 (保体)0名 (児教)2名

回答率 12.22%

■アンケート項目

1. あなたは、本学での学生生活を振り返って満足されていますか。

■満足している	27名	61.4%
■まあまあ満足している	15名	34.1%
■やや不満である	2名	4.5%
■不満である	0名	0.0%

2. 現在の生活のなかで、大学/短大での学びは役に立っていますか。

■役立っている	21名	47.7%
■まあ役立っている	21名	47.7%
■あまり役立っていない	1名	2.3%
■役立っていない	1名	2.3%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

3. 大学生生活を振り返ってみて、本学の「学び」はいかがでしたか。

それぞれの項目について、あなたの満足度を教えてください。

「カリキュラムについて」

■満足している	16名	36.4%
■まあまあ満足している	25名	56.8%
■やや不満である	3名	6.8%
■不満である	0名	0.0%

「教養科目について」

■満足している	16名	36.4%
■まあまあ満足している	25名	56.8%
■やや不満である	3名	6.8%
■不満である	0名	0.0%

「専門科目について」

■満足している	23名	52.3%
■まあまあ満足している	19名	43.2%
■やや不満である	1名	2.3%
■不満である	1名	2.3%

「資格科目について」

■満足している	18名	40.9%
■まあまあ満足している	22名	50.0%
■やや不満である	4名	9.1%
■不満である	0名	0.0%

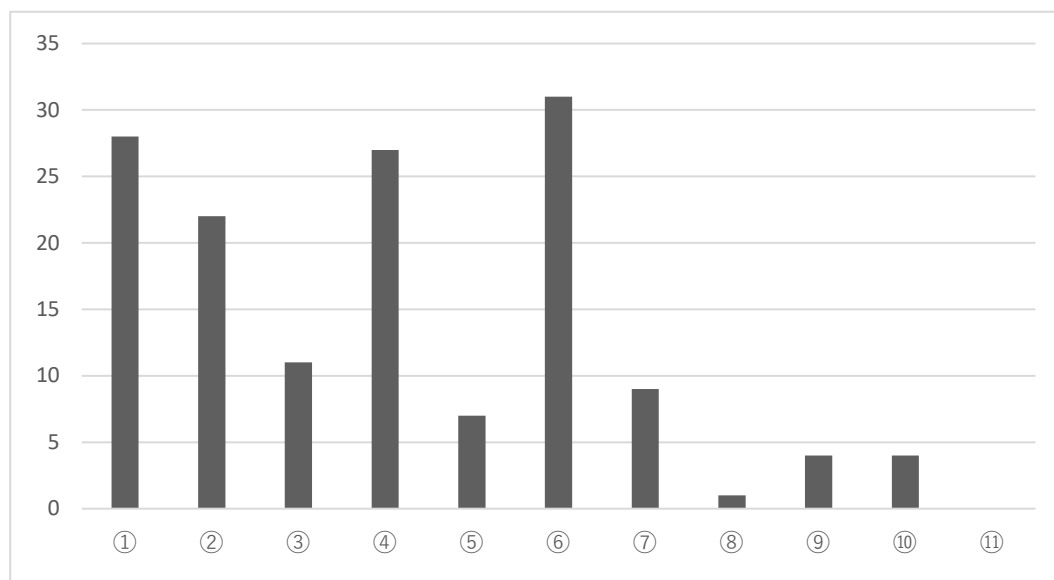
「学習環境について」

■満足している	16名	36.4%
■まあまあ満足している	23名	52.3%
■やや不満である	5名	11.4%
■不満である	0名	0.0%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

4. 大学生活を振り返ってみて、あなたが本学の「学び」で身につけることができた・できるようになったと思うものを選んでください。(当てはまるもの全て選択してください)

①専門的な知識と技能	28名
②豊かな社会性と人間性	22名
③幅広い教養	11名
④体育学に関する知識と理解	27名
⑤他者の意見を聴き、口頭もしくは文章化する能力	7名
⑥体育に関わる指導力	31名
⑦体育やスポーツに基づいた社会への寄与	9名
⑧「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から	1名
⑨児童教育、幼児教育および保育に関わる指導力	4名
⑩児童教育、幼児教育および保育に基づいた社会への寄与	4名
⑪あてはまるものはない	0名



5. あなたは現在の生活のなかで「スポーツ」を行われていますか。

■週5日以上、何らかのスポーツを行っている	12名	27.3%
■週2～4日程度、何らかのスポーツを行っている	14名	31.8%
■週1日程度、何らかのスポーツを行っている	8名	18.2%
■月2～3回程度、何らかのスポーツを行っている	3名	6.8%
■月1回程度、何らかのスポーツを行っている	1名	2.3%
■スポーツは行っていない	6名	13.6%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

6. あなたは、本学での学生生活を振り返って何が身についたと思いますか。(自由記述)

-
- 自分で決断し行動する力
 - 指導する上での視点
 - 『人間性』が大きいと思う。仕事をしている時、スポーツをやっていたと伝えていないのにも関わらず、相手がそれを感じて話題を振ってくれることがかなり多い。
自分が持つ雰囲気や立ち居振る舞いで、体育やスポーツをやっていた人間だということをわかってくれる。そのおかげでうまくいった仕事もいくつかある。
 - 考え、実践する力や保健体育の教員に必要な基本的な知識だけではなく専門的な知識、技術が身についた。また、仲間と協力して何かを成し遂げるといったことから仲間の大切さ人間性を身につけることができた。
 - 人間関係はとても身に付きました。できない子に対する指導も、実際に学べた気がしています。
 - 人間性。生活していく上で色々なことがある中で、助け合い手を取り合っていく姿勢が特に学生生活の中で大切にしていたし、今でもそれは変わらず持っているものだと感じます。
 - 大学卒業、教員資格
 - スポーツについての専門性、指導力
 - 忍耐力
 - コミュニケーション能力
 - 現在指導に関わっているスポーツでのトレーニング方法、指導者としての関わり方
 - 体育・スポーツに関する知識や指導力が身についたと思います。また小学校教育のあり方や今後目指していく力について考えていく思考が身についたと感じました。
 - 協調性、専門的な知識・技能
 - 様々な人を観る、人間性
 - ダンスの基礎と応用、指導方法
 - 人生の中で様々な集団に所属してきましたが、こんなに体育に関してレベルの高い環境は初めてでした。自分自身が過去に感じたことのない刺激を近くで感じる事ができたのが1番この大学に来てよかったと思うことです。その中で、どうしたら上手くいくのか、この人みたいに出来るのかを考え、実際に動いてみるという力は4年間で身についたと感じます。
 - 授業について粘り強く考える力
 - 体育学生としての運動知識、体の使い方
-

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

7. 現在の就業について伺います。

■正社員、職員として就業している	35名	79.5%
■有期雇用社員、職員(アルバイト・パートを含む)として就業している	6名	13.6%
■進学・編入・留学等	1名	2.3%
■就業していない	1名	2.3%
■その他	1名	2.3%

8. 現在、就業されている職種について伺います。(例:教員、販売、営業など)

就業されていない方は「就業していない」と記述してください。

■教員	11名
■幼稚園教諭	1名
■常勤・非常勤講師	3名
■保育士	2名
■公務員	1名
■教務補佐員	2名
■会社員	1名
■事務	1名
■介護	2名
■営業	3名
■販売	2名
■配送	1名
■鉄道	1名
■実業団	2名
■インストラクター	3名
■セラピスト	1名
■ワーキングホリデー	1名
■児童指導員・児童支援員・児童館職員	5名
■就職していない	1名

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

9. 在学中、キャリア支援課(キャリアセンター)を活用されましたか。

■活用した	15名	34.1%
■まあまあ活用した	7名	15.9%
■あまり活用していない	9名	20.5%
■活用していない	13名	29.5%

10. キャリア支援課(キャリアセンター)をどのように活用しましたか。

(当てはまるもの全て選択してください)

■適性相談	4名
■求人票検索	7名
■業界業種研究	4名
■応募書類の書き方、添削	12名
■面接練習	11名
■書籍貸出	2名
■企業説明会、WEB採用試験会場として活用	1名
■活用していない	19名

11. 在学中の就職活動を振り返ってどのように思われますか。

■活動した	10名	22.7%
■まあまあ活動した	9名	20.5%
■あまり活動していない	16名	36.4%
■活動しなかった	9名	20.5%

12. 今年度の教職採用試験に受験されましたか。

■受験した	9名	20.5%
■受験しない	24名	54.5%
■教員志望ではない	11名	25.0%

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

13. あなたが大学を卒業してから現在までの学習状況について、あてはまるものを選んでください。

勤務する企業から受講を促された場合も含みます。教材の有償無償は問いません。

(当てはまるもの全て選択してください)

■ 大学、大学院などの教育機関が提供する対面教育 (単発・短期の集中講座を含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	6名
■ 大学、大学院などの教育機関が提供するオンライン講座・教材 (edXやJMOOC、放送大学などを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	1名
■ 企業が提供する教育機関の対面教育(英会話スクールやカルチャーセンター など)を利用して学んでいる・学んだことがある	3名
■ 企業が提供する教育機関のオンライン講座・教材(アプリやオンライン英会話、 通信教育、Udemyなどを含む)を利用して学んでいる・学んだことがある	9名
■ あてはまるものはない	28名

14. 在学中に取得した免許、資格で、現在活用できているものを選んでください。(複数回答可)

■ 中学校教諭一種免許状(保健体育)・高等学校教諭一種免許状(保健体育)	27名
■ 中学校教諭二種免許状(保健体育)	2名
■ 小学校教諭二種免許状	7名
■ 幼稚園教諭二種免許状	4名
■ 保育士資格	2名
■ スポーツリーダー ・ コーチングアシスタント (共通科目)	15名
■ ジュニアスポーツ指導員	4名
■ スポーツプログラマー	1名
■ 健康運動指導士	1名
■ 健康運動実践指導者	2名
■ 初級パラスポーツ指導員	5名
■ 日本赤十字社 救急法救急員	3名
■ 日本赤十字社 水上安全法救助員 I	0名
■ 秘書検定2級	0名

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

15. 在学中に取得しておけば良かったと思う免許、資格があれば回答してください。

■ 小学校教諭二種免許状

■ 高校一種保健体育教員免許状

必要な単位を取得したが、教員免許一括申請説明会に遅刻して大学から申請してもらえなかった。

また個人申請の方法も分からなかったため、免許は取得できず、教職は諦めた。

■ 保育士

■ 健康運動実践指導者

■ 健康運動指導士

■ 初級パラスポーツ指導員

■ スポーツプログラマー

■ 水上安全法救助員I

■ 救急法救急員

■ 秘書検定2級

■ 宅建

■ FP(ファイナンシャルプランナー)

■ 放課後児童支援員

令和6年度 卒業生アンケート(卒業1年目)について

16. 最後に本アンケートや本学について意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください。

- ・在学中はたくさんお世話になりました。是非何かありましたら、協力させていただきます。
- ・社会人になり、私がどれだけ素敵な環境で学生生活を送っていたのかを改めて感じるが多々あります。会社に入り仕事をする中で辛いことを経験して心身ともに崩れそうになっていますが、それは大学生活が充実していたからこそ、今とのギャップに戸惑っているんだなと思います。充実した学生生活がとても良い思い出です。感謝の気持ちを伝えたくてアンケートに回答しました。
- ・同じ夢をもつ人たちと授業を考えたら話し合ったりすることがすごく楽しかったです。

■今後について

- アンケート項目の検討、改善
就職に関する質問事項以外の内容を多くする場合は担当部署の見直しも検討する。
- アンケートの回答率を上げるための体制づくり
 - ・卒業後も情報交換ができるようにするため、フリーアドレスの入力を卒業前に登録させる。
 - ・教員の協力を得て、ゼミ生やクラブ関係を通じた依頼をする。
- スポーツ系資格について
 - ・Q15 在学中に取得しておけばよかったと思う免許、資格についての回答から、本学で取得・受験できる資格が就職後、必要となっている状況が見られる。また、ほか資格への興味があることがわかった。
今後の学生へのガイダンスで、卒業生からの声として報告し、在学時の資格取得についてより分かりやすい説明をしていきたい。
 - ・Q14 在学中に取得した免許、資格で、現在活用できているものについての回答から、日本スポーツ協会の共通科目(スポーツコーチングアシスタント/現:スポーツコーチングコーチングリーダー)を活用している15名のうち、半数近くが教員をしている結果であった。
今後の学生へのガイダンスで、卒業生からの声として報告し、在学時の資格取得について説明していきたい。
- 教職ラーニングステーションの活用について
 - ・Q12 今年度の教職採用試験に受験について回答より、9名の卒業生が受験したことがわかった。教職ラーニングステーションを利用した卒業生は3名いたことが確認できている。

就職先インタビュー報告書（令和6年度）

日 時 令和6年12月23日(月) 10:50～11:50
場 所 4号館 1階 キャリア支援課 研修室
企 業 名 コスモスポーツクラブ・幼児活動研究会株式会社 様
回 答 者 事業戦略室室長 人事責任者 大橋 信久 様
社会福祉法人大和学園福祉会 認定こども園こっこる 卒業生 酒井まり恵 様、小林ゆう香 様
対 応 者 キャリアセンター 櫻田所長、キャリア支援課 木村課長
項 目 ① 本学学生が在学中学習した内容が活用できているか
② 社会人として活躍していく「社会人基礎力」が備わっているか
③ 本学学生(内定者)の特徴や期待していること
④ 本学(学生)に対して習得してもらいたい知識・資格
⑤ インターンシップ等の実施について

■コスモスポーツクラブ・幼児活動研究会株式会社について

「お客様を喜ばし 社員を喜ばす」という、経営理念のもと、体育指導員(園児・小学生への体育指導)および教育・保育事業として保育士の採用、療育事業の運営を行っている。

- ・ 会社の方針を理解し、同じ方向を見て、社員一同取り組んでいくことを大切にされている。
- ・ コミュニケーション力、傾聴力のある学生とともに働きたく、面接ではその部分を重要視している。
- ・ 療育の分野にも今後力を入れていく予定。

■卒業生が振り返る、役に立った授業や身につけられた力

- ・ 造形の授業で制作したものをファイリングしたが、現在も職場のロッカーに置き、活用をしている。
- ・ ピアノの練習ができる環境が整っており、人前に立つ経験を積極的にすることができた。
- ・ チームで働く力、規律性、実行力などが短大のオペレッタ等を通して身についたと感じている。

■卒業生が感じる入社後により身についた力

- ・ 考え抜く力(どうしたら良くなるか、改善するために様々な視点から考えるようになった)
- ・ 計画力(運動会に向けてなど、うまく事柄が進むように計画、準備するようになった)
- ・ 発信する力(よりわかりやすく、また、分からないことでも分からないことを伝えることの重要性)
- ・ こどもの安全を守る仕事であるため、大変であるが成長を感じている。
- ・ 本学卒業生が入職し、同じ職場で指導をしているが、後輩と働くことができるのは大変嬉しい。

■採用者(本学卒業生)の特徴、強みについて

- ・ 様々な力を身につけており、どの卒業生も個々にとても活躍している。
- ・ 大学での学びを通して培った力が多く身につけており、最後までやり抜く力があり、ストレスコントロール力もある。
- ・ 取り組んできた競技経験から、仕事における人間関係も問題なく築き上げられ、コミュニケーション能力が高い。

■本学在学生により身につけてほしい知識、力

- ・協働力(役割を理解し相互に助け合う力)
みんなで協力し、作り上げていく力。
- ・自信創出力(自分を知り、自身を引き出す力)
失敗をしてもいい、まずやってみることが大事。失敗の反対は成功ではなく、何もしないこと。
- ・課題発見力(情報を集め本質に迫る力)
分からないことをそのままにしない。
- ・親和力(人に興味を持ち共感・信頼する力)
人により興味を持ち、相手を理解しようとする力。

■インターンシップについて

1day を中心に受け入れをしており、本学学生のエントリーもある。

■本学学生における学修・教育正課の可視化について(PROG テスト)

- ・本学学生自身がそれぞれの強みや課題を理解・自覚するために令和6年度より開始。
- ・対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力についてそれぞれの特性が数値化される。
- ・本学の取り組みに賛同いただいた。

■研修内容

- ・入社前研修、宿泊研修、フォローアップ研修、保育研修

■資格について

- ・保育園への勤務には、保育士免許が必須となる。
- ・療育分野に関しては、福祉関係の資格があるとなお良いが、教員免許状があるのも良い。

■新卒の採用枠について

- ・高校卒業の新規採用の中で、提携する短大で保育士資格取得のために通信教育をしながら勤務し、保育士取得後2年間勤務することを条件に、通信教育に関わる費用を全面負担とする制度を新たに設けた。25卒で1名内定している。

まとめ

本学学生の強みとして、最後までやり抜く力があり、ストレスコントロール力やコミュニケーション能力が高いことが評価されているとのことであった。卒業生からも、本学で学びを得て、様々な力をつけ活躍されている様子が伺え、こどもたちと関わる中で必要な力を身につけられ、即戦力・必要な人材となれると確認ができた。

また、自分の意見を伝える力や、課題に対して次へ繋げるための考え抜く力がよりあると良いとのことであった。発信力は強化したい力であり、グループディスカッションは、一般企業等への就職採用試験で用いられることも多いため、キャリアセンターとして、就職対策講座等で学ぶ機会を設定することを検討したい。

以上

令和 5 年度の取組についてのアセスメント（概要）

資料 1	令和 5 年度	公立学校教育職員採用試験合格状況
資料 2	令和 5 年度	教員免許状取得状況
資料 3		教職センターアセスメント①
資料 4		教職センターアセスメント②
資料 5	令和 5 年度	教職課程自己点検評価報告書（案）

1 公立学校教育職員採用試験合格状況（資料 1）教員免許状取得状況（資料 2）

〔教職センター目標〕

学生の教職への夢や希望を実現させるべく、意欲のある学生にその学生の実態（能力や学生生活）に合わせた支援を行う。

○体育大学として、教員採用試験（中高体育）での現役合格者を少しでも増やす。

〔目標：5 名（R5）→結果 4 名〕・・・5 名（R6）＊継続

○科目等履修で小学校免許を取得できるメリットを生かし、短大生も含めて教員採用試験（小全）での現役合格者をさらに増やす。

〔目標：30 名（R5）→結果 29 名・・・30 名（R6）〕

○特別支援学校への現役合格者を増やす。

〔（R5）→結果 4 名・・・2～4 名（R6）〕

教員免許状取得状況は引き続き高い（資料 2）が、昨年度より公立学校教育職員採用試験の現役合格者（資料 1）を増やすことに主眼をおいて支援を行ってきた。特に（小）中高の体育教員は、東京都において 4 名が合格し、目標に迫ることができた。また、小学校教員についても、ほぼ目標に近い数の学生が合格した。令和 6 年度については、目標数に到達できるようさらなる支援策を講じていきたい。

〔課題改善に向けた新たな取組〕

○教職志望学生の早期把握とタイムリーな情報提供（週刊翌檜通信） ＊登録制度（資料 3－8）

○教職志望学生（1～3 年）の意欲喚起

・教員採用に向けた学生勉強会（4 年生コーチ） 10 月実施

○教職志望者ガイダンスの開催（9 月オリエンテーション時）

・教職志望学生（1～3 年）を対象に、採用試験、勉強の仕方、ラーニングステーション、観察実習等を説明

○中高体育教員志望学生のためのグループ学習（学生のニーズに合わせた実施）

R5 は、60 名前後の学生を 8 グループで→R6 はさらに増やす

○ラーニングステーションの各種対策講座の 2 年生からの参加（資料 3－1）

○教師力養成講座（観察実習）の 1 年生からの参加（資料 3－9）

2 教職センターアセスメント（資料 4）

ここでは、教職ラーニングステーションに関するアセスメントを実施した。

〔利用状況〕

・アンケート回答者の約 2 割、96 名が利用していると回答。（資料 4-3-(1)-① P1）

・利用時間について 98%が満足している。（資料 4-3-(1)-④ P3）

〔環境〕

- ・学ぶ環境として 68%が自分に適している、11%が適していない、21%が分からないと回答。

(資料 4-3-(3)-① P4)

〔各種対策講座〕

- ・ラーニング・ステーション利用者の 58% (56 人) が参加。(資料 4-3-(4)-① P5)

〔各種対策講座の満足度〕

- ・参加者の 98%が満足していると回答。(資料 4-3-(5)-① P6)

〔総合評価〕

- ・ラーニング・ステーションの総合的満足度は、大いに満足が 39%、満足が 55%、満足していないが 6%であった。(資料 4-3-(6)-① P7)

〔課題改善に向けた新たな取組〕

一昨年度より、教職志望者の学習環境としてスペースの拡充を検討し、令和 6 年度からは隣接する教室 (232) も活用できるようになり、学生の利用が増えた。(資料 3-4) ただ、学習の望む学習環境は様々であり、図書館の 2 階のスペースで学習する学生もいる (資料 3-4) ため、図書館の協力を得て、教職に必要な資料の掲示なども行うようにした。また、特定の学生が個別のブースを占拠しないよう、年度当初に改めて指導した。

3 観察実習 (年 2 回実施) (資料 3-9)

観察実習の参加学生は、令和 4 年度が 83 名、令和 5 年度が 72 名であった。現在、国立市の小中学校、近隣の都立高校 (4 校)、府中市の小中学校他、となっており、1 回の参加学生が最低でも 30 名以上必要な状況にある。そこで、この取り組みの 1 年生への啓発が必要と考え、9 月のオリエンテーションで趣旨やメリットを十分伝える予定である。

なお、来年度からは、前期の実施は、授業「学校体験学習」として、教職体育学専攻コースの学生を対象に実施し、後期はこれまで同様、1 年生からの参加を促していくことを考えている。

4 教職課程自己点検評価報告書 (資料 5)

「教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程を実施する組織に関するガイドライン (概要)」(令和 3 年 教職課程の質保証のためのガイドライン検討会議)(資料 4)に基づき、本学は令和 4 年度の自己点検評価より実施している。

令和 5 年度の評価書については、上記のアセスメントの結果も含めて、項目に照らして修正し、まとめた。今後、ホームページにて公表していくことになる。

4) 教職センターアセスメント

令和5年度実施公立学校教員採用試験二次合格者(現役)数

令和5年11月1日現在

所 属			令和5年度		令和4年度		令和3年度	令和2年度	令和元年度
学部・学科		区分	実数	延人数	実数	延人数	実数	実数	実数
大 学	体育学科	小・中・高校	2名	2名					
	体育学科/科目等	小・中・高校	1名	1名					
	体育学科	中・高校	2名	2名	0名	0名	2名	4名	2名
	体育学科	特別支援	4名	4名	2名	2名	0名	0名	0名
	体育学科/編入生	小学校	3名	3名	2名	2名	2名	0名	2名
	体育学科/科目等	小学校	24名	27名	15名	19名	3名	11名	3名
短 大	こどもスポーツ	小学校	2名	2名	0名	0名	0名	1名	2名
科目等履修生	科目等(既卒)	小学校	0名	0名	1名	1名	0名	0名	4名
合 計			38名	41名	20名	24名	7名	16名	13名

令和5年度実施教員採用試験期限付き名簿搭載(現役)一覧

令和5年10月2日現在

所 属			令和5年度		令和4年度		令和3年度	令和2年度	令和元年度
学部・学科		区分	実数	延人数	実数	延人数	実数	実数	実数
大 学	体育学科	小・中・高校	2名	2名					
	体育学科	中・高校			2名	2名	3名	0名	1名
	体育学科	特別支援	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	体育学科/編入生	小学校	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	体育学科/科目等	小学校	0名	0名	7名	7名	6名	4名	1名
短 大	こどもスポーツ	小学校	0名	0名	0名	0名	1名	2名	0名
科目等履修生	科目等(既卒)	小学校	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合 計			2名	2名	9名	9名	10名	6名	2名

令和5年度実施公立学校教員採用試験一次合格者(3年前倒し)数

令和5年10月2日現在

所 属			令和5年度	
学部・学科		区分	実数	延人数
大 学	体育学科	小・中・高校	5名	5名
	体育学科	特別支援	0名	0名
	体育学科/科目等	小学校	15名	15名
合 計			20名	20名

令和5年度教員免許状取得状況等について

R6.3.11現在

1. 教育職員免許状取得者数

学部・学科		卒業学生数	免許状種類	取得学生数	取得率
大 学	体育学部 体育学科	309 名 (326) 名	中学校1種・ 高等学校1種	254 名 (277) 名	82.2% (85.0%)
	科目等履修生	1 名 (1) 名	中学校1種・ 高等学校1種	1 名 (1) 名	100% (100%)
短期大学	保健体育学科	13 名 (25) 名	中学校2種	11 名 (15) 名	84.6% (60.0%)
	こどもスポーツ 教育学科	【幼保コース】			
		31 名 (34) 名	幼稚園2種・ 保育士資格	24 名 (27) 名	77.4% (79.4%)
			幼稚園2種のみ	2 名 (1) 名	6.5% (2.9%)
			保育士資格のみ	4 名 (2) 名	12.9% (5.9%)
		【幼小コース】			
		7 名 (6) 名	小学校2種・ 幼稚園2種	3 名 (6) 名	42.9% (100.0%)
			小学校2種のみ	3 名 (0) 名	42.9% (0.0%)
			幼稚園2種のみ	0 名 (0) 名	0.0% (0.0%)
	科目等履修生	42 名 (34) 名	小学校2種	42 名 (34) 名	100% (100%)
	こどもスポーツ教育学科 計			78 名 (70) 名	97.5% (94.6%)

()内は前年度(令和4年度)

2. 教育実習修了者数

学部・学科		学校種別	実習者数	前年度実習者数
大 学	体育学部体育 学科	中学校	71 名	78 名
		高等学校	189 名	209 名
		特別支援学校	0 名	1 名
	科目等履修生	高等学校	1 名	1 名
		小学校	42 名	34 名
		幼稚園	1 名	－ 名
	小 計		304 名	289 名
短期大学	保健体育学科	中学校	11 名	16 名
		特別支援学校	0 名	0 名
		計	11 名	16 名
	こどもスポーツ 教育学科	小学校	6 名	6 名
		幼稚園	26 名	34 名
		計	32 名	40 名
	小 計		43 名	56 名
合 計		347 名	345 名	

教職センターアセスメント①

(2024.5 月末段階)

1 ラーニング講座の状況について

※昨年より増加

講座・グループ	1年	2年	3年	4年	計
体育専門(山田先生)	0	20	35	25	80
教職教養(柳原先生)	0	2	23	0	25
一般教養(小林先生)	0	4	12	4	20
計	0	26	70	29	125

2 論文指導(柳原先生)の状況について R6.5.31 現在

※増加

月	4月	5月	6月	7月	計
延べ人数	31	37			58

3 大学図書館利用状況 ➡ 一定程度の活用

月	4月	5月	6月	7月	計
人数	教職スペースに 毎日、3～4人				

※図書館から聴き取り

4 ラーニング横「232教室」の利用状況 R6.5.31 現在 ※講座以外での自主活用を含む

月	4月	5月	6月	7月	計
延べ人数	207	298			

5 今年度、3年前倒し選考受験者の状況 (80 名?) (R6.4 月時点) ※状況把握

	小	中高		小	中高		小	中高		特	中高
東京都	9	34	埼玉県	4	5	福井県			愛知県	1	
横浜市			千葉県			石川県		1	新潟県		1
相模原市			神奈川県		2	山梨県			宮城県	小中高 1	
富山県			川崎市		1	岐阜県					
茨城県	2		栃木県	小中高 1		名古屋市				特	小中高
千葉県		2	群馬県		3	佐賀県	1		東京都	1	4
千葉市	1		さいたま市			岡山県					
北九州市			広島県			広島市			未記入		5
福岡県			大阪府			兵庫県					
愛知県			大阪市			京都市					

6 今年度、4年生 教員採用選考 受験状況について(94人)(R6.4月現在) ※状況把握

	小	中高		小	中高		小	中高		特	中高
東京都	9	12	埼玉県	1	5	福井県			北海道		
横浜市			千葉県		1	石川県			長野県	1	
相模原市	1		神奈川県	1	2	山梨県			横浜市		1
富山県			川崎市		1	岐阜県					
茨城県	1		栃木県			名古屋市				特	小中高
千葉県			群馬県			佐賀県		2	東京都	1	3
千葉市			さいたま市			岡山県					
北九州市			広島県			広島市			未記入	9	35
福岡県			大阪府			兵庫県			未記入	特1 未記入 3	
愛知県			大阪市			京都市			私立		3

7 今年度、4年：前年度3年前倒し選考通過者の状況 ※状況把握

	通過者数	辞退数	1次選考受験	2次選考に進んだ学生
小学校	15			
中高	5	1		
計	20			

8 ラーニング登録状況と活用 R6.5.23 現在 ※状況把握 ※2年生(短大含)

	1年	2年	3年	4年	計
学生数		150	110	98	358

○活用状況は？ ・ラーニング・ステーション「週刊 翌檜通信」の送付など

9 観察実習の参加状況 ※状況把握

	1年		2年		3年		4年		計	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
小学校	19	6	20	15	16	16	0	0	55	37
中学校	—	0	—	9	—	13	—	0	—	22
高等学校	1	0	9	4	18	9	0	0	28	13
計	20	6	29	28	34	38	0	0	83	72

※やや減

教職センターアセスメント②（令和5年度 12月実施）

1. アンケートの目的

本アンケートは、教職希望者の教職ラーニングステーション（2号館3階）の活用実態を把握し、今後の支援体制及び教職ラーニングステーションの活用改善を目的としている。

2. 実施対象

- ・令和5年度教職ラーニングステーションに関するアンケート（令和5年12月実施）

大学1年生 4名
 大学2年生 249名
 大学3年生 173名
 大学4年生 25名
 短大（コスポ）2年生 2名
 短大（コスポ）1年生 1名
 合計 454名

3. アンケート結果

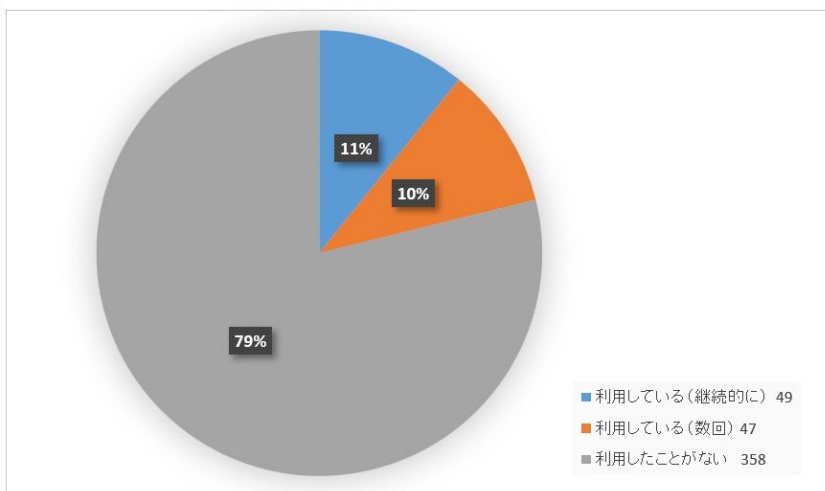
（1）教職ラーニングステーション利用について（全員回答）

①「教職ラーニングステーションを利用していますか」

- ・利用している（継続的に）49名 11%
- ・利用している（数回）47名 10%
- ・利用したことがない 358名 79%

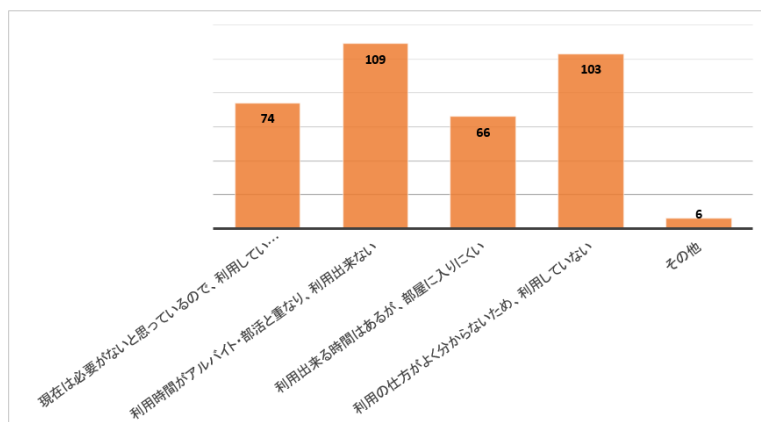
●利用率 ※利用している＝（継続的・数回含む）

- ・大学1年生4名
 利用している0名 0%
 利用していない4名 100%
- ・大学2年生249名
 利用している34名 13.7%
 利用していない215名 86.3%
- ・大学3年生173名
 利用している48名 27.7%
 利用していない125名 72.3%
- ・大学4年生25名
 利用している13名 52%
 利用していない12名 48%
- ・こどもスポーツ教育学科1年1名
 利用している1名 100%
 利用していない0名 0%
- ・こどもスポーツ教育学科2年2名
 利用している0名 0%
 利用していない2名 100%



②「利用したことがない」と回答した方は、その理由を教えてください」

- ・現在は必要がないと思っているので利用していない 74 名
- ・利用時間がアルバイトと・部活と重なり利用できない 109 名
- ・利用できる時間はあるが、部屋に入りにくい 66 名
- ・利用の仕方がよくわからないため利用していない 103 名
- ・「その他」の回答 6 名
- ・行きにくい。
- ・ここは自分の場所！って感じで荷物置いてある机が多く入りにくい
- ・キャリア支援課に行っている。
- ・自分で勉強をした。



(結果・改善点)

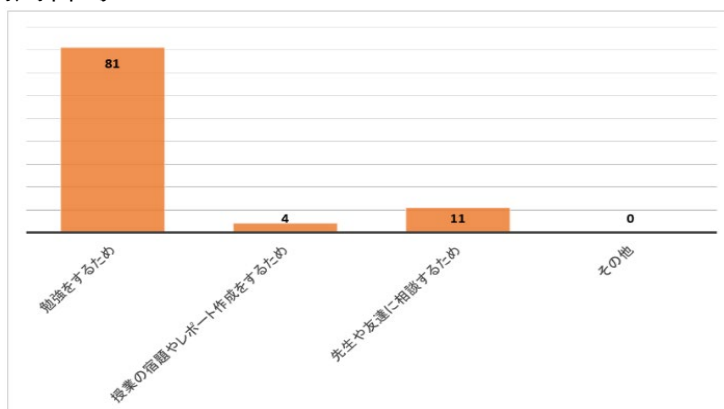
教職ラーニングステーションを利用している学生は全体の 20%を占め、そのうち 10%は継続的に利用していると回答した。現在のラーニングステーションの規模では 20%以上の学生を受け入れる環境にない。今後利用者が増えることを想定すれば、ラーニングステーションの拡充を早急に進める必要がある。

また、利用したことがないと回答した理由として、利用時間がアルバイトや部活動と重なることや利用の仕方が分からないなどラーニングステーション自体を理解していない学生が多いことが分かった。今後は、ラーニングステーションのガイダンスを増やし取り組みを理解してもらえるように支援する。

(2) 教職ラーニングステーションの利用目的について

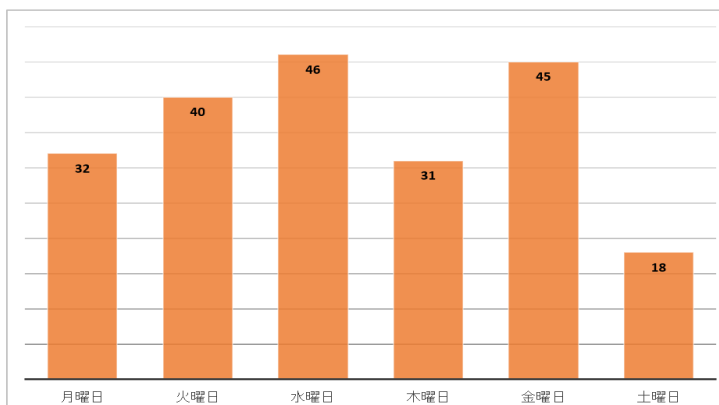
①「利用目的を教えてください」

- ・勉強をするため 81 名
- ・授業の宿題レポートを作成するため 4 名
- ・先生や友達に相談するため 11 名



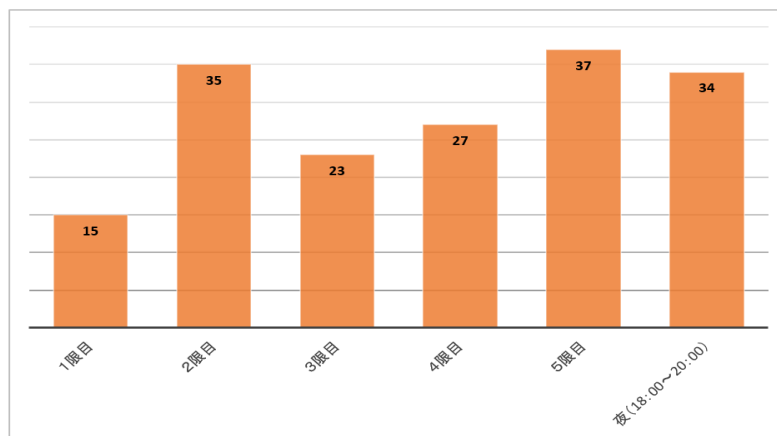
②「教職ラーニングステーションを利用する曜日を教えてください」(複数回答)

- ・月曜日 32 名
- ・火曜日 40 名
- ・水曜日 46 名
- ・木曜日 31 名
- ・金曜日 45 名
- ・土曜日 18 名



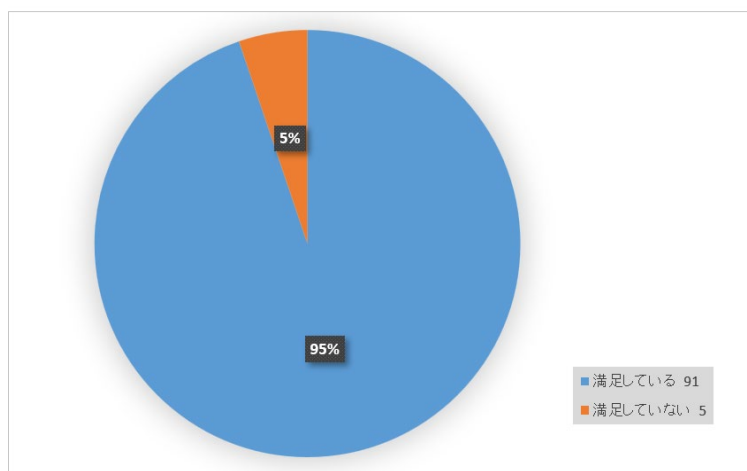
③「教職ラーニングステーションを利用する時間帯を教えてください」（複数回答）

- ・1限 15名
- ・2限 35名
- ・3限 23名
- ・4限 27名
- ・5限 37名
- ・夜間 34名



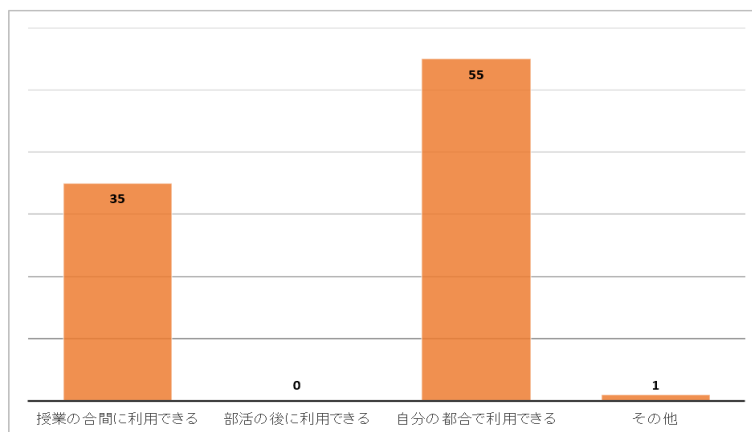
④「教職ラーニングステーションの利用時間は満足していますか」

- ・満足している 91名 95%
- ・満足していない 5名 5%



⑤「満足している」と回答した方は、その理由を教えてください」

- ・授業の合間に利用できる 35名
- ・自分の都合で利用できる 55名
- ・その他 1名（夜遅くまで利用できるから）



⑥「満足していない」と回答した方は、その理由を教えてください」

- ・席が少ない。
- ・うるさい。集中できる環境ではない。
- ・もう教室利用はしません。
- ・部活があったり空きコマが少なかったりするから。
- ・机を占領されている。

（結果・改善点）

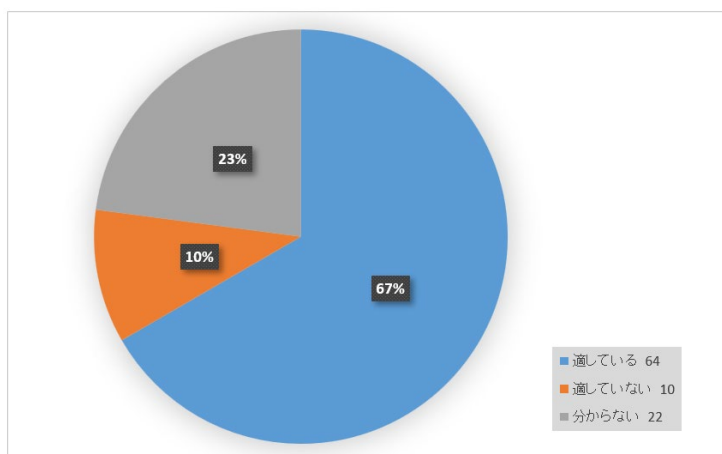
目的については、「勉強をするため」と明確な回答が多かった。また、「先生や友達に相談するため」の回答が一定数いたことから進路相談・進路指導の支援を強化していく必要がある。

利用する曜日では、水曜日、金曜日の利用が最も多く、時間帯では、2限、5限、夜間に集中していることが分かった。結果を踏まえ、集中時の状況を検証、検討する必要がある。また、利用時間については9割が満足していると回答したが、満足していない回答もあった。満足していないと回答した理由を検証し、改善を図ることで継続的な利用者を増やす。

（3）教職ラーニングステーション環境について

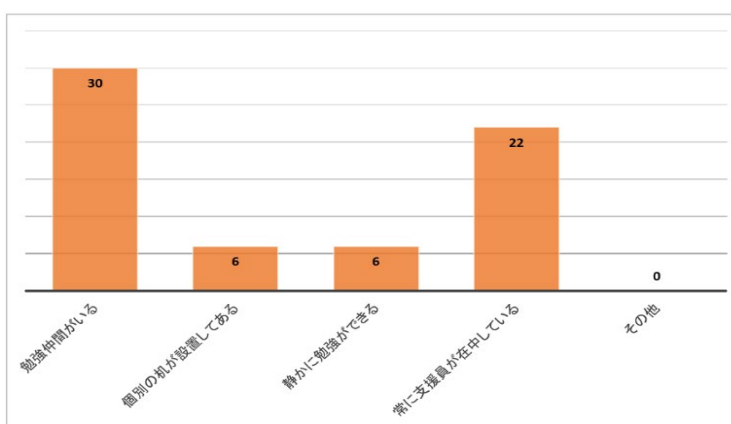
①「教職ラーニングステーションでの環境はあなたに適していますか」

- ・適している 64 名 68%
- ・適していない 10 名 11%
- ・分からない 22 名 21%



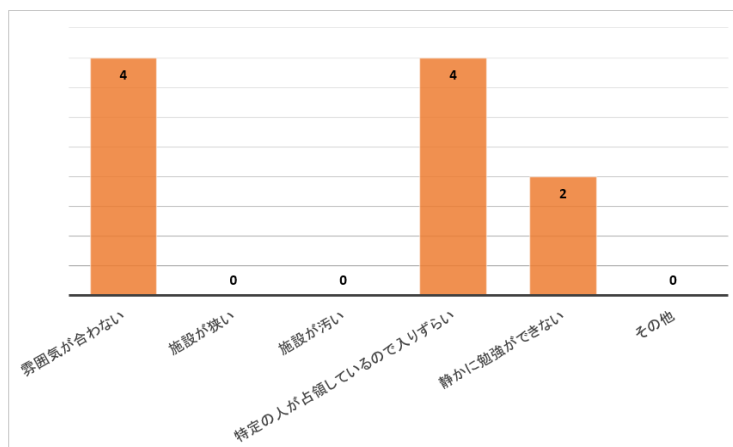
②「適している」と回答した方は、その理由を教えてください」

- ・仲間がいる 30 名
- ・個別の机が設置してある 6 名
- ・静かに勉強ができる 6 名
- ・支援員が在中している 22 名



③「適していない」と回答した方は、その理由を教えてください」

- ・雰囲気合わない 4 名
- ・特定の人占領している 4 名
- ・静かに勉強ができない 2 名



（結果・改善点）

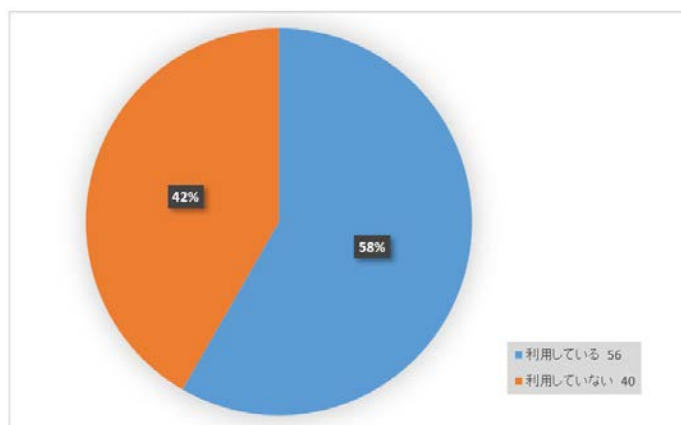
ラーニングステーションでの環境は全体の6割が適していると回答した。適している理由として「勉強仲間がいる」、「常に支援員が在中している」が最多の回答だった。適していないと回答した中には、「雰囲気合わない」、「特定の人占領している」と感じている学生がいる為、誰もが勉強できる環境に改善する。

また、分からないと回答した2割については、ラーニングステーションの利用の頻度に比例すると考えられるため、継続的な利用率の向上を目指す。

（４）各種対策講座利用状況について

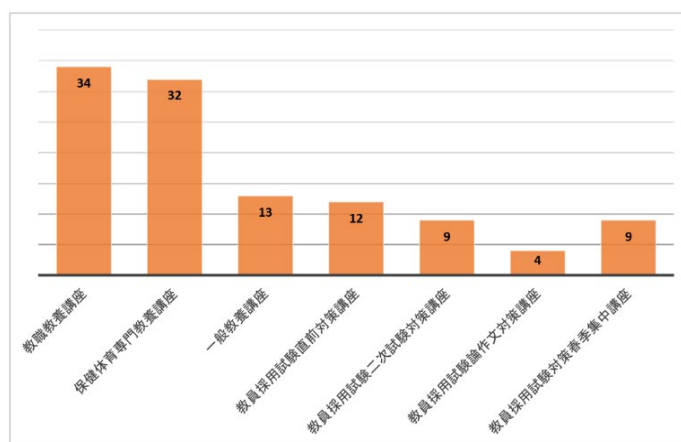
①「各種対策講座（教員採用試験対策講座含む）は利用していますか」

- ・利用している 56 名 58%
- ・利用していない 40 名 42%



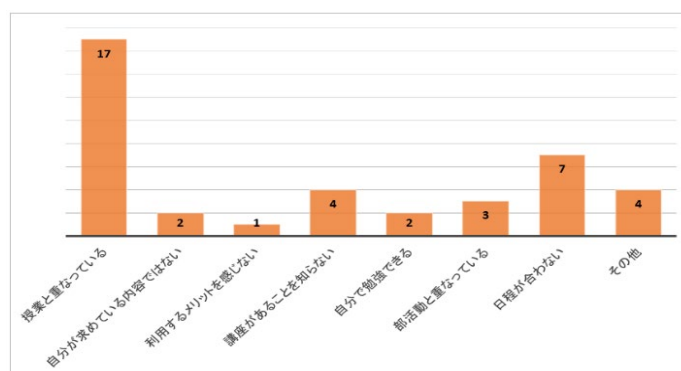
②「利用している」と回答した方は利用している講座を教えてください」（複数回答）

- ・教職教養講座 34 名
- ・保健体育専門教養講座 32 名
- ・一般教養講座 13 名
- ・教員採用試験直前対策講座 12 名
- ・教員採用試験二次試験対策講座 9 名
- ・教員採用試験論文対策講座 4 名
- ・教員採用試験対策春季集中講座 9 名



③「利用していない」と回答した方は、その理由を教えてください」

- ・授業と重なっている 17 名
- ・自分が求めている内容ではない 2 名
- ・利用するメリットを感じない 1 名
- ・講座があることを知らない 4 名
- ・自分で勉強できる 2 名
- ・部活動と重なっている 3 名
- ・日程が合わない 7 名
- ・その他 4 名



（これから参加する・科目等履修には不利・外部のクラブと重なっている・まだしたいことが決まっていない）

（結果・改善点）

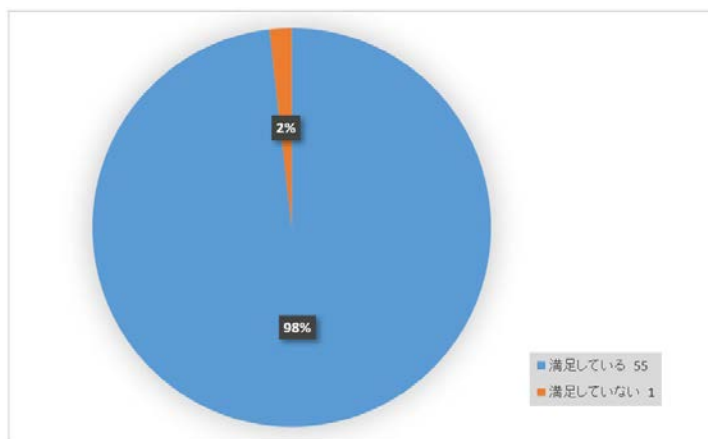
各種対策講座を利用している約 6 割の学生が教員採用試験の講座を利用している。特に教職教養講座、保健体育専門教養講座は採用試験に必須の教科の為利用率は高い。

また、利用していない理由として、「授業と重なっている」回答が多かった。授業と重ならないように日程を決定しているが、重なる場合もあるため個別に対応できるよう学生に周知する。現在、実施している講座は引き続き継続し、講座の周知は学内掲示や SNS 等で教職希望登録者も含め配信していく。

（５）各種対策講座満足度について

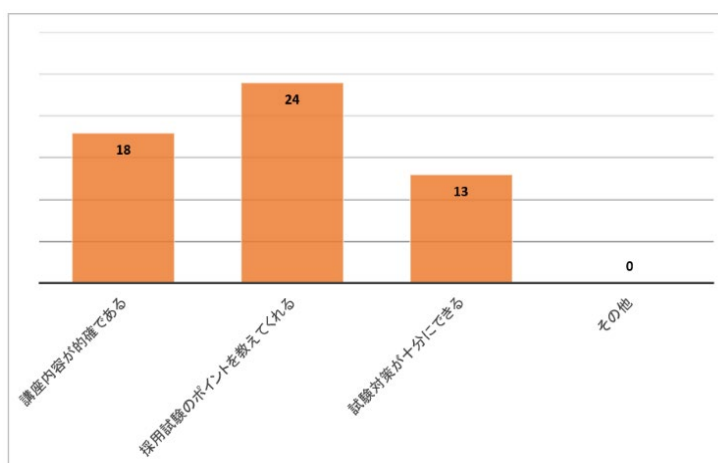
①「各種対策講座（教員採用試験対策講座含む）は満足していますか」

- ・満足している 55 名 98%
- ・満足していない 1 名 2%



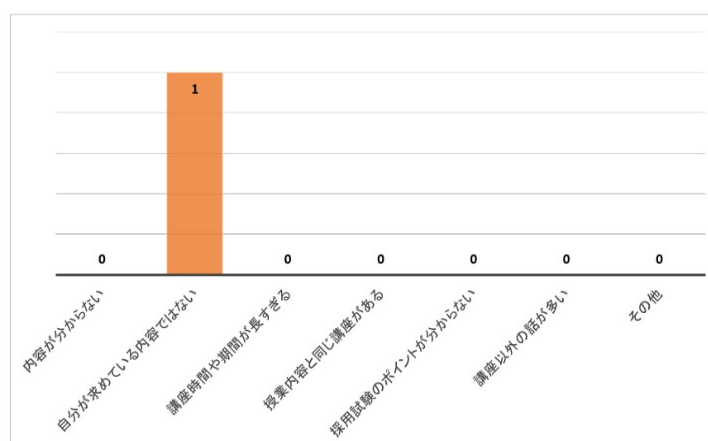
②「満足している」と回答した方は、その理由を教えてください」

- ・講座内容が的確である 18 名
- ・採用試験のポイントを教えてくれる 24 名
- ・試験対策が十分にできる 13 名



③「満足していない」と回答した方は、その理由を教えてください。」

- ・自分が求めている内容ではない 1 名



④「各対策講座で教えてほしい内容はありますか。」

- ・過去の先輩達(自分が受ける都道府県)の試験対策や取組について
- ・学習指導要領、教職教養の法規以外のところで大事な部分
- ・採用試験の全体の流れについて
- ・試験の傾向
- ・実践的な試験対策内容
- ・小論文
- ・各都道府県の出題傾向

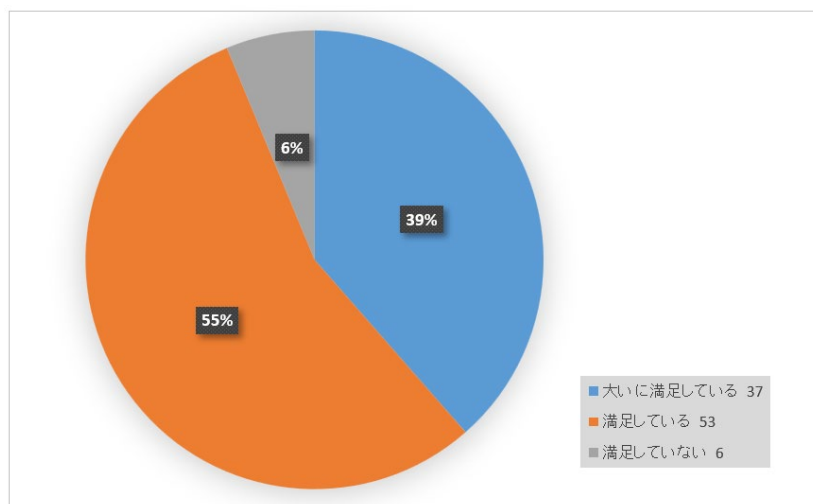
(結果・改善点)

各種対策講座の満足度は98%と高い。理由として講座内容が的確であること、試験対策が十分にできることが満足度の高い理由である。講座の内容については、学生の要望にできる限り応えていくよう検討していく。

(6) 教職ラーニングステーション総合評価について

①「教職ラーニングステーションの利用について総合的にどのように感じていますか」

- ・大いに満足している 37 名 39%
- ・満足している 53 名 55%
- ・満足していない 6 名 6%



②「満足していない」と回答した方は、その理由を教えてください」

- ・特定の人がラーニングステーション自体を占領していてとても入りにくい。
2年生の頃から通ってないと、4年生になってからだと入りにくい。席が少ない。
- ・特定の人教室みたいになっている。気軽に行ってしっかり勉強できる環境ではない。
もっと若い先生を入れてほしい。
- ・教職センターの人たちと特定の人たちの声が大きくて集中できない。
- ・関わりにくい。相談もしにくい。
- ・空き時間がなく行けないし行ったとしても席が空いていなかったりするから。
- ・学習机に私物を置いてあり使えない。

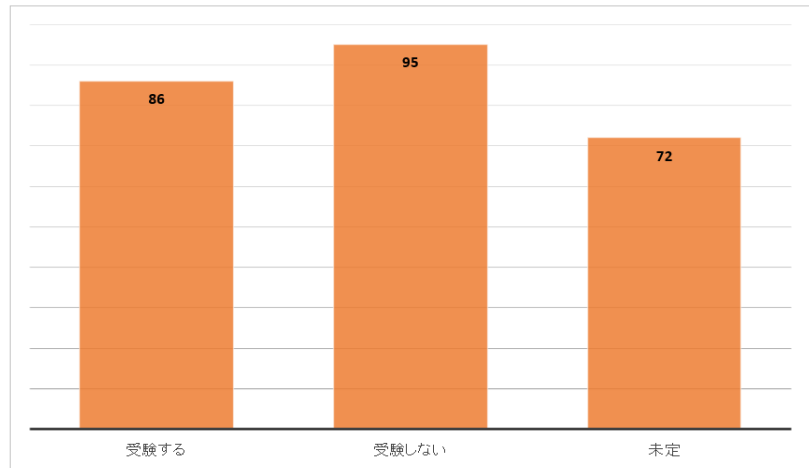
(結果・改善点)

総合的満足度は全体の93%と高い評価を受けたが、一方で満足していないと低い評価もあった。理由として、「特定の人が占領している」、「入りにくい」、「特定の人たちの声大きい」など不満が挙げられた。今後はラーニングステーション内の利用ルールの設定や教室の拡充など学習環境を整備し誰でも利用できる環境を構築する。

（７）教員採用試験大学３年次前倒し受験について

①「教員採用試験の大学３年次前倒し受験を予定していますか」（大学１・２年生 全員回答）

- ・受験する 86 名
- ・受験しない 95 名
- ・未定 72 名



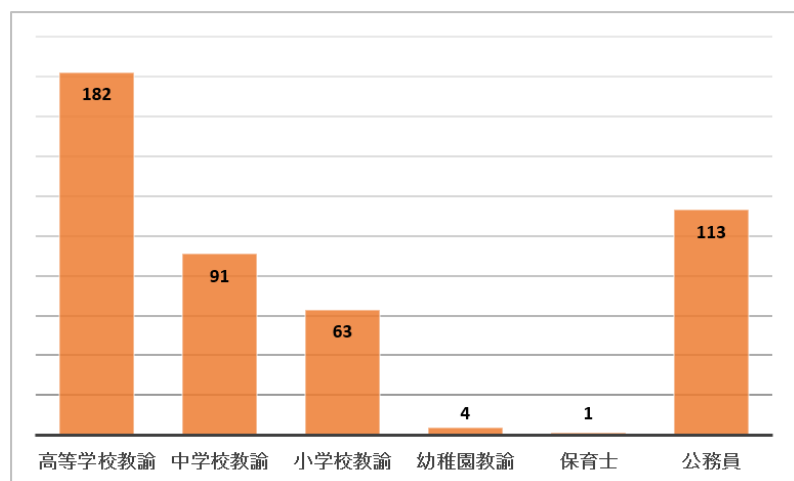
（結果・改善点）

大学３年次前倒し受験の結果として「受験しない」が最も多く、「受験する」が下回る結果となった。回答の対象者が大学１・２年生の為、将来に対して不透明な部分があると考え。一方で受験すると回答した意欲のある学生や登記者（教職希望者）に対しては、日常的に教員採用試験の最新情報や各種講座（学内）案内等を SNS で配信し提供していく。

（８）卒業後の校種について

①「現在考えている卒業後の校種を教えてください」（全員回答）

- ・高等学校教諭 182 名
- ・中学校教諭 91 名
- ・小学校教諭 63 名
- ・幼稚園教諭 4 名
- ・保育士 1 名
- ・公務員 113 名



（結果）

校種別に比較した場合、高等学校教諭に就きたいと考えているのが全体の４割を占めており、次いで公務員、中学校、小学校、幼稚園、保育士と続いた。需要に応じた支援を今後検討し強化していく。

(まとめ)

今回、教職ラーニングステーション（2号館3階）の活用実態を把握する為、今後の支援体制及び教職ラーニングステーションの活用改善を目的としたアセスメントを実施した。総合的に高い評価だったがアセスメントから、ラーニングステーションの活用実態が分かり改善すべき点が多く見つかった。中でもラーニングステーションを活用する曜日、時間帯がどこに集中しているのかが把握できたことで今後の学習環境改善の検討材料に有効なデータが取得できた。また、各質問の低評価については、ラーニングステーションの学習環境に不満を抱く内容が含まれている為、内容を再度見直し誰もが活用できるような体制を構築する。

さらに、ラーニングステーションの活用方法や取り組みについて理解していない学生が多いことも分かった。この結果を踏まえラーニングステーションのガイダンスを増やし、教員希望の学生に対してキャリア支援と協力しながら支援体制を構築する。

大学3年次前倒し受験については、受験を希望している学生の支援を強化し都道府県の動向を注視しながら情報を提供していく。また、今年度から新たに4年生をコーチとする教員採用試験に向けた勉強会をつくり、上級生から下級生に向けて勉強方法や取り組みの仕方を教わる体制を構築したことも、教員希望者の意識向上に繋がったと言える。今後も継続的に実施し教職に関わる教員と連携していく。

令和5年度は、教職希望の学生に対して登録制を設け、登録した学生には教職に関する情報を提供するようなシステムを構築した。また、ラーニングステーションを活性化させるため、SNS等の配信を実施し全面に周知を行ってきた。しかし、学生の認知度は、前年度と比較して変化なく低い傾向にあったため周知の仕方を再度検討し見直しを図る。

以前から課題として挙げられている学習環境の充実については、令和6年度から教職ラーニングステーションのスペースを拡充し自己学習に加え模擬授業にも活用できるよう進めている。

今後、ラーニングステーションを活性化するために学生に対して柔軟な支援体制の構築、各種対策講座の強化、学習環境の充実を徹底していきたい。

5) 入学者アンケート

2024 年 新入生アンケートのまとめ

■アンケート実施に関して

1 年生を対象に、入学前・入学後・将来ビジョンに関するアンケートを実施した。これらの得られたデータは、広報部広報課による戦略的広報活動や資料作成に生かすとともに、学内で共有し学生生活の充実、入学試験の改善等、本学の魅力開発および発展を図りたい。

■実施日：2024 年 4 月のフレッシュウィーク期間にて実施

■対象者：1 年生（大学（体育学部）・短大（こどもスポーツ教育学科）

■方法：Forms を利用しアンケートを実施。設問項目は 33 項目。

結果・考察については主に昨年度の結果と比較し作成した。なお統計的な比較検討は実施していない。

■回収状況：大学（体育学部） 226 名/232 名（回収率 97.4%）

短大（こどもスポーツ教育学科） 31 名/31 名（回収率 100%）

■結果・考察：

設問 1 あなたは本学を何で知りましたか。

- ・ 昨年同様、大学（体育学部）で最も多い回答は、「高校の先生」48.2%（2023 年 60.1%、2022 年 54.6%）であったが、次が「先輩」31.4%（2023 年 30.4%、2022 年 33.9%）、「クラブ関係」24.3%（2023 年 31.6%、2022 年 30.0%）となり、2 位・3 位が逆転した。
- ・ 「高校の先生」は昨年と比べると割合は下がったが約 50%と高く、高校生が本学を知る過程で高校教員が大きな役割を果たしていることが明らかであるため、高校の教員に対してどのように本学の広報を行っていくかが引き続き重要な課題である。
- ・ 大学（体育学部）においては、「クラブ活動」を通じて本学を知る高校生が多い。指導者を通じての関わりや、高校の部活動との交流を積極的に行っていくことに効果があると言える。
- ・ 「大学関係者」「進学説明会」の割合が微増している。
- ・ 「先輩」の影響が大きいため、在学生の大学生活に対する満足度を上げ、本学で得た経験を後輩や母校へ発信してもらえるよう努めることが求められる。
また、1 年生同士の会話に、お互いの入試区分を探る会話があり大学入試への関心が残っていると予想でき広報資源だと感じる。
- ・ こどもスポーツ教育学科においても、大学同様「高校の先生」が多い。
- ・ 情報ツールを使ったものについては、外部の情報サイトや情報誌よりも、本学のホームページや資料請求によるものが圧倒的に多い。大学案内およびホームページをリニューアルすることができたため、更に情報発信を強化していく。SNS 等の効果はまだ弱い、Instagram の投稿を強化しているため、数値に現れ始めている。

設問2 本学の受験を決めたのはいつごろですか。

- ・ 昨年同様に大半が高校3年生になってから決めており、夏休み以降（夏休みを含む）に決めた割合が大学（体育学部）・短大（こどもスポーツ教育学科）ともに5割となっている。ただ、高校2年生・1年生と早い時期の割合も少しずつ増えており、高校での進路指導の時期に即した広報や、適切な時期に他大学との差異やタイムリーな情報を発信することが求められる。

この回答結果により、オープンキャンパスの開催月の改善や低学年に向けた広報が非常に重要であることが読み取れる。

また、次年度のオープンキャンパス等日程告知を早めることで早い時期の進路決定者が増やして行きたい。

設問3 本学を選んだ理由は何ですか。

- ・ 昨年同様に、小中高教員免許、幼稚園教諭免許、保育士資格の取得が本学選択の理由として多く挙げられている。これらの資格取得に対する本学の教育・支援体制の充実と、その効果的な広報が求められる。
- ・ 大学（体育学部）では、「興味関心のあるクラブがある」（2023年39.9%→2024年34.5%）と若干減少した。また短大においても同様の傾向がみられる。ただ、割合としては30%を超えており、クラブ活動の充実やその広報を積極的に行う必要があると言える。
- ・ 大学では、昨年に引き続き「オープンキャンパスや進学説明会に参加して魅力を感じた」という回答も22.6%であった。これらのイベントへの集客力を高める工夫を検討したい。

設問4 あなたが本学を受験し、入学した方法を選択して下さい。

- ・ 昨年度同様、「学校推薦型選抜」、「総合型選抜Ⅰ期」が多いため、これを踏まえた広報等の対策が必要となる。

設問5～15. 入試関連について。

【受験区分（入試の種類）と傾向】

- ・ 昨年度同様、総合型選抜は受験理由として「試験内容（面接のみで学力試験がない）などが大きな要因と考えられる。
- ・ 昨年度同様、学校推薦型（スポーツ）選抜は、受験理由として自分自身の長所（スポーツにおける競技成績や学業成績）などが大きな要因として考えられる。
学校推薦型（指定校：藤村含む）選抜は、高校の学習成績の状況が良いことを生かしたいためが昨年度同様多かった。
- ・ 一般選抜・共通テスト利用選抜は、利用者が少なく回答無し。

【試験時期と傾向】

- ・ 全体的な傾向は、昨年度とほぼ同様と思われる。比較的早い時期に行われる総合型選抜Ⅰ期、推薦型選抜、総合型選抜Ⅱ期については、受験での試験内容（面接中心）や、教員・指導者・保護者などの周囲の人間の影響、そしてオープンキャンパス等の影響が見られやすい。

設問 16, 17 : ポリシーについて

- ・ 入学前に3つのポリシーを読んだことのある学生は、昨年度同様80%を超えている。引き続き、受験生が読みやすいような情報提示・発信が求められる。
- ・ 専門分野（体育・スポーツ/保育・幼児・児童教育）の実技能力と、それらに関心を持ち社会に貢献する力を備えていると捉えている学生が多い一方、物事を多面的・多角的に観察し、論理的に考察する力を備えていると捉えている学生は少ないため、これらの実態に即した教育・支援が必要といえる。

設問 18～22 : オープンキャンパスについて

- ・ 大学、短大ともに、高校3年生での参加が多いが、高校2年生での参加も増えてきており、進路決定時期の早期化が伺える。今後の販促等について、低学年にも魅力を感じてもらえるよう改善を検討していきたい。
- ・ 実施月が異なるため、単純に比較はできないが、夏休み中の参加（もしくは印象深い）が多い傾向は変わらない。8月のオープンキャンパスが33%を占めている。2023年度と比較すると3月参加も多くなっており、実施月として重要であると感じる。
- ・ オープンキャンパスの主な情報源はホームページであることから、SNSも含め、ホームページ（受験生応援サイト）を見てもらうためのより魅力的で充実したホームページの作成が求められる。併せて、SNSについてクラブとの連携が重要であり、更なる工夫が必要。
- ・ オープンキャンパスに参加して感じたことについて、教員や学生が親切だったと感じた学生、明るい学校だと思ったが、それぞれ20%、全体会について選んだ学生も23%と多く、広報委員会で毎回反省し改善している結果が良い評価となっている。
- ・ オープンキャンパスに参加した際の学生や教職員との関わりや、部活の体験・参加することがよい印象につながる傾向がみられる。そのため、引き続きその意義と成果を周知し、学生や教職員が意欲的・積極的に関わられるような働きかけが必要といえる。

設問 24・25 : ホームページについて

- ・ ホームページを初めて見た時期について、高校3年生が約半分と多く、オープンキャンパス参加・検索でも高校3年生がホームページを利用している結果が出ており、その結果と繋がっている。

設問 28・29 : 情報収集時に使用する媒体

- ・ ホームページと回答している学生が圧倒的に多く（大学87.2%、こどもスポーツ教育74.2%）次いでInstagram（大学45.6%、こどもスポーツ教育41.9%）となっている。特にInstagramは昨年度に比べ割合が増えており、今後も“こんなキャンパスで大学生活を送ってみたい”と思ってもらえるように大学の雰囲気・日常が良くわかる情報を日々発信していくことで大学への興味、関心が高まると考えられる。

設問 30 入学後、本学で何を学びたいと思いますか。

- ・ 「授業を通して得る専門知識」「資格を取得する専門知識」、次いで「クラブ活動等を通して得る専門知識」が多い。ただし、他のどの項目もある程度の回答数があり、学生が様々な学びを期待し、力をつけたいと思っていることが窺える。こうした期待に応えるカリキュラムや課外活動等を提供するとともに、学生の学びの到達度についての客観的評価及び自己評価を継続的に行う必要がある。

設問 31 本学で取得したい資格は何ですか。

- ・ 昨年同様に教員免許（中高）、幼稚園教諭、保育士資格の取得を目指している学生が多い。また、フィットネス資格（ジュニアスポーツ指導員）、スポーツ指導基礎資格（コーチングアシスタント）、健康運動指導士・健康運動実践指導者など、スポーツ関連資格も幅広く希望がある。今後キャリアデザインの授業を通じ、資格の魅力や取得のメリット等を伝えることで、卒業時の資格取得者を増やし、学生や保護者への満足度向上に繋げたい。
- ・ 他の資格については、各課が連携してその取得方法等を丁寧に説明し、継続的に支援していくことが求められる。

設問 32 卒業後の希望の進路を教えてください。

- ・ 昨年同様、大学は「学校教育」、こどもスポーツ教育学科は「幼稚園・保育所」を希望する割合が多い。これらの進路実現のための支援に力を入れることが求められる。一方で、全体の2割以上の学生が「まだ考えていない」と回答している。そのため大学生活の中で自らの将来について模索し、新しい可能性を見出すことができるようにすることが必要である。具体的には教職ラーニングステーションの紹介・誘導強化、キャリア支援課の個別面談が有効と言える。また、出口（就職）を意識した専攻コース選択をすることで、ミスマッチのない進路を実現させていく。

設問 33 あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子体育短期大学の魅力は何ですか。

- ・ 大学（体育学部）では、大学の雰囲気（明るい・元気・楽しそう・人間関係が良いなど）回答 69 件、クラブ・スポーツ・部活関係回答 39 件、施設・環境関係回答 36 件、カリキュラム・教員・専門知識を学ぶことができる回答 46 件、免許・資格関係回答 32 件などが選ばれた。

これらのことから本学（大学・短大）は、上記のような一般的な魅力増大と共に、独自の魅力開発を早急に行う必要があると考えられる。またそれらの魅力を社会、高校、学生へ発信、伝達もより必要であると言える。

以上

2024年度 新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	226	253		15	31	37

* パーセンテージ母数は回答者数 ※重複回答者2人 ※重複回答者1人

問	項目	大学(人)		大学(%)		短・保(人)		短・保(%)		短・こ(人)		短・こ(%)	
		2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
1	あなたは本学を何で知りましたか(複数回答あり)												
	本学のホームページ	44	43	19.5	17.0		2		13.3	6	6	19.4	16.2
	資料請求	22	24	9.7	9.5		1		6.7	6	0	19.4	0.0
	高校の先生	109	152	48.2	60.1		4		26.7	9	17	29.0	45.9
	先輩	71	77	31.4	30.4		4		26.7	7	7	22.6	18.9
	友人	8	16	3.5	6.3		1		6.7	2	2	6.5	5.4
	スタディアプリなどの進学情報サイト	10	2	4.4	0.8		0		0.0	1	1	3.2	2.7
	進学情報サイト(スタディアプリ(リクルート))		2	0.0	0.8		0		0.0		1	0.0	2.7
	進学情報サイト(Benesseマナビジョン(進研アド))		2	0.0	0.8		0		0.0		1	0.0	2.7
	進学情報サイト(パスナビ(旺文社))		0	0.0	0.0		0		0.0		1	0.0	2.7
	進学情報サイト(進路ナビ(ライセンスアカデミー))		1	0.0	0.4		0		0.0		0	0.0	0.0
	クラブ活動	55	80	24.3	31.6		3		20.0	7	5	22.6	13.5
	保護者	19	20	8.4	7.9		2		13.3	6	9	19.4	24.3
	進学情報誌	7	1	3.1	0.4		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	進学情報誌(リクルート)		1	0.0	0.4		0		0.0		0	0.0	0.0
	進学情報誌(進研アド)		1	0.0	0.4		0		0.0		0	0.0	0.0
	進学情報誌(さんぼう)		0	0.0	0.0		0		0.0		0	0.0	0.0
	大学関係者	17	8	7.5	3.2		0		0.0	4	1	12.9	2.7
	進学説明会	9	9	4.0	3.6		1		6.7	3	1	9.7	2.7
	新聞	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	高校の進路相談室等にあった資料やポスター	9	8	4.0	3.2		0		0.0	3	3	9.7	8.1
	駅等の大学の看板	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	競技大会等のプログラム広告	0	4	0.0	1.6		0		0.0	0	1	0.0	2.7
	公式LINE	2	1	0.9	0.4		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	公式Instagram	7	3	3.1	1.2		0		0.0	2	1	6.5	2.7
	公式Twitter	0	1	0.0	0.4		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	その他(卒業生、部顧問の先生、中学時の先生、姉、身内)	9	5	4.0	2.0		0		0.0	3	1	9.7	2.7
2	本学の受験を決めたのはいつごろですか。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	中学生のとき	5	4	2.2	1.6		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	高校1年生	7	3	3.1	1.2		0		0.0	1	2	3.2	5.4
	高校2年生	28	24	12.4	9.5		1		6.7	3	7	9.7	18.9
	高校3年生の夏休み前まで	79	88	35.0	34.8		3		20.0	10	4	32.3	10.8
	高校3年生の夏休み以降(夏休みを含む)	104	133	46.0	52.6		10		66.7	16	24	51.6	64.9
	その他(高校卒業後など)	3	1	1.3	0.4		1		6.7	1	0	3.2	0.0
3	本学を選んだ理由は何ですか(複数回答あり)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	建学の精神・大学の特色・校風が良い	36	27	15.9	10.7		3		20.0	3	3	9.7	8.1
	魅力ある教員がいる	14	18	6.2	7.1		1		6.7	0	1	0.0	2.7
	自身の興味・関心がある競技又はクラブがある	78	101	34.5	39.9		4		26.7	7	11	22.6	29.7
	高校の先生の勧め	91	89	40.3	35.2		2		13.3	3	10	9.7	27.0
	高校の先輩の勧め	17	23	7.5	9.1		1		6.7	0	0	0.0	0.0
	家族の勧め	18	18	8.0	7.1		1		6.7	4	5	12.9	13.5
	教員免許(小学校、中学校、高等学校)が取得できる	130	128	57.5	50.6		2		13.3	5	6	16.1	16.2
	幼稚園教諭、保育士資格が取得できる	5	2	2.2	0.8		1		6.7	28	31	90.3	83.8
	就職率が高い(教員)	41	46	18.1	18.2		0		0.0	4	5	12.9	13.5
	就職率が高い(一般企業)	15	16	6.6	6.3		2		13.3	1	3	3.2	8.1
	本学からの教育実習生を見て	11	10	4.9	4.0		0		0.0	0	1	0.0	2.7
	施設・設備等が優れている	39	38	17.3	15.0		0		0.0	3	7	9.7	18.9
	自宅から通学できる	27	34	11.9	13.4		2		13.3	10	12	32.3	32.4
	オープンキャンパスや進学説明会に参加して魅力を感じた	51	51	22.6	20.2		5		33.3	0	13	0.0	35.1
	学納金が安い	1	3	0.4	1.2		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	寮がある	14	17	6.2	6.7		1		6.7	3	4	9.7	10.8
	指定校だった	54	59	23.9	23.3		5		33.3	9	12	29.0	32.4
	その他(部活の雰囲気良かった等)	7	2	3.1	0.8		0		0.0	5	3	16.1	8.1

2024年度 新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	226	253		15	31	37

* パーセンテージ母数は回答者数

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

【入試について】

問	項目	大学(人)		大学(%)		短・保(人)		短・保(%)		短・こ(人)		短・こ(%)	
4	あなたが本学を受験し、入学した方法を選択して下さい	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	総合型選抜Ⅰ期(2024＝9月、2023＝Ⅰ期A日程(9月))	41	52	18.1	20.6		3		20.0	6	5	19.4	13.5
	総合型選抜(2024は10月、2023＝Ⅰ期B日程(10月))	21		9.3	0.0		1		6.7	3	2	9.7	5.4
	学校推薦型選抜(スポーツ)(2024,2023とも11月)	53	72	23.5	28.5		2		13.3	4	8	12.9	21.6
	学校推薦型選抜(指定校:藤村含む)(2024,2023とも11月)	84	95	37.2	37.5		8		53.3	17	19	54.8	51.4
	学校推薦型選抜(公募)(2024,2023とも11月)	3	5	1.3	2.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	総合型選抜Ⅱ期(2024・2023とも12月)	10	16	4.4	6.3		1		6.7	0	2	0.0	5.4
	総合型選抜(2024＝1月,2023＝該当期なし)	9		4.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	一般選抜(2024・2023とも2月)	3	5	1.3	2.0		1		6.7	0	3	0.0	8.1
	共通テスト利用選抜Ⅰ期	0	3	0.0	1.2								
	共通テスト利用選抜Ⅱ期	0	1	0.0	0.4								
	一般選抜Ⅱ期(2月中旬・2023のみ)						0		0.0		0		0.0
	総合型選抜Ⅲ期(2024は3月)	2	4	0.9	1.6		0		0.0	1	0	3.2	0.0
* 入学方法の回答数に対する%													
5	総合型選抜Ⅰ期(9月)で受験した理由を1つお答え下さい	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	学力試験がなく、受験しやすいと思ったため	7	8	7.3	15.4		2		66.7	0	2	0.0	40.0
	面接のみの試験で、自分に適していたため	15	16	15.6	30.8		1		33.3	3	0	42.9	0.0
	保護者や高校の先生などに勧められたため	6	22	6.3	42.3		0		0.0	1	0	14.3	0.0
	学校説明会やオープンキャンパスで、総合型選抜を勧められたため	9	5	9.4	9.6		0		0.0	1	0	14.3	0.0
	その他(未受験者含む)	59	1	61.5	1.9		0		0.0	2	3	28.6	60.0
	計	96	52	100.0	100.0	0	3		100.0	7	5	100.0	100.0
6	総合型選抜(10月)で受験した理由を1つお答え下さい	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	学力試験がなく、受験しやすいと思ったため	5	0	4.3	0.0		2		66.7	0	2	0.0	40.0
	面接のみの試験で、自分に適していたため	6	0	5.1	0.0		1		33.3	3	0	30.0	0.0
	保護者や高校の先生などに勧められたため	6	0	5.1	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	学校説明会やオープンキャンパスで、総合型選抜を勧められたため	3	0	2.6	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	その他(未受験者含む)	97	0	100.0	0.0		0		0.0	7	3	100.0	60.0
	計	117	0	117.1	0.0	0	3		100.0	10	5	130.0	100.0
7	学校推薦型選抜(スポーツ)選抜で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	全国的な大会に出場するなどの競技実績を生かしたいため	21	26	10.4	36.1		1		－	1	2	7.1	25.0
	希望する運動部に確実に入れるため	9	7	4.5	9.7		0		－	1	0	7.1	0.0
	保護者や高校の部活動の先生に勧められたため	13	19	6.5	26.4		1		－	1	3	7.1	37.5
	大学の部活動の先生にスカウトされたため	9	20	4.5	27.8		0		－	1	3	7.1	37.5
	その他	149	0	74.1	0.0		0		－	10	0	71.4	0.0
	計	201	72	100.0	100.0	0	2		0.0	14	8	100.0	100.0
8	学校推薦型選抜(指定校:藤村含む)選抜で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	高校の学習成績の状況が良いことを生かしたいため	42	47	20.6	49.5		3		37.5	6	11	19.4	57.9
	面接のみで合否が決まるため	26	32	12.7	33.7		4		50.0	8	7	25.8	36.8
	本学の指定校推薦の希望者が他にいなかったため	8	11	3.9	11.6		1		12.5	2	0	6.5	0.0
	その他(未受験者含む)	128	5	62.7	5.3		0		0.0	15	1	48.4	5.3
	計	204	95	100.0	100.0	0	8		100.0	31	19	100.0	100.0
9	学校推薦型選抜(公募)で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	高校の学習成績の状況の制限がなく出願できるため	3	5	1.4	100.0		0		－	0	0	0.0	－
	運動競技歴に自信があったため	1	0	0.5	0.0		0		－	1	0	3.2	－
	論文に自信があったため	0	0	0.0	0.0		0		－	0	0	0.0	－
	その他(未受験者含む)	210	0	98.1	0.0		0		－	30	0	96.8	－
	計	214	5	2124.0	2123.0	0	0		－	31	0	100.0	－
10	総合型選抜Ⅱ期(12月)で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	学力試験がなく、受験しやすいと思ったため	1	2	0.5	12.5		0		－	0	0	0.0	－
	面接のみの試験で、自分に適していたため	3	7	1.4	43.8		0		－	0	2	0.0	－
	保護者や高校の先生などに勧められたため	4	3	1.9	18.8		0		－	0	0	0.0	－
	学校説明会やオープンキャンパスで、総合型選抜を勧められたため	0	1	0.0	6.3		0		－	0	0	0.0	－
	その他(未受験者含む)	206	3	96.3	18.8		1		－	31	0	100.0	－
	計	214	16	100.0	100.0	0	1		－	31	2	100.0	－
11	総合型選抜(1月)で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	学力試験がなく、受験しやすいと思ったため	1	0	0.5	0.0		0		－	0	0	0.0	－
	面接のみの試験で、自分に適していたため	0	0	0.0	0.0		0		－	0	2	0.0	－
	保護者や高校の先生などに勧められたため	0	0	0.0	0.0		0		－	0	0	0.0	－
	学校説明会やオープンキャンパスで、総合型選抜を勧められたため	0	0	0.0	0.0		0		－	0	0	0.0	－
	その他(未受験者含む)	213	0	99.5	0.0		1		－	31	0	100.0	－
	計	214	0	100.0	0.0	0	1		－	31	2	100.0	－

2024年度 新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	226	253		15	31	37

* パーセンテージ母数は回答者数

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

12	一般選抜Ⅰ期(2月)で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	本学を第一志望としていたため	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	1	0.0	33.3
	学力(筆記試験)に自信があったため	0	1	0.0	20.0		1		50.0	0	0	0.0	0.0
	スカラシップ(奨学金)を希望していたため	0	1	0.0	20.0		0		0.0	1	0	3.2	0.0
	他大学と併願していたため	0	3	0.0	60.0		0		0.0	0	2	0.0	66.7
	その他(未受験者含む)	3	0	100.0	0.0		1		50.0	30	0	96.8	0.0
	計	3	5	100.0	100.0	0	2		100.0	31	3	100.0	100.0
13	共通テスト利用選抜Ⅰ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	本学を第一志望としていたため	0	0	0.0	0.0								
	他大学入試(国公立含む)のために共通テストを受験していたため	0	2	0.0	66.7								
	個別試験がない(書類出願のみの)ため	0	0	0.0	0.0								
	受験料が安いため	0	0	0.0	0.0								
	スカラシップ(奨学金)を希望していたため	0	1	0.0	33.3								
	その他(未受験者含む)	0	0	0.0	0.0								
	計	0	3	0.0	100.0								
14	共通テスト利用選抜Ⅱ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	本学を第一志望としていたため	0	0	0.0	0.0								
	他大学入試(国公立含む)のために共通テストを受験していたため	0	1	0.0	100.0								
	個別試験がない(書類出願のみの)ため	0	0	0.0	0.0								
	受験料が安いため	0	0	0.0	0.0								
	スカラシップ(奨学金)を希望していたため	0	0	0.0	0.0								
	その他(未受験者含む)	0	0	0.0	0.0								
	計	0	1	0.0	100.0								
問	項目	大学(人)		大学(%)		短・保(人)		短・保(%)		短・こ(人)		短・こ(%)	
	一般選抜Ⅱ期で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	本学を第一志望としていたため		0	－	－		0	－	－		0	－	－
	他大学入試(国公立含む)のために共通テストを受験していたため		0	－	－		0	－	－		0	－	－
	個別試験がない(書類出願のみの)ため		0	－	－		0	－	－		0	－	－
	受験料が安いため		0	－	－		0	－	－		0	－	－
	スカラシップ(奨学金)を希望していたため		0	－	－		0	－	－		0	－	－
	その他(未受験者含む)		0	－	－		0	－	－		0	－	－
	計	0	0	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－
15	総合型選抜Ⅲ期(3月)で受験した理由を1つお答え下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	学力試験がなく、受験しやすいと思ったため	0	1	0.0	25.0		0	－	－	0	0	－	0.0
	面接のみの試験で、自分に適していたため	0	1	0.0	25.0		0	－	－	0	0	－	0.0
	保護者や高校の先生などに勧められたため	0	2	0.0	50.0		0	－	－	0	0	－	0.0
	学校説明会やオープンキャンパスで、総合型選抜を勧められたため	0	0	0.0	0.0		0	－	－	0	0	－	0.0
	その他(未受験者含む)	0	0	0.0	0.0		0	－	－	0	0	－	0.0
	計	0	4	0.0	100.0	0	0	－	－	0	0	－	0.0
	Web面接を受けた方に伺います。Web面接の印象をお答え下さい。(2	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	取り組みやすかった		159		65.2		5		35.7		19		55.9
	やや取り組みやすかった		61		25.0		8		57.1		12		35.3
	どちらともいえない		18		7.4		1		7.1		2		5.9
	やや取り組みにくかった		5		2.0		0		0.0		1		2.9
	取り組みにくかった		1		0.4		0		0.0		0		0.0
	計	0	244		100.0	0	14		100.0	0	34		100.0
16	入学前に本学の3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)をHPまたは、大学案内等で読んだことがありますか。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	ある	190	217	84.1	85.8		9		60.0	26	33	83.9	89.2
	ない	36	36	15.9	14.2		6		40.0	5	4	16.1	10.8
17	あなたは、どの能力を持って受験したと思いますか。(複数回答あり)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
大 学	高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識力	44	47	19.5	18.6								
	体育・スポーツに関して、修学に必要な実技能力	150	155	66.4	61.3								
	物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察する力	20	20	8.8	7.9								
	自分の考えをまとめて的確に表現する力	38	36	16.8	14.2								
	体育・スポーツに関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に貢献する力	102	113	45.1	44.7								
	多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする力	62	70	27.4	27.7								
保 体	高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識力						2		13.3				
	保健体育に関して、修学に必要な実技能力						7		46.7				
	物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察する力						1		6.7				
	自分の考えをまとめて的確に表現する力						2		13.3				
	保健体育およびスポーツに関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に貢献する力						8		53.3				
	多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする力						4		26.7				
児 教	高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識力									5	7	16.1	21.6
	音楽、図画工作、体育に関して、修学に必要な実技能力									11	12	35.5	29.7
	物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察する力									2	4	6.5	5.4
	自分の考えをまとめて的確に表現する力									3	6	9.7	18.9
	“スポーツを愛し、子どもを愛せる人”で、保育・幼児教育および児童教育に関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に貢献する力									26	33	83.9	73.0
	多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする力									4	12	12.9	21.6

2024年度 新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	226	253		15	31	37

* パーセンテージ母数は回答者数

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

【オープンキャンパスについて】

問	項目	大学(人)		大学(%)		短・保(人)		短・保(%)		短・こ(人)		短・こ(%)	
18	あなたは本学を受験にあたり、本学のオープンキャンパスに参加しましたか。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	1年の時に参加	5	4	2.2	3.1		0		0.0	2	1	6.5	2.7
	2年の時に参加	31	17	13.7	13.9		2		24.0	7	3	22.6	8.1
	3年の時に参加	155	155	68.6	51.4		8		52.0	27	27	87.1	73.0
	参加していない	60	77	26.5	31.6		5		24.0	2	6	6.5	16.2
* 回答者数に対する%													
19	参加したオープンキャンパスはいつですか。複数回参加した人は、全て教えてください。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	3月	68		25.5						2		4.9	
	4月(ミニ)	5		1.9						1		2.4	
	5月(ミニ)	2		0.7						4		9.8	
	6月	19		7.1						4		9.8	
	7月	42		15.7						5		12.2	
	8月	90		33.7						14		34.1	
	9月(ミニ)	12		4.5						3		7.3	
	10月(ミニ)	7		2.6						3		7.3	
	11月(ミニ)	13		4.9						3		7.3	
	12月(ミニ)	4		1.5						1		2.4	
	2月	5		1.9						1		2.4	
	計	267	0	100.0						41		100.0	
	いつ開催されたオープンキャンパスに参加しましたか。複数回参加した人は、一番印象に残っている回を選んで下さい。(2024設問なし)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	3月13日(日)		7		4.0		1		10.0		0		0.0
	5月29日(日)		9		5.1		0		0.0		2		6.5
	6月19日(日)		15		8.5		0		0.0		2		6.5
	7月17日(日)		33		18.8		0		0.0		5		16.1
	8月03日(水)		40		22.7		3		30.0		9		29.0
	8月28日(日)		44		25.0		6		60.0		7		22.6
	9月11日(日)		28		15.9		0		0.0		5		16.1
	その他		0		0.0		0		0.0		1		3.2
	計		176		100.0		10		100.0		31		100.0
20	オープンキャンパスに参加した回数を教えてください。(2023設問なし)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	1回	177		78.3						20		64.5	
	2回	38		16.8						10		32.3	
	3回以上	11		4.9						1		3.2	
	計	226		100.0		0				31		100.0	
21	オープンキャンパスの情報はどこから知りましたか。1つ選んで下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	本学のホームページ	115	126	50.9	71.6		6		60.0	15	26	48.4	83.9
	資料請求	17	14	7.5	8.0		2		20.0	5	1	16.1	3.2
	高校の先生	25	14	11.1	8.0		0		0.0	5	2	16.1	6.5
	先輩	7	2	3.1	1.1		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	友人	6	5	2.7	2.8		0		0.0	1	0	3.2	0.0
	進学情報サイト	1	1	0.4	0.6		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	クラブ活動	12	1	5.3	0.6		1		10.0	2	0	6.5	0.0
	保護者	4	4	1.8	2.3		0		0.0	2	2	6.5	6.5
	進学雑誌	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	大学関係者	4	3	1.8	1.7		0		0.0	1	0	3.2	0.0
	進学説明会	4	1	1.8	0.6		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	新聞	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	公式LINE	1	4	0.4	2.3		1		10.0	0	0	0.0	0.0
	公式Instagram	6	0	2.7	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	公式Twitter	0	1	0.0	0.6		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	その他(未受験者含む)	24	0	10.6	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	計	226	176	100.0	100.0	0	10		100.0	31	31	100.0	100.0
	オープンキャンパスに参加したことで、本学に進学したくなりましたか。(2024設問なし)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	進学しなくなった		133	0.0	75.6		6		60.0		24		77.4
	やや進学しなくなった		32	0.0	18.2		4		40.0		5		16.1
	どちらともいえない		9	0.0	5.1		0		0.0		1		3.2
	やや進学しなくなった		0	0.0	0.0		0		0.0		1		3.2
	進学しなくなった		2	0.0	1.1		0		0.0		0		0.0
	計	0	176	0.0	100.0	0	10		100.0	0	31		100.0
22	本学のオープンキャンパスに参加して、感じたことを1つ選んで下さい。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	全体会の入試方法の説明が理解しやすかった	52	15	23.0	8.5		0		0.0	2	2	6.5	6.5
	入試の個別相談が良かった	16	14	7.1	8.0		1		10.0	3	2	9.7	6.5
	教員や学生が親切だった	43	44	19.0	25.0		1		10.0	6	12	19.4	38.7
	入試以外の個別相談が良かった	1	1	0.4	0.6		0		0.0	0	1	0.0	3.2
	学内の施設見学が良かった	19	22	8.4	12.5		2		20.0	6	3	19.4	9.7
	部活動の体験や見学が良かった	22	25	9.7	14.2		1		10.0	5	4	16.1	12.9
	キャンパスグッズ(Tシャツ・トートバッグ・ペンなど)がもらえて良かった	11	6	4.9	3.4		2		20.0	0	0	0.0	0.0
	本学運動部の実演(新体操・ダンス等)が良かった	4	9	1.8	5.1		1		10.0	0	2	0.0	6.5
	明るい学校だと思った	47	40	20.8	22.7		2		20.0	9	5	29.0	16.1
	その他(未受験者含む)	11	0	4.9	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	計	226	176	100.0	100.0	0	10		100.0	31	31	100.0	100.0

2024年度 新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	226	253		15	31	37

* パーセンテージ母数は回答者数

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

23記述回答・後述

【HP・情報収集方法について】

問	項目	大学(人)		大学(%)		短・保(人)		短・保(%)		短・こ(人)		短・こ(%)	
24	入学前、本学のホームページ(以下HP)を初めて見たのはいつですか。	2024	2023	2024	799.6	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	中学生のころ	9	3	4.0	1.2		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	高校1年生のころ	27	20	11.9	7.9		0		0.0	1	3	3.2	8.1
	高校2年生のころ	50	58	22.1	22.9		4		16.7	10	10	32.3	27.0
	高校3年生のころ	112	140	49.6	55.3		9		75.0	16	21	51.6	56.8
	おぼえていない	23	28	10.2	11.1		2		8.3	3	2	9.7	5.4
	見たことがなかった	5	4	2.2	1.6		0		0.0	1	1	3.2	2.7
	HPと入学後のイメージに違いがありましたか。(問23で「見たことがなかった」以外を回答した学生のみ)(2024設問なし)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	かなりある		9		3.6		0		0.0		0		0.0
	ややある		25		10.0		1		6.7		8		22.2
	どちらともいえない		84		33.7		5		33.3		7		19.4
	ややない		55		22.1		6		40.0		6		16.7
	ない		76		30.5		3		20.0		15		41.7
	計	0	249		100.0	0	15		100.0		36		100.0
25	HPで自分の興味のある情報をわかりやすく調べることができましたか。(問23で「見たことがなかった」以外を回答した学生のみ)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	はい	217	236	98.2	94.8		14		93.3	29	32	96.7	88.9
	いいえ	4	13	1.8	5.2		1		6.7	1	4	3.3	11.1
	計	221	249	100.0	100.0	0	15		100.0	30	36	100.0	100.0
※ 問26, 27について、大学については回答方法に不備があり回答できず													
26	問25で「はい」と答えた方にお聞きます。 あなたの知りたかった情報は何ですか。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	学部・学科	0	42		40.4		2		14.3	6	17	20.7	53.1
	クラブ紹介	0	22		21.2		7		50.0	11	4	37.9	12.5
	交通・アクセス	0	0		0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	入試・入学	0	11		10.6		0		0.0	6	4	20.7	12.5
	オープンキャンパス・説明会	0	8		7.7		1		7.1	2	3	6.9	9.4
	就職	0	1		1.0		2		14.3	0	0	0.0	0.0
	資格	0	9		8.7		1		7.1	4	3	13.8	9.4
	ふじ寮	0	10		9.6		1		7.1	0	1	0.0	3.1
	その他(未受験者含む)	0	1		1.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	(※質問項目不備あり。回答者は104名のみ)												
	計	0	104		100.0	0	14		100.0	29	32	100.0	100.0
27	問25で「いいえ」と答えた方にお聞きます。 あなたの知りたかった情報は何ですか。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	学部・学科	1	1	25.0	7.7		0		0.0	0	1	0.0	25.0
	クラブ紹介	1	3	25.0	23.1		1		100.0	0	1	0.0	25.0
	交通・アクセス	0	1	0.0	7.7		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	入試・入学	0	3	0.0	23.1		0		0.0	1	0	100.0	0.0
	オープンキャンパス・説明会	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	就職	0	1	0.0	7.7		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	資格	0	2	0.0	15.4		0		0.0	0	1	0.0	25.0
	ふじ寮	2	2	50.0	15.4		0		0.0	0	1	0.0	25.0
	その他(未受験者含む)	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	計	4	13	100.0	100.0	0	1		100.0	1	4	100.0	100.0
28	大学等の情報を集める際に、何を使用しますか。(複数回答あり)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	ホームページ	197	221	87.2	87.4		8		8.0	23	28	74.2	75.7
	LINE	7	21	3.1	8.3		2		2.0	3	2	9.7	5.4
	Instagram	103	89	45.6	35.2		6		6.0	13	15	41.9	40.5
	Twitter	13	19	5.8	7.5		0		0.0	2	4	6.5	10.8
	Facebook	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	TikTok	12	6	5.3	2.4		1		1.0	1	1	3.2	2.7
	その他(未受験者含む)	4	1	1.8	0.4		0		0.0	0	1	0.0	2.7
	回答無し(※質問項目不備により)	0	17	0.0	6.7		0		0.0	0	0	0.0	0.0
29	大学等の情報を集める際に、一番使用するものは何ですか。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	ホームページ	175	209	77.4	77.4		10		66.7	24	28	77.4	75.7
	LINE	3	2	1.3	1.3		0		0.0	1	0	3.2	0.0
	Instagram	42	21	18.6	18.6		4		26.7	6	2	19.4	5.4
	Twitter	1	1	0.4	0.4		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	Facebook	0	0	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0
	TikTok	2	1	0.9	0.9		1		6.7	0	0	0.0	0.0
	その他(未受験者含む)	3	2	1.3	1.3		0		0.0	0	1	0.0	2.7
	回答無し(※質問項目不備により)	0	17	0.0	0.0		0		0.0	0	0	0.0	0.0

2024年度 新入生アンケートについて

回答者数	大学(人)		短・保(人)		短・こ(人)	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	226	253		15	31	37

* パーセンテージ母数は回答者数

※重複回答者2人 ※重複回答者1人

【入学後について】

問	項目	大学(人)		大学(%)		短・保(人)		短・保(%)		短・こ(人)		短・こ(%)	
30	入学後、本学で何を学びたいと思いますか。(複数回答あり)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	授業を通して得る専門知識	115	159	50.9	62.8		4		26.7	16	25	51.6	67.6
	クラブ活動等を通して得る専門知識	92	140	40.7	55.3		6		40.0	8	8	25.8	21.6
	授業を通して得る専門技術	98	120	43.4	47.4		2		13.3	8	16	25.8	43.2
	資格を取得する専門知識	110	100	48.7	39.5		4		26.7	11	28	35.5	75.7
	コミュニケーション能力	80	80	35.4	31.6		6		40.0	11	21	35.5	56.8
	先生、先輩、後輩といった世代を超えた人間関係	30	60	13.3	23.7		3		20.0	3	7	9.7	18.9
	クラブ活動での実績等	42	40	18.6	15.8		3		20.0	2	9	6.5	24.3
	その他(未受験者含む)	0	20	0.0	7.9		0		0.0	0	0	0.0	0.0
31	本学で取得したい資格は何ですか。(複数回答あり)	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	高等学校教諭一種免許状	181	201	80.1	79.4								
	中学校教諭一種免許状	128	145	56.6	57.3								
	中学校教諭二種免許状						8		53.3				
	小学校教諭二種免許状	26	39	11.5	15.4					4	4	12.9	10.8
	幼稚園教諭二種免許状	4	8	1.8	3.2					21	30	67.7	81.1
	スポーツ指導基礎資格(コーチングアシスタント)	52	82	23.0	32.4		5		33.3	4	9	12.9	24.3
	フィットネス資格(スポーツプログラマー)	23	27	10.2	10.7		3		20.0	0	2	0.0	5.4
	フィットネス資格(ジュニアスポーツ指導員)	24	26	10.6	10.3		4		26.7	8	11	25.8	29.7
	健康運動実践指導者	35	19	15.5	7.5		6		40.0	0	1	0.0	2.7
	健康運動指導士	38	33	16.8	13.0					0	1	0.0	2.7
	障がい者スポーツ指導員(初級)	8	13	3.5	5.1		0		0.0	0	1	0.0	2.7
	初級パラスポーツ指導員	0	0	0.0	0.0		0		0.0	3	1	9.7	2.7
	保育士資格									25	32	80.6	86.5
32	卒業後の希望の進路を教えてください。	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
	学校教育	108	123	47.8	52.6								
	学校教育(小学校)									1	1	3.2	2.7
	保育所(園)	1	2	0.4	0.3					11	13	35.5	35.1
	体育関連(体育施設、体育指導、選手等)	31	40	13.7	13.9		8		52.0	0	0	0.0	0.0
	一般企業	7	9	3.1	6.5		2		8.0	1	2	3.2	5.4
	医療機関、福祉施設、児童福祉関連	3	2	1.3	1.5					0	0	0.0	0.0
	官公庁(警察、消防等含む)	7	15	3.1	3.7		1		8.0	0	0	0.0	0.0
	進学	4	1	1.8	0.6		0		0.0	1	0	3.2	0.0
	大学へ編入						0		8.0	2	5	6.5	13.5
	まだ考えていない	60	61	26.5	18.9		4		20.0	6	7	19.4	18.9
	幼稚園、認定こども園									8	9	25.8	24.3
	その他(未受験者含む)	5	0	2.2	1.9		0		4.0	1	0	3.2	0.0

問23(こス問21) オープンキャンパスで、もっと知りたかった内容があれば教えて下さい。

◇大学

費用など(学費?)
部活動のこと
実際入学した際のスケジュールなどをもっと詳しく知りたかった例として何件か欲しい。
部活についてもっと詳しく知りたかった
キャンパスツアーの時間が短かったため、もう少しゆっくり見てみたかったです。
髪型は自由かどんな授業を行っているのか大学院はあるのか
オープンキャンパスの日をもう少し増やしてほしい
資格
授業について、休みについて
寮、見学したかった。
寮についてもっと知りたかったです。
部活動の詳しい情報とか、教員免許、試験のこと
とった方がいい科目
特にありません。知りたいことは全て知ることが出来ました。
部活動とオープンキャンパスの施設見学の時間などご被って部活見学ができなかったこと。
実際の授業の様子
クラブをもっと見たかった活動してるところを

◇こス

部活のオフの量
就職率や辞職率
剣道部活について
学生さんがとても親切でした。

33 あなたにとって、東京女子体育大学・東京女子短期大学の魅力は何ですか。(別シートに詳細)

主な回答	大学 (人)	短・保 (人)	短・こ (人)
大学の雰囲気(明るい・元気・楽しそう)	44		9
大学の雰囲気(人間関係が良い)	19		1
大学の雰囲気	6		
クラブ・スポーツ・部活関係	39		10
施設・環境が良い	36		
カリキュラム・教員・専門知識関係	46		6
免許・資格関係	32		5
就職率の高さ	4		
その他	17		3
計	243	0	34

以上

6) スターターズプログラム実施結果

令和 6 年度スターターズプログラムテスト実施報告

1) 実施概要

①目的

基礎学力を計測し、アドミッションポリシーの点検・評価および今後の学習支援に活用すること。

②対象 / 実施日程

大学 1 年生・短大 1 年生 / 4 月フレッシュウィーク期間

④実施内容

- ・office365「Forms」により実施
- ・試験科目（3 科目）
国語（20 問：各 2 点）/数学（5 問：各 4 点）/英語（10 問：各 4 点）
問題数/35 問：合計 100 点
- ・受験方法：スマートフォン 試験時間/60 分、解答は選択方式

⑤フィードバック方法

- ・回答終了と同時に回答結果オープン ➡ 後日別途成績を配付予定

⑥アセスメントの実施

成績データの分析・検証を実施し、全学へフィードバックする。

- ➡入試部：アドミッションポリシーとの整合性や入試制度の適切性を点検・評価。
- ➡関係部署/グループ担任：支援が必要な学生の早期発見・対応。

★FD 委員会にて分析検証を進め、未受験者・取り組みの悪い学生に対し個人面談等のフォローアップを実施する。

2) 実施結果

①実施状況

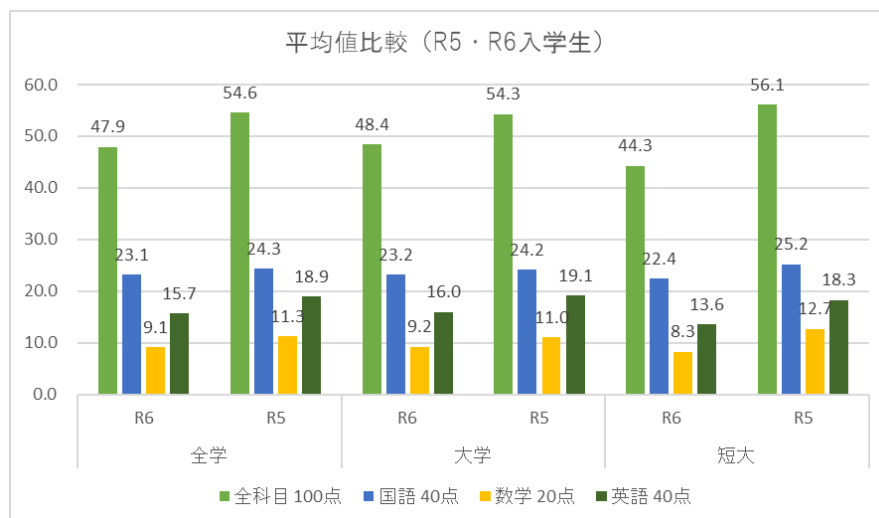
	大学	短大
学生数	232	31
受験者数	229	30
受験率	98.7%	96.8%

②平均点・標準偏差

		全学		大学		短大	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
全科目	100点	47.9	15.8	48.4	16.2	44.3	11.6
国語	40点	23.1	7.8	23.2	7.8	22.4	7.3
数学	20点	9.1	4.9	9.2	4.8	8.3	5.7
英語	40点	15.7	8.9	16.0	9.2	13.6	6.4

③前年度平均点比較

前年度 平均値比較		全学		大学		短大	
		R6	R5	R6	R5	R6	R5
全科目	100点	47.9	54.6	48.4	54.3	44.3	56.1
国語	40点	23.1	24.3	23.2	24.2	22.4	25.2
数学	20点	9.1	11.3	9.2	11.0	8.3	12.7
英語	40点	15.7	18.9	16.0	19.1	13.6	18.3



④成績上位下位者一覧

■成績上位者（総合成績 100 点中 80 点以上）

No.	順位	学籍番号	氏名	国語	数学	英語	総合計	入試区分	出身校	備考
				40点	20点	40点	100点			
1	1			40	20	40	100	総合型9月スポーツアスリート	吉原	
2	1			40	20	40	100	スポーツ	鳥取西	スポ奨C
3	3			38	20	36	94	指定校	小諸	
4	4			40	12	40	92	総合型10月スポーツアスリート	駒場学園	スポ奨A
5	4			40	12	40	92	指定校	新座柳瀬	
6	6			38	16	36	90	指定校	富士宮西	
7	7			32	20	36	88	総合型9月一般	昭和	スカラシップ
8	7			40	16	32	88	スポーツ	済美	スポ奨A
9	7			40	8	40	88	指定校	厚木北	
10	10			36	12	36	84	指定校	目黒日本大学	
11	10			40	4	40	84	総合型選抜1月一般	札幌聖心女子学院	
12	10			40	16	28	84	スポーツ	秋田北	スポ奨C
13	10			40	4	40	84	指定校	不二女子	
14	14			30	20	32	82	スポーツ	宮古	スポ奨C
15	14			38	12	32	82	総合型9月スポーツアスリート	沼津市立沼津	
16	16			36	20	24	80	指定校	大宮東	

■成績下位者（総合成績 100 点中 30 点未満）

No.	学籍番号	氏名	国語	数学	英語	総合計	入試区分	出身校	備考
			40点	20点	40点	100点			
1			10	0	4	14			
2			6	4	12	22			
3			14	8	0	22			
4			10	4	8	22			
5			10	0	12	22			
6			14	0	8	22			
7			10	4	8	22			
8			20	4	0	24			
9			20	0	4	24			
10			12	8	4	24			
11			10	0	16	26			
12			14	8	4	26			
13			10	4	12	26			
14			14	12	0	26			
15			14	8	4	26			
16			-	-	-	未受験			
17			-	-	-	未受験			
18			-	-	-	未受験			
19			-	-	-	未受験			

3) フィードバック

①学生：「スターターズプログラム成績表」配付

②グループ担任：担当学生の成績情報を共有

③関係部署：実施結果、成績上位・下位学生の情報共有

スターターズプログラム成績表

学籍番号 《学籍番号》

氏名 《氏名》

入学おめでとうございます。スターターズプログラムは、これからの大学生活をより良くしていくためのものです。まずは、自分の位置を確認し、これからの学びに向けて準備を進めていきましょう。

	国語	数学	英語	合計
平均点	23 点	11 点	17 点	51 点
満点	40 点	20 点	40 点	100 点
あなたの点数	《国語》点	《数学》点	《英語》点	《合計》点
偏差値	《偏差値（国語）》	《偏差値（数学）》	《偏差値（英語）》	《偏差値（全体）》

成績目安

	よくできています。 このまま頑張りましょう。	あと一歩です。高校での 学びをもう一度見直して みましょう。	今後の大学での学びのため にも、基礎的な学力を身に着 けるために、頑張りましょう。
偏差値	60 以上	50 以上	50 未満

担当：1 号館 3 階 企画調査室 kikaku@twcpe.ac.jp

令和6年度スターターズプログラムテスト

スターターズプログラムは、みなさんが大学での学びに必要な学力の意識づけと入学後の学習につなげることを目的としています。入学前に取り組んだスターターズプログラムの復習として、国語、数学、英語の問題を解答してみましょう。

※このテストはみなさんの基礎学力を計測し今後の学習指導に活用します。個人の成績、単位修得に関係はありません。

* 必須

...

1

学籍番号を入力してください。*

2

氏名を入力してください。*

国語

次の各問に対する答えとして最も適切なものを後のア～エの中から一つ選びご回答ください。

3

次の文の傍線部の格助詞はどのような意味ですか。
「これよりほかに道はない。」* (2点)

- ☐ ア 時間の起点
- ☐ イ 場所の起点
- ☐ ウ 比較の基準
- ☐ エ 限定

4

次の文の傍線部の接続助詞はどのような意味ですか。
「雨は降っているが、試合は続行しよう。」* (2点)

- ☐ ア 確定条件
- ☐ イ 仮定条件
- ☐ ウ 対等の関係
- ☐ エ 逆説条件

5

次の文の傍線部の接続助詞はどのような意味ですか。
「頑張っても勝てないだろう。」* (2点)

- ☐ ア 確定の逆説
- ☐ イ 仮定の逆説
- ☐ ウ 例示
- ☐ エ 類推

6

次の中で謙譲を表す接頭語にならないものはどれですか。* (2点)

- ☐ ア 御
- ☐ イ 拙
- ☐ ウ 粗
- ☐ エ 弊

7

次の文の傍線部の助動詞はどのような意味ですか。
「壁に掛けたポスターを見る。」* (2点)

- ☐ ア 過去
- ☐ イ 完了
- ☐ ウ 存続
- ☐ エ 想起

8

次の文中の傍線部の品詞は何ですか。
「大きな犬が走っている。」* (2点)

- ☐ ア 形容動詞
- ☐ イ 形容詞
- ☐ ウ 連体詞
- ☐ エ 副詞

9

次の文中の傍線部の助動詞の活用形は何ですか。
「白魚のような美しい指だ。」* (2点)

- ☐ ア 未然形
- ☐ イ 連用形
- ☐ ウ 連体形
- ☐ エ 仮定形

10

次の文の傍線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直す場合、それぞれ適切なものはどれですか。
(1) 病気がやっと治癒する。* (2点)

- ☐ ア ちりょう
- ☐ イ ちゆ
- ☐ ウ ちせつ
- ☐ エ ちしゆく

11

次の文の傍線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直す場合、それぞれ適切なものはどれですか。
(2) 戦没者の霊をシズめる。* (2点)

- ☐ ア 鎮
- ☐ イ 清
- ☐ ウ 奉
- ☐ エ 魂

12

次の文の傍線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直す場合、それぞれ適切なものはどれですか。

(3) 前言をヒルガ工して賛成に回る。* (2点)

- ☐ ア 遙
- ☐ イ 領
- ☐ ウ 翔
- ☐ エ 翻

13

次の文の傍線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直す場合、それぞれ適切なものはどれですか。

(4) 道路が込み、車が滞る。* (2点)

- ☐ ア つま
- ☐ イ とどこお
- ☐ ウ さえぎ
- ☐ エ とま

14

次の★の中に漢字一字を入れて四字熟語を作るとして、適切なものをそれぞれ選びなさい。

(1)「山★水明」* (2点)

- ☐ ア 碧
- ☐ イ 蒼
- ☐ ウ 紅
- ☐ エ 紫

15

次の★の中に漢字一字を入れて四字熟語を作るとして、適切なものをそれぞれ選びなさい。

(2)「★天動地」* (2点)

- ☐ ア 恐
- ☐ イ 驚
- ☐ ウ 抜
- ☐ エ 急

16

次の語は故事成語ですが、意味として適切なものをそれぞれ選びなさい。

(1)「愁眉を開く」* (2点)

- ☐ ア 今まで不明だったことが少し分かること。
- ☐ イ 利欲に迷って道理が分からなくなること。
- ☐ ウ 心配がなくなって安心すること。
- ☐ エ 一見弱そうだが実は強い人だと分かること。

17

次の語は故事成語ですが、意味として適切なものをそれぞれ選びなさい。
(2)「尾を塗中に曳く」* (2 点)

- ☐ ア どんなに困窮していても決して悪事を働かないということ。
- ☐ イ 互いに心を打ち明けて親しく交わるようになること。
- ☐ ウ 優れた人につけば、愚者でも力量以上に立派になること。
- ☐ エ 高い地位にいて束縛されるより、貧しくても自由な生活がよいということ。

18

手紙を書くとき頭語に使わない語は次のうちのどれですか。* (2 点)

- ☐ ア 謹啓
- ☐ イ 拝復
- ☐ ウ 前略
- ☐ エ 草々

19

「陶」の字は、六書では次のどれになりますか。* (2 点)

- ☐ ア 象形文字
- ☐ イ 指事文字
- ☐ ウ 形声文字
- ☐ エ 会意文字

20

次の文の中で、間違った仮名遣いが含まれているのは次のうちのどれですか。* (2 点)

- ☐ ア 新校舎は完成まじかだ。
- ☐ イ こぢんまりとした部屋に通す。
- ☐ ウ 一人ずつ相談させていただく。
- ☐ エ しおりに書いてあるとおりだ。

21

次の熟語で湯桶読みをするのはどれですか。* (2 点)

- ☐ ア 荷物
- ☐ イ 青春
- ☐ ウ 番組
- ☐ エ 青色

次の中から和語を選びなさい。* (2 点)

- ☐ ア 愛 (あい)
- ☐ イ 肉 (にく)
- ☐ ウ 本 (ほん)
- ☐ エ 心 (こころ)

数学

次の各問に対する答えとして最も適切なものを後のア～エの中から一つ選びご回答ください。

23

* (4点)

(1) $3 - 4^2 \div 2$ を計算しなさい。

ア -7.5 、 イ -5 、 ウ -1 、 エ $\frac{1}{2}$

☐ ア

☐ イ

☐ ウ

☐ エ

24

* (4点)

(2) $(2\sqrt{3} + \sqrt{5})(2\sqrt{3} - \sqrt{5})$ を計算しなさい。

ア $17 + 4\sqrt{15}$ 、 イ $2\sqrt{2}$ 、 ウ -16 、 エ 7

☐ ア

☐ イ

☐ ウ

☐ エ

25

* (4点)

(3) x の2次不等式 $x^2 - 6x + 5 < 0$ を解きなさい。

ア $x < 1, 5 < x$ 、 イ $5 < x < 6$ 、 ウ $1 < x < 5$ エ $x < 5, 6 < x$

☐ ア

☐ イ

☐ ウ

☐ エ

26

* (4点)

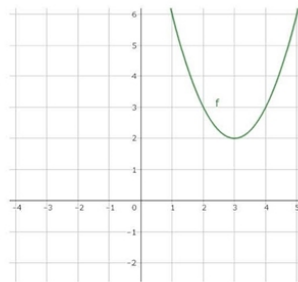
(4) 次のグラフが示す方程式は次のうちどれか。

ア $y = (x + 3)^2 + 2$

イ $y = (x - 3)^2 + 2$

ウ $y = x^2 + 3x + 2$

エ $y = x^2 - 6x + 5$


☐ ア

☐ イ

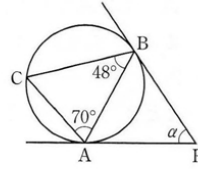
☐ ウ

☐ エ

* (4 点)

(5) 次の図において、直線 PA, PB は $\triangle ABC$ の外接円の接線である。角 α の大きさを求めよ。

ア 48° 、イ 70°
 ウ 62° 、エ 56°



- ☐ ア
- ☐ イ
- ☐ ウ
- ☐ エ

英語

オリンピック・パラリンピックについてのクイズです。正しい答えを一つずつ選んでみましょう。（参考： *The Japan Times*, July 22, 2021; *the japan times alpha*, January 31, 2020）

28

What year did the modern Olympics start? * (4 点)

- ☐ 1868
- ☐ 1886
- ☐ 1892
- ☐ 1896

29

The first modern Olympic Games took place in Athens, Greece, but Japan did not compete. When and where did Japan first participate in the Olympics? * (4 点)

- ☐ The 1900 Summer Games in Paris
- ☐ The 1908 Summer Games in London
- ☐ The 1912 Summer Games in Stockholm
- ☐ The 1920 Summer Games in Antwerp

30

Female athletes first took part in the 1900 Games in Paris. In which Olympic Games did Japanese female athletes first compete? * (4 点)

- ☐ The 1912 Summer Games in Stockholm
- ☐ The 1920 Summer Games in Antwerp
- ☐ The 1928 Summer Games in Amsterdam
- ☐ The 1936 Summer Games in Berlin

31

Japan's first Olympic gold came in 1928 when Mikio Oda won the men's triple jump. When and where did Japan see its first women's gold medal? * (4 点)

- ☐ The 1988 Winter Games in Calgary
- ☐ The 1992 Summer Games in Barcelona
- ☐ The 1996 Summer Games in Atlanta
- ☐ The 2000 Summer Games in Sydney

32

Which Greek goddess has traditionally appeared on Summer Olympic medals in the modern age? * (4 点)

- ☐ Artemis
- ☐ Achilles
- ☐ Iris
- ☐ Nike

33

What does the Olympic motto "Citius, altius, fortius" mean? * (4 点)

- ☐ Faster, higher, stronger
- ☐ Quicker, heavier, taller
- ☐ Faster, longer, deeper
- ☐ Quicker, higher, superior

34

Paralympics is said to have originated in which sports competition? * (4 点)

- ☐ Tennis
- ☐ Table tennis
- ☐ Swimming
- ☐ Archery

35

Which Olympic/ Paralympic sport doesn't divide men and women into separate categories? * (4 点)

- ☐ Equestrian
- ☐ Archery
- ☐ Shooting
- ☐ Surfing

36

What is the major way that Paralympic tennis differs from the Olympic version? * (4 点)

- ☐ The size of the court is smaller.
- ☐ The size of the ball is larger.
- ☐ The ball can bounce twice before being hit back.
- ☐ The height of the net is lower.

37

Which group of athletes always marches first at the opening ceremonies? * (4 点)

- ☐ Greece
- ☐ The host country
- ☐ Refugee athletes
- ☐ Younger athletes

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

2024 TWCPE

スターターズ プログラム テスト

結果発表!

本件担当:1号館3階
企画調査室



成績上位者

総合成績上位者 ランキング

1 位 100点！

241102番 秋山 ■さん

241608番 村上 ■さん

3 位

241125番 上野 ■さん

4 位

241126番 宇賀 ■さん

241326番 鈴木 ■さん

6 位

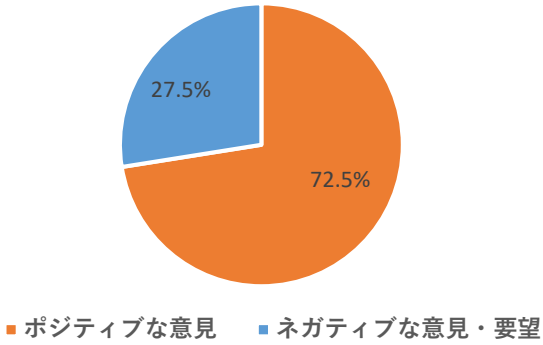
241325番 鈴木 ■さん

7) 授業評価アンケート

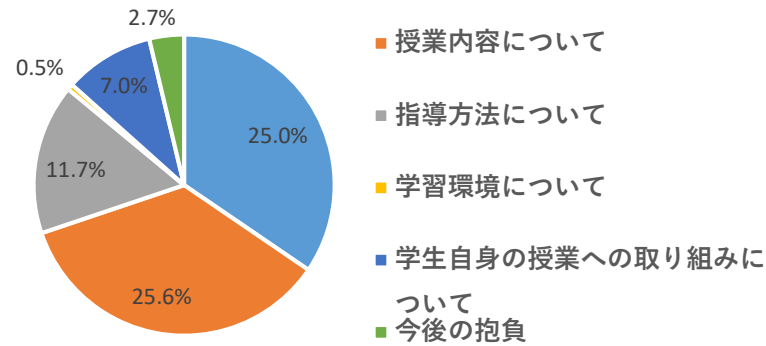
令和5年度授業評価実施状況

項目	回答率			
	前期	後期	R5	R4 (前年度)
体育学科	55.8%	49.1%	52.5%	60.5%
保健体育学科	58.9%	62.1%	60.4%	66.3%
こどもスポーツ教育学科	70.3%	66.2%	68.5%	69.8%
計	57.4%	51.0%	54.3%	61.5%

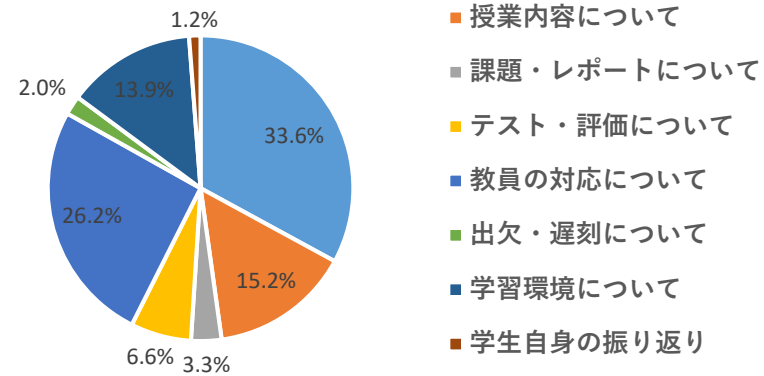
令和5年度 後期授業評価アンケート
設問15 自由記述



ポジティブな意見



ネガティブな意見・要望



令和5年度前期 ベストティーチャー（参考）

講義系科目

履修規模 100名以上

回答率 70%以上

学科名	授業科目名	教員コード	担当教員名	開講時期	クラス名	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	教職論	11076	出張 吉訓	前期	ab・cd・ef	1	266	213	80.1%	3.84

履修規模 25名～49名

回答率 70%以上

学科名	授業科目名	教員コード	担当教員名	開講時期	クラス名	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
こどもスポーツ	保育原理	11093	堀内 亮輔	前期		1	30	29	96.7%	3.90
こどもスポーツ	子どもと表現	11056	渡邊 洋	前期	A・BC	1	40	36	90.0%	3.90

履修規模 10名～24名

回答率 70%以上

学科名	授業科目名	教員コード	担当教員名	開講時期	クラス名	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
こどもスポーツ	体育科教育法Ⅱ	11098	豊岡 弘敏	前期		2	24	20	83.3%	3.91

実技系科目

履修規模 100名以上

回答率 50%以上

学科名	授業科目名	教員コード	担当教員名	開講時期	クラス名	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	陸上競技Ⅰa	11074	丸尾 祐矢	前期	(a・b・cクラス)	1	134	75	56.0%	3.93

履修規模 50名～99名

回答率 50%以上

学科名	授業科目名	教員コード	担当教員名	開講時期	クラス名	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	球技（バレーボール）	11004	今丸 好一郎	前期	b・c	1	90	84	93.3%	3.91

履修規模 25名～49名

回答率 50%以上

学科名	授業科目名	教員コード	担当教員名	開講時期	クラス名	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
体育学科	健康体力づくり指導方法及び実習Ⅰ	11009	小野田 桂子	前期	A・B	4	30	15	50.0%	3.89

履修規模 10名～24名

回答率 50%以上

学科名	授業科目名	教員コード	担当教員名	開講時期	クラス名	学年	履修者数	回答者数	回答率	平均
保健体育学科	陸上競技a	11025	佐々木 大志	前期		1	18	10	55.6%	3.97

令和5年度後期 授業評価アンケート集計結果

講義系

履修者10人以上 回答率70%以上

教員コード	学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	履修者数	回答者数	回答率	問4	問5	問6	問7	問8	問9	平均
11102	保健体育学科	5810000	生徒指導論（含進路指導）	小西 悦子	11	11	100	4.00	4.00	4.00	4.00	3.91	4.00	3.98
15113	こどもスポーツ教育学科	7306000	家庭	横山 弘美	16	15	94	4.00	3.93	4.00	3.93	4.00	4.00	3.98
15095	こどもスポーツ教育学科	7823501	保育内容（言葉）指導法	渡邊 郁美	16	13	81	3.85	3.92	4.00	4.00	4.00	4.00	3.96
11086	こどもスポーツ教育学科	7804000	教育課程論	吉村 潔	57	50	88	3.94	3.82	3.92	3.90	3.92	3.92	3.90
11086	こどもスポーツ教育学科	7806100	社会科教育法Ⅰ	吉村 潔	38	30	79	3.93	3.80	3.87	3.87	3.93	3.93	3.89
11045	こどもスポーツ教育学科	7308201	音楽BⅡ	三好 優美子	15	13	87	3.77	3.77	3.92	3.92	3.92	3.92	3.87
15096	こどもスポーツ教育学科	7807100	算数科教育法Ⅰ	林 誠之介	26	21	81	3.81	3.81	3.90	3.90	3.86	3.71	3.83
11033	保健体育学科	5607000	スポーツ栄養学	筒井 孝子	13	12	92	4.00	3.42	3.92	3.83	3.83	3.92	3.82
15098	体育学科	1817000・1817003	特別支援教育概論	石坂 光敏	130	100	77	3.91	3.80	3.86	3.87	3.74	3.69	3.81
11089	こどもスポーツ教育学科	7850000	保育実習指導Ⅰ	青山 有希	29	25	86	3.92	3.56	3.96	3.76	3.80	3.80	3.80
11089	こどもスポーツ教育学科	7113201	子ども家庭福祉	青山 有希	31	29	94	3.72	3.76	3.83	3.72	3.83	3.90	3.79
11087	保健体育学科	5809100	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	石出 勉	11	11	100	3.73	3.73	3.82	3.73	3.73	3.91	3.77
11033	こどもスポーツ教育学科	7115200・7115201	子どもの食と栄養	筒井 孝子	34	29	85	3.76	3.41	3.90	3.76	3.80	3.79	3.74
11084	体育学科	1003002・1003003	キャリアデザイン	梅澤 秀監	133	110	83	3.72	3.67	3.78	3.75	3.73	3.72	3.73
11087	こどもスポーツ教育学科	7816100・7816101	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	石出 勉	93	72	79	3.69	3.72	3.83	3.67	3.70	3.74	3.72
11079	こどもスポーツ教育学科	7822501・7822502	保育内容（環境）指導法	土井 晶子	35	34	97	3.68	3.65	3.85	3.65	3.56	3.76	3.69
11073	こどもスポーツ教育学科	7106601	情報機器演習Ⅱ	渡邊 景子	34	26	76	3.65	3.65	3.73	3.62	3.62	3.73	3.67
15072	こどもスポーツ教育学科	7114101・7114102	子どもの保健	藤城 富美子	32	30	94	3.77	3.37	3.80	3.50	3.57	3.73	3.62
11053	体育学科	1608001・1608002	バイオメカニクス	若山 章信	158	122	77	3.66	3.11	3.85	3.66	3.73	3.67	3.61
11061	こどもスポーツ教育学科	7821501・7821502	保育内容（人間関係）指導法	村石 理恵子	36	26	72	3.54	3.54	3.73	3.42	3.58	3.65	3.58
11080	体育学科	1505001・1505003	保健指導研究	高柳 佐土美	184	152	83	3.76	3.35	3.76	3.46	3.43	3.56	3.55
11069	体育学科	1311001	コーチング論	志賀 充	175	128	73	3.57	3.28	3.74	3.54	3.37	3.60	3.52
11033	体育学科	1314102	スポーツ栄養学Ⅰ	筒井 孝子	130	97	75	3.66	2.98	3.64	3.35	3.40	3.68	3.45
11015	体育学科	1612103	アスレティックコンディショニング	覚張 秀樹	46	33	72	3.88	3.64	3.67	3.30	2.94	3.24	3.44
11007	体育学科	1315201	トレーニング概論	烏賀陽 信央	195	140	72	3.54	3.13	3.68	3.35	3.38	3.44	3.42
11021	体育学科	1803001	教育行政学	古川 和人	105	74	70	3.68	3.34	3.72	3.35	3.14	3.27	3.41
11011	こどもスポーツ教育学科	7803000	発達心理学	大石 千歳	31	23	74	3.39	3.22	3.65	3.26	3.26	3.22	3.33
11006	体育学科	1120201	外国語コミュニケーション（英語）Ⅱ	鵜沢 文子	28	25	89	3.40	3.00	3.68	3.04	3.12	3.12	3.23
15076	こどもスポーツ教育学科	7819701・7819702	障害児保育Ⅱ（含特別支援教育）	石川 清明	29	25	86	2.96	2.68	3.08	2.44	2.92	2.92	2.83

運動実技系

履修者10人以上 回答率70%以上

教員コード	学科名	授業コード	授業科目名	担当教員名	履修者数	回答者数	回答率	問4	問5	問6	問7	問8	問9	平均
11091	体育学科	1400203	体づくり運動Ⅰb	佐藤 彩乃	45	33	73	3.97	3.97	4.00	4.00	4.00	3.97	3.98
11044	体育学科	1549100	カヌー	本田 宗洋	22	18	82	4.00	3.94	4.00	4.00	4.00	3.89	3.97
11068	体育学科	1406206	武道（柔道）	佐藤 愛子	34	24	71	4.00	3.88	3.96	4.00	3.96	3.92	3.95
11002	体育学科	1520400	新体操競技コーチング論及び実習Ⅲ	秋山 エリカ	17	12	71	4.00	3.92	3.92	3.92	3.92	4.00	3.94
11022	体育学科	1535201	陸上競技指導方法及び実習b	櫻田 淳也	16	13	81	4.00	4.00	4.00	3.85	3.85	3.92	3.94
11091	体育学科	1400201	体づくり運動Ⅰb	佐藤 彩乃	40	30	75	3.87	3.80	3.97	4.00	3.97	3.97	3.93
15130	保健体育学科	5402200	器械運動b	柳 浩二郎	12	12	100	3.83	3.67	3.92	4.00	4.00	3.92	3.89
11091	保健体育学科	5401200	体づくり運動b	佐藤 彩乃	13	13	100	3.85	3.77	3.92	3.92	3.92	3.92	3.88
11022	こどもスポーツ教育学科	7859000	子どもの運動b	櫻田 淳也	14	13	93	4.00	3.62	4.00	3.92	3.85	3.85	3.87
11055	体育学科	1408201	器械運動Ⅱb	渡辺 博之	30	26	87	3.92	3.46	3.92	3.92	3.92	3.92	3.85
11050	体育学科	1536202	球技指導方法及び実習b	八尾 泰寛	16	13	81	3.85	3.92	3.85	3.85	3.85	3.77	3.85
11091	体育学科	1400204	体づくり運動Ⅰb	佐藤 彩乃	44	32	73	3.91	3.75	3.88	3.84	3.84	3.84	3.84
11069	体育学科	1409201	陸上競技Ⅱb	志賀 充	23	17	74	3.82	3.59	3.94	3.88	3.88	3.94	3.84
11055	体育学科	1402203	器械運動Ⅰb	渡辺 博之	47	38	81	3.92	3.50	3.95	3.92	3.87	3.89	3.84
11088	体育学科	1405904	水泳Ⅰb	酒井 紳	44	34	77	3.88	3.71	3.85	3.85	3.85	3.82	3.83
11009	体育学科	1400202	体づくり運動Ⅰb	小野田 桂子	42	35	83	3.89	3.77	3.86	3.83	3.74	3.83	3.82
15042	保健体育学科	5418300	エアロビックダンス	松本 美和子	16	14	88	3.86	3.79	3.86	3.86	3.86	3.57	3.80
11055	体育学科	1402204	器械運動Ⅰb	渡辺 博之	53	40	75	3.88	3.45	3.93	3.85	3.88	3.78	3.79
11088	体育学科	1405903	水泳Ⅰb	酒井 紳	45	33	73	3.79	3.64	3.82	3.76	3.85	3.82	3.78
15130	体育学科	1402202	器械運動Ⅰb	柳 浩二郎	43	41	95	3.76	3.61	3.83	3.66	3.73	3.73	3.72
11098	こどもスポーツ教育学科	7315400	体育Ⅰ	豊岡 弘敏	43	37	86	3.70	3.59	3.84	3.70	3.73	3.65	3.70

8) 体力テストアセスメント報告

体力テスト・アセスメント報告（令和6年度・短期大学）

体力テストの概要

体力テストは本学体育学部（以下、大学）1・2年生、および短期大学保健体育学科（以下、保体）1・2年生、同こどもスポーツ教育学科（旧、児童教育学科。以下、コスポ）1・2年生を測定対象者とし、本学体育学部3・4年生を測定者として実施されてきた。学生にとっては、自分自身の体力・運動能力の把握ができる重要な機会である。また、平成19年（2007）からは成績優秀者に関しては表彰も行っている。大学3・4年生にとっては体力・運動能力の測定技術を学ぶ実践的な機会としても重要視されている。加えて近年では、測定結果の学内・学外で研究目的での利用を促進するべく、平成20年（2008）以降の測定結果を本学ホームページで公開している。

[女子体育研究所 | 学園案内 | 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学
https://www.twcpe.ac.jp/college/laboratory.html](https://www.twcpe.ac.jp/college/laboratory.html)

「体力テスト測定データの公開」

毎年4月下旬に学校行事として「体力テスト」を実施しています。大学・短期大学の1・2年生がテストを受ける側（被検者）、大学3・4年生がテストを実施する側（検者）として、また、企画・運営は大学3・4年生の代表である20余名の「体力テスト実行委員」によって行われています。基礎データと総合評価は、文部科学省発表によるものと、本学での約半世紀に渡るデータの蓄積によるものです。

女子体育研究所では、2008年（平成20年）度以降の測定データを公開することとしました。測定項目は学部学科学年別・クラブ別に、体格、握力、背筋力、上体おこし、垂直跳び、立ち幅跳び、反復横跳び、50m走、シャトルラン、最大酸素摂取量、ハンドボール投げ、及び長座体前屈です。（以下略）

令和6年（2024）4月体力テストの実施結果について

各種目の測定方法、および測定結果の詳細は、『新体力テスト結果報告書・令和6年度版』（令和6年度体力テスト実行委員会，2024）にある通りである。参加者数については表1の通りであった。本年度の体力テスト当日は、昨年度に続いて雨天であったが、昨年度の反省を踏まえ、雨天時に関する学生への連絡を確実にした結果、大学1年生からコスポ2年に至るすべての学年で、昨年度より出席率を高めることができた。コスポ2年は、昨年度のコスポ2年生と比較して3倍近い出席率とすることができた。

表1. 令和6年(2024)4月体力テスト参加者数

	在籍者数	出席者数	出席率	(R5年度)
大学1年	232	225	97.0 %	90.9%
大学2年	256	179	69.9 %	53.9%
大学3年	321	292	91.0 %	77.6%
大学4年	325	249	76.6 %	68.1%
保体1年	0	0		100.0%
保体2年	13	11	84.6 %	56.3%
コスポ1年	31	30	96.8 %	94.4%
コスポ2年	38	22	57.9 %	20.9%
全 体	1,216	1,008	82.9 %	70.8%

学生に対しては、例年同様に測定結果の詳細な個人票を返却し、各自の運動能力や体格の把握に役立っている。

本年度の体力テストにおける本学学生の体格・体力測定結果の基礎データは、表2の通りであった。

表2. 本学学生の体格・体力測定結果

	母データ数	身長(cm)			母データ数	体重(kg)			母データ数	体脂肪率(%)		
		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数
全学生	533	160.1	5.6	532		57.6	7.7	533		27.5	5.6	527
大学2年	196	160.1	5.4	195		58.4	7.5	196		27.7	5.4	193
大学1年	227	160.4	5.9	227		57.8	7.9	227		27.7	5.2	224
保体2年	12	158.1	4.3	12		54.4	6.4	12		26.3	4.7	12
保体1年	0			0				0				0
コスポ2年	20	159.9	5.3	20		62.4	9.7	20		33.1	6.4	20
コスポ1年	30	158.7	5.4	30		54.5	6.8	30		28.0	5.9	30

	母データ数	握力・左右平均値(kg)			母データ数	背筋力(kg)			母データ数	上体起こし(回)		
		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数
全学生	533	30.3	5.1	523		85.2	20.0	521		31.1	5.4	519
大学2年	196	31.2	5.2	188		89.6	22.1	187		31.3	4.9	186
大学1年	227	30.4	4.8	225		83.5	17.2	226		31.9	5.4	224
保体2年	12	29.2	4.5	12		73.6	26.9	12		30.0	2.5	12
保体1年	0			0				0				0
コスポ2年	20	30.2	4.3	20		85.0	17.0	20		29.2	6.6	20
コスポ1年	30	27.4	3.9	30		72.0	17.5	29		29.1	4.9	29

	母データ数	垂直跳び(cm)			母データ数	立ち幅跳び(cm)			母データ数	反復横とび(回)		
		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数
全学生	533	46.1	7.1	510		191.5	22.3	509		53.1	6.4	507
大学2年	196	46.3	7.3	182		193.6	26.9	181		53.5	6.9	180
大学1年	227	46.0	7.1	221		193.0	18.7	220		54.2	6.2	219
保体2年	12	45.7	4.1	12		182.5	13.4	12		50.8	5.1	12
保体1年	0			0				0				0
コスポ2年	20	46.5	5.4	20		184.0	17.6	20		49.2	4.6	20
コスポ1年	30	44.7	6.5	29		186.6	22.3	29		50.3	4.2	29

	母データ数	50m走(sec)			母データ数	シャトルラン(回)			母データ数	最大酸素摂取量(ml/kg/min)		
		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数
全学生	533	8.2	0.8	398		66.3	21.9	509		40.9	4.9	509
大学2年	196	8.1	0.6	143		66.8	24.6	180		41.1	5.5	180
大学1年	227	8.2	0.6	194		67.9	20.8	221		41.3	4.7	221
保体2年	12	9.2	0.7	6		67.8	11.5	12		41.3	2.6	12
保体1年	0			0				0				0
コスポ2年	20	8.7	0.3	6		54.4	17.6	20		38.2	4.0	20
コスポ1年	30	8.5	1.2	29		58.5	17.6	29		39.2	4.0	29

	母データ数	ハンドボール投げ(m)			母データ数	長座体前屈(cm)			母データ数	偏差値平均		
		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数		平均値	標準偏差	データ数
全学生	533	19.5	5.3	518		52.3	9.7	522		50.5	6.3	391
大学2年	196	20.4	5.4	186		52.7	9.0	187		51.9	6.5	142
大学1年	227	19.4	5.2	224		51.7	9.6	225		50.8	5.8	188
保体2年	12	22.6	8.3	12		45.0	10.3	12		46.4	3.7	6
保体1年	0			0				0				0
コスポ2年	20	17.1	4.2	20		52.2	9.3	20		48.6	2.3	6
コスポ1年	30	15.8	4.5	29		50.4	10.2	30		46.1	6.5	29

次ページの図1～3は、大学2年、保体2年、コスポ2年のそれぞれについて、昨年度の測定結果との比較から、体格・体力の変化について検討したものである。

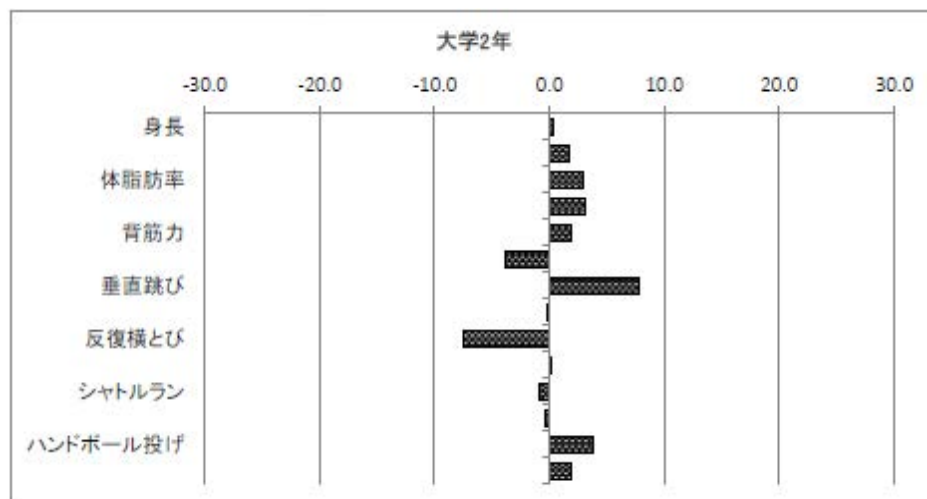


図 1. 大学 2 年生における昨年の測定結果との比較

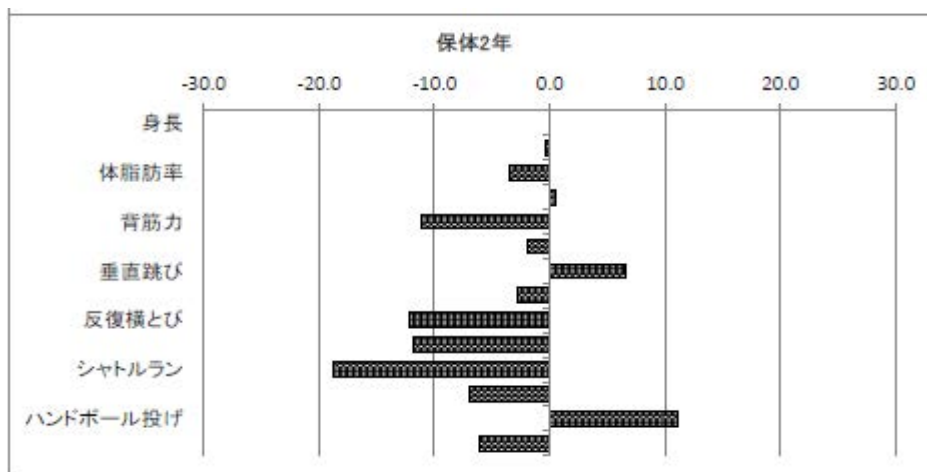


図 2. 保体 2 年生における昨年の測定結果との比較

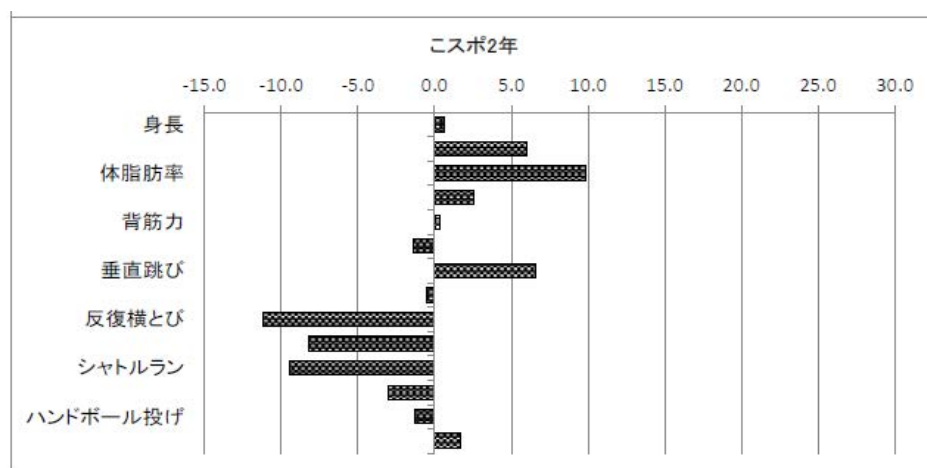


図 3. コスポ 2 年生における昨年の測定結果との比較

図 1～3 の横軸は増加率を表しており、各図のグラフの 0 よりも右側に棒グラフが伸びている部分は増加分、0 よりも左側に伸びている部分が減少分である（縦軸には表 2 における各指標が表示されているが、スペースの関係上 1 つおきに文字表示がなされている）。大学 2 年生については、反復横とび、上体

起こしでの下降が見られるが、垂直跳びでは向上がみられた。保体2年生については、昨年よりも向上した種目よりも下降した種目が多かった。コスポ2年生に関しては、反復横とび、50m走、シャトルラン等、下降した種目が多かったが、垂直跳びは向上していた。体重、体脂肪の増加もみられることから、昨年度に比べて運動不足である可能性も示唆された。

大学、短大の成績優秀者の測定結果は表3～5の通りである（プライバシーに関する情報を除き掲載）。

表3. 体力テストの大学成績上位者

順位	全体 順位	所属	学年	背筋力 (kg)		握力平均 (kg)		上体起こし (回)		垂直跳び (cm)		反復横とび (回)		長座体前屈 (cm)		20mシャトルラン (回)		最大酸素摂取量 (ml/kg/min)		立ち幅跳び (cm)		ハンドボール投げ (m)		50m走 (sec)		偏差値 平均
				測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	
1	1	大学	2	146	3	35.0	79	38	45	65	2	90	1	66	32	100	40	48.5	40	230	17	36	5	7.0	5	73.7
2	2	大学	2	152	2	53.0	1	44	4	65	2	72	5	59	123	101	34	48.7	34	220	35	40	1	7.1	14	73.6
3	3	大学	1	124	19	35.0	79	37	61	62	9	66	16	62	80	110	9	50.8	9	220	35	35	6	7.3	29	66.9
4	4	大学	1	125	17	39.5	18	33	159	55	50	68	11	50	313	109	13	50.5	13	229	22	39	3	7.3	29	65.9
5	5	大学	2	116	32	33.5	122	38	45	43	328	65	19	76	2	123	2	53.7	2	218	48	30	25	7.6	65	65.5
6	6	大学	2	106	63	30.5	240	41	18	64	5	63	23	70	14	104	23	49.4	23	242	2	20	173	7.0	5	64.5
7	7	大学	2	120	27	39.0	21	40	24	54	59	68	11	59	123	95	60	47.4	60	218	48	25	70	7.1	14	64.3
8	8	大学	2	105	69	41.0	10	34	122	53	77	72	5	68	24	76	163	43.1	163	217	52	28	37	7.2	19	63.9
9	9	大学	1	108	56	30.5	240	39	31	47	207	73	2	64	49	102	30	49.0	30	206	122	30	25	7.8	102	63.8
10	10	大学	1	162	1	42.0	6	38	45	52	94	61	39	54	235	85	108	45.1	108	209	103	30	25	7.3	29	63.3
11	11	大学	2	132	11	40.5	11	38	45	57	28	67	13	63	72	82	124	44.5	124	234	9	21	141	7.4	43	63.2
12	12	大学	1	90	191	33.5	122	38	45	62	9	55	158	59	123	108	16	50.3	16	220	35	34	8	7.2	19	63.1
13	13	大学	2	133	10	37.0	41	38	45	57	28	63	23	46	391	104	23	49.4	23	231	14	27	48	7.2	19	62.8
14	14	大学	1	100	102	42.5	4	31	237	53	77	72	5	66	32	71	194	42.0	194	214	65	31	17	7.7	78	62.6
15	15	大学	1	123	21	34.0	106	42	12	46	237	62	34	48	357	110	9	50.8	9	195	218	34	8	7.7	78	62.2

表4. 体力テストの短大成績上位者

順位	全体 順位	所属	学年	背筋力 (kg)		握力平均 (kg)		上体起こし (回)		垂直跳び (cm)		反復横とび (回)		長座体前屈 (cm)		20mシャトルラン (回)		最大酸素摂取量 (ml/kg/min)		立ち幅跳び (cm)		ハンドボール投げ (m)		50m走 (sec)		偏差値 平均
				測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	測定値	順位	
1	46	コスポ	1	110	49	35.5	71	34	122	54	59	56	130	66	39	70	197	41.8	197	231	14	22	119	7.6	65	58.0
2	84	コスポ	1	105	69	29.5	289	34	122	53	77	51	301	54	249	71	194	42.0	194	236	6	20	173	7.1	14	55.1
3	114	コスポ	1	63	459	30.5	240	35	96	54	59	55	158	57	175	88	91	45.8	91	209	103	14	442	7.5	49	53.6
4	138	コスポ	2	95	143	34.0	106	32	195	48	176	55	158	58	142	81	134	44.2	134	205	132	18	267	8.6	310	52.51
5	141	コスポ	1	80	294	32.5	155	40	24	42	360	50	343	67	27	65	230	40.6	230	194	227	16	355	8.1	190	52.46

表 5. 受験者全体の最高値と平均値

全体最高値・平均値		背筋力 (kg)	握力平均 (kg)	上体起こし (回)	垂直跳び (cm)	反復横とび (回)	長座体前屈 (cm)	20mシャトルラン (回)	最大酸素摂取量 (ml/kg/min)	立ち幅跳び (cm)	ハンドボール投げ (m)	50m走 (sec)	偏差値 平均
受験者人数 533	最高値	162	53.0	47	66	90	79	131	55.5	247	40	6.7	73.7
	平均値	85	30.3	31	46	53	52	66	40.9	192	19	8.2	50.0

表 3～5 に基づいていえるのは以下のことである。

2024 年データでは、成績優秀者の大学 15 名中 11 名は球技系運動部所属、残り 4 名も本学の他の運動部所属であった。成績優秀者において無所属の学生は 1 名もいなかった。

短大データは、保体 2 年生も含めた短大全体での成績優秀者 5 名であるが、5 名ともコスポの学生であった。この 5 名のうち 3 名が本学運動部には無所属であり、1 位、2 位の学生も無所属であった。ここからいえることは、運動能力が高い学生が、本学運動部で活動をしていない状況がある。この短大 1 位、2 位のコスポ学生の成績を、大学学部 1 年生、2 年生も含めた全体での平均値と比較してみると、その平均値を大きく凌駕している指標もあるうえ、全体的に決して遜色がないことがわかる。このような学生が本学運動部に所属していない状況は、こどもスポーツ教育学科での学びと運動部活動の両立には未だ困難な点が残ることの傍証とも考えられる。

コスポ学生の状況については、昨年度と同様に、保育士・幼稚園教諭の資格を取得するには、保育園での実習、児童養護施設等での実習、幼稚園での実習というように、2 年間という短い間に学外に長期間実習に行く必要が何度もある。そのため、本学において運動部活動の日ごろの練習参加や試合出場等と、それらの実習や学科での学びの両立は、学生の生活時間のやりくりの上で困難な点がある。高校生の中には、「スポーツが好きで、子どもが好き」という生徒は多くいると考えられる。そのような層の潜在的な需要に本学が効果的にアプローチし、高校生が本学を選択しやすくなることが望ましい。スポーツと子どもが好きな生徒が本学学生となり、存分にスポーツを楽しみ、子どもにスポーツを教える専門性を身につけた上で、卒業時には生活の糧となる資格を手にする場所となることを目指すのが重要であろう。

体力テストの教育的・学術的・広報的な意義：測定方法の更新の重要性

昨年度も述べたように、体力テストは、本学においては学生への教育的意義と、体力・運動能力の測定に関する研究面での意義の双方を有している。令和 6 年度は、科学研究費補助金の間接経費にてパソコンを 2 台購入しており、今後の体力テストの測定や集計にも使用する予定である。また女子体育研究所予算からは、昨年度分に追加して Witty 基本セット（光電管によるワイヤレスタイム計測デバイス）2 セット購入する予定であったが、価格改定（値上げ）があったため、主要な光電管部分を 2 セット購入することとし、iPad2 台と組み合わせ経費節減を図った。体力テストにおける 50m 走を光電管による測定で実施するには、6 レーン分（6 セット）が必要となることから、令和 7 年度に 2 セットを追加購入することを目指している。令和 7 年度は、すでに揃えた測定機材を研究用に活用することを開始するとともに、体力テストでの本格的活用を目指したさらなる機材整備を進めていきたい。

（文責 女子体育研究所長 大石千歳）

引用参考文献

令和 6 年度体力テスト実行委員会（2024）新体力テスト結果報告書・令和 6 年度版 女子体育研究所

9) PROG テスト

令和6年度 PROG テスト実施報告

1) 実施概要

①目的

対人基礎力や対自己基礎力などの人間力を測定し、DPの成長度を可視化し、個人の強みや弱みをフィードバックする。
また、分析結果から課題を発見し、学生支援に活用していく。

②対象 / 実施日程

大学1年生・短大1年生 / 4月フレッシュウィーク期間
大学3年生・短大2年生 / 後期オリエンテーション

③実施内容

- ・試験内容 : オンラインテスト 195 問
- ・受験方法 : スマートフォン 試験時間/60 分、解答は選択方式

④フィードバック方法

学生

キャリアデザイン（梅澤教授）の授業にて行う。大学1年は後期に行う。
大学3年・短大2年のフィードバック方法は検討。

7/3 短大1年

個人結果報告書を参照し、ワークシート(裏面)を記入させ、自信の強みや弱みを把握する作業を行なった。
それをもとに、今後何に力を入れていくか、各自発表を行った。

教員

グループ担任、ゼミ担任、クラブ部長等に、担当学生・クラブ所属学生のデータを共有する。

2) 実施結果

①実施状況

	大学	短大
学生数	232	31
受験者数	230	30
受験率	99.1%	96.8%

②判定レベル平均値（1～7段階）

	大学・短大 1年	私立女子大学 ・短大1年 (体育学系)	大学1年	私立女子 大学1年 (体育学系)	短大1年	私立女子 短大1年
総合レベル	3.1	3.4	3.1	3.8	3.0	2.8
対人基礎力	3.6	3.9	3.6	4.1	3.7	3.3
対自己基礎力	3.4	3.7	3.4	4.0	3.0	2.9
対課題基礎力	2.8	3.2	2.8	3.5	3.1	3.0

③総合レベル上位者（総合レベル6・7）

No.	総合レベル	所属	学籍番号	学生氏名	出身校名称	クラブサークル名称	入試区分	備考
1	7	大学			上尾鷹の台	バスケットボール部	スポーツ	
2	7	大学			済美	新体操競技部	スポーツ	スポ奨A
3	7	大学			八王子実践	ラクロス部	指定校	
4	6	大学			弘前学院聖愛		指定校	
5	6	大学			宮古	陸上競技部（短）	スポーツ	スポ奨C
6	6	大学			川口	硬式庭球部	指定校	
7	6	大学			熊毛南	フェンシング部	総合型（9月）スポーツ（アスリート）	スポ奨C
8	6	大学			福生	カヌー部	総合型選抜（1月）スポーツ(アスリート)	スポ奨A
9	6	大学			昭和第一		総合型（9月）スポーツ（探究）	
10	6	大学			国分中央	トランポリン部	指定校	
11	6	大学			不二女子	ラクロス部	指定校	
12	6	大学			鶴ヶ島清風	チアリーディング部（チア）	指定校	
13	6	短大			晃陽学園	音楽	総合型（9月）特別(卒業生等推薦)	
14	6	短大			下北沢成徳	チアリーディング部（ソング）／スポーツ教育研究会	総合型（9月）一般	
15	6	短大			坂戸西	スポーツ教育研究会	指定校	

PROG とは、社会で求められる能力・態度・志向（ジェネリックスキルという）を育成するためのプログラムです。

4 月に受けた測定の結果がでましたので、その結果を見て、これからあなたは何をどのように努力すれば良いか考えましょう。まず、結果報告書を見て、以下の問に答えましょう。

1. コンピテンシー（人と自分にベストな状態をもたらそうとする力。優れた成果を出す能力、行動特性。スキルを発揮する力）を支える 3 つの力の評価を書き入れなさい。

①対人基礎力 _____ レベル。②対課題基礎力 _____ レベル。③対自己基礎力 _____ レベル。

2. コンピテンシーの 3 つの構成要素を、さらに分解して深めます。3 つの要素について「強み」と表示された力があれば、その力を○で囲んで、レベルを記入しなさい。

①対人基礎力：親和力 _____ レベル。協働力 _____ レベル。統率力 _____ レベル。

②対自己基礎力：感情制御力 _____ レベル。自信創出力 _____ レベル。行動持続力 _____ レベル。

③対課題基礎力：課題発見力 _____ レベル。計画立案力 _____ レベル。実践力 _____ レベル。

3. あなたの強み開発度ランキングを、上位と下位 3 つずつ書き出しなさい。

上位	開発が進んでいる「強み」	下位	開発が遅れている「強み」
1 位		31 位	
2 位		32 位	
3 位		33 位	

4. 結果を見て、あなたはコンピテンシーレベルを上げるために、今後どのようなことに力を入れようと考えますか。

東京女子体育大学・短期大学

_____ 学科 学生番号 _____ 氏名 _____

令和6年度後期 PROG テスト実施報告

1) 実施概要

①目的

対人基礎力や対自己基礎力などの人間力を測定し、DPの成長度を可視化し、個人の強みや弱みをフィードバックする。
また、分析結果から課題を発見し、学生支援に活用していく。

②対象 / 実施日程

大学3年生・短大2年生 / 後期オリエンテーション

③実施内容

- ・試験内容 : オンラインテスト 195 問
- ・受験方法 : スマートフォン 試験時間/60 分、解答は選択方式

④フィードバック方法

学生

個人結果報告書の配付。振り返りのフォーム回答。

教員

グループ担任、ゼミ担任、クラブ部長等に、担当学生・クラブ所属学生のデータを共有する。

2) 実施結果

①実施状況

	大学	短大
学生数	319	50
受験者数	119	33
受験率	37.3%	66.0%

内、大学7名は回答途中

②判定レベル平均値（1～7段階）

	大学3年	私立女子 大学3年	私立大学 3年 (体育学系)	短大2年 (保+こ)	保体 2年	コスボ 2年	私立女子 短大2年	私立 短大2年 (保育系)
総合レベル	3.0	2.8	3.6	2.9	3.3	2.7	2.8	2.9
対人基礎力	3.3	3.2	3.8	3.3	4.0	3.0	3.2	3.3
対自己基礎力	3.3	3.0	4.0	3.3	4.0	3.0	3.1	3.2
対課題基礎力	3.1	3.4	3.6	2.6	2.0	2.8	3.1	3.0

③総合レベル上位者（総合レベル5・6・7）

No.	総合レベル	所属	学籍番号	学生氏名	出身校名称	クラブサークル名称	入試区分	ゼミ担任
1	7	大学3年			宇都宮短期大学附属		指定校推薦	豊岡 弘敏
2	6	大学3年			西武台	陸上競技部（投）	総合型Ⅰ期スポーツ（アスリート）	武藤 伸司
3	6	大学3年			尚綱	ソフトテニス部	総合型Ⅰ期一般	石出 勉
4	6	大学3年			東大和	スポーツ教育研究会	総合型Ⅰ期スポーツ（アスリート）	堀内 亮輔
5	5	大学3年			石川	陸上競技部（短）	総合型Ⅰ期スポーツ（アスリート）	青山 有希
6	5	大学3年			東久留米総合		指定校推薦	小西 悦子
7	5	大学3年			聖カタリナ学園	バスケットボール部	指定校推薦	田島 真沙美
8	5	大学3年			下妻第二	ソフトボール部／スポーツ教育研究会	公募推薦	堀内 亮輔
9	5	大学3年			鶴翔	陸上競技部（短）	総合型Ⅰ期スポーツ（アスリート）	青山 有希
10	5	大学3年			宇都宮文星女子	ソフトボール部／初等教育研究会／スポーツ教育研究会	スポーツ推薦	堀内 亮輔
11	5	大学3年			下北沢成徳	バレーボール部	スポーツ推薦	今丸 好一郎
12	5	大学3年			埼玉栄	ソフトボール部	スポーツ推薦	佐藤 理恵
13	5	大学3年			宇都宮南		総合型Ⅰ期スポーツ（アスリート）	高柳 佐土美
14	5	大学3年			藤村女子	新体操競技部	藤村女子推薦	古城 梨早
15	5	大学3年			東京成徳大学深谷		指定校推薦	高橋 佳子
16	5	大学3年			星城	ソフトボール部	大学3年次編入学・転入学選抜（Ⅰ期）	佐藤 理恵
17	6	保体2年			山村国際		指定校	
18	5	保体2年			武蔵野大学附属千代田		総合型Ⅰ期特別(卒業生等推薦)	
19	5	コスボ2年			啓明学園	音楽	一般選抜Ⅰ期(一般)	
20	5	コスボ2年			芝商業		指定校	
21	5	コスボ2年			本庄第一	ダンス部	スポーツ	

令和6年度 PROG テスト アセスメント報告

1) 実施概要

①目的

対人基礎力や対自己基礎力などの人間力を測定し、DPの成長度を可視化し、個人の強みや弱みをフィードバックする。また、分析結果から課題を発見し、学生支援に活用していく。

②対象 / 実施日程

大学1年生・短大1年生 / 4月フレッシュウィーク

大学3年生・短大2年生 / 10月オリエンテーション

③実施内容

- ・試験内容 : オンラインテスト 195 問 解答は選択方式
- ・受験方法 : スマートフォン
- ・フィードバック方法: 個人結果報告書の配付。1年生はキャリアデザインの授業にて振り返りを行った。

2) データ分析

大学1・3年、短大1・2年のそれぞれの平均データを使用し、分析した。

但し、短大2年は保健体育学科のデータを抜いたものとする。

①実施状況

大学1年・短大1年は前期フレッシュウィークに行い96%以上の受験率だったが、大学3年・短大2年は後期オリエンテーション出席者が少なく受験率も低い結果となった。

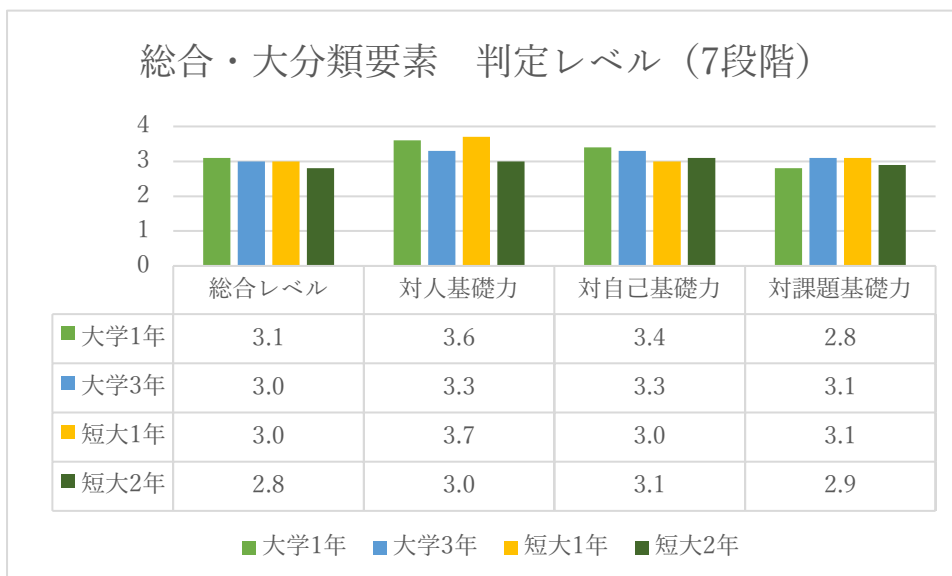
	大学		短大	
	1年	3年	1年(コスボ)	2年(コスボ)
学生数	232	319	31	37
受験者数	230	119	30	24
受験率	99.1%	37.3%	96.8%	64.9%

②判定レベル平均値

○総合・大分類要素

いずれも大きな差はなく、どの学科・学年も平均4.0を超えていない。

全体平均でみると、対人基礎力が一番高く、対課題基礎力が一番低い結果となった。

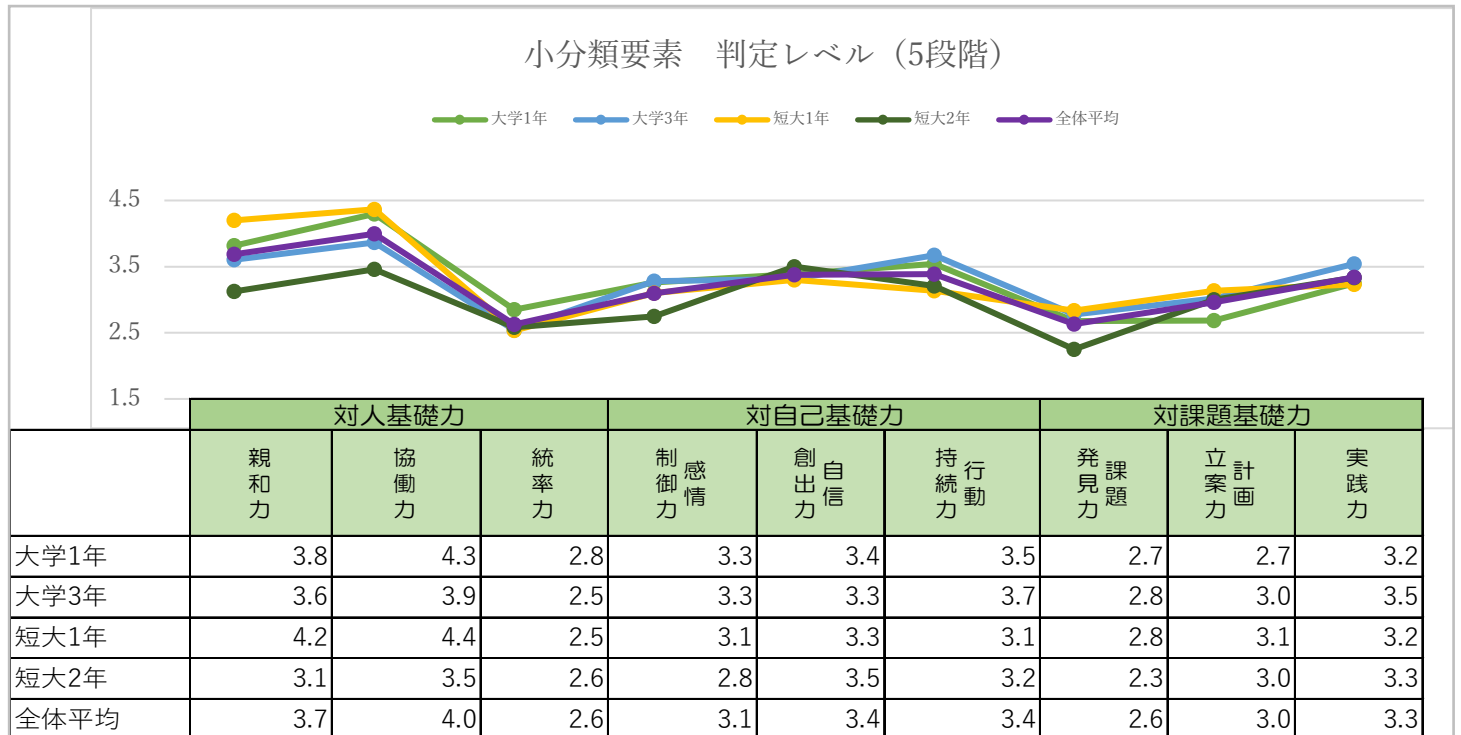


○中分類要素

大分類3要素を9要素に分けて判定した。

どの学科・学年も協働力が一番高く、統率力・課題発見力が低い結果となった。同じ対人基礎力の中でも、協働力と統率力には大きな差が見られた。

小分類要素 判定レベル (5段階)

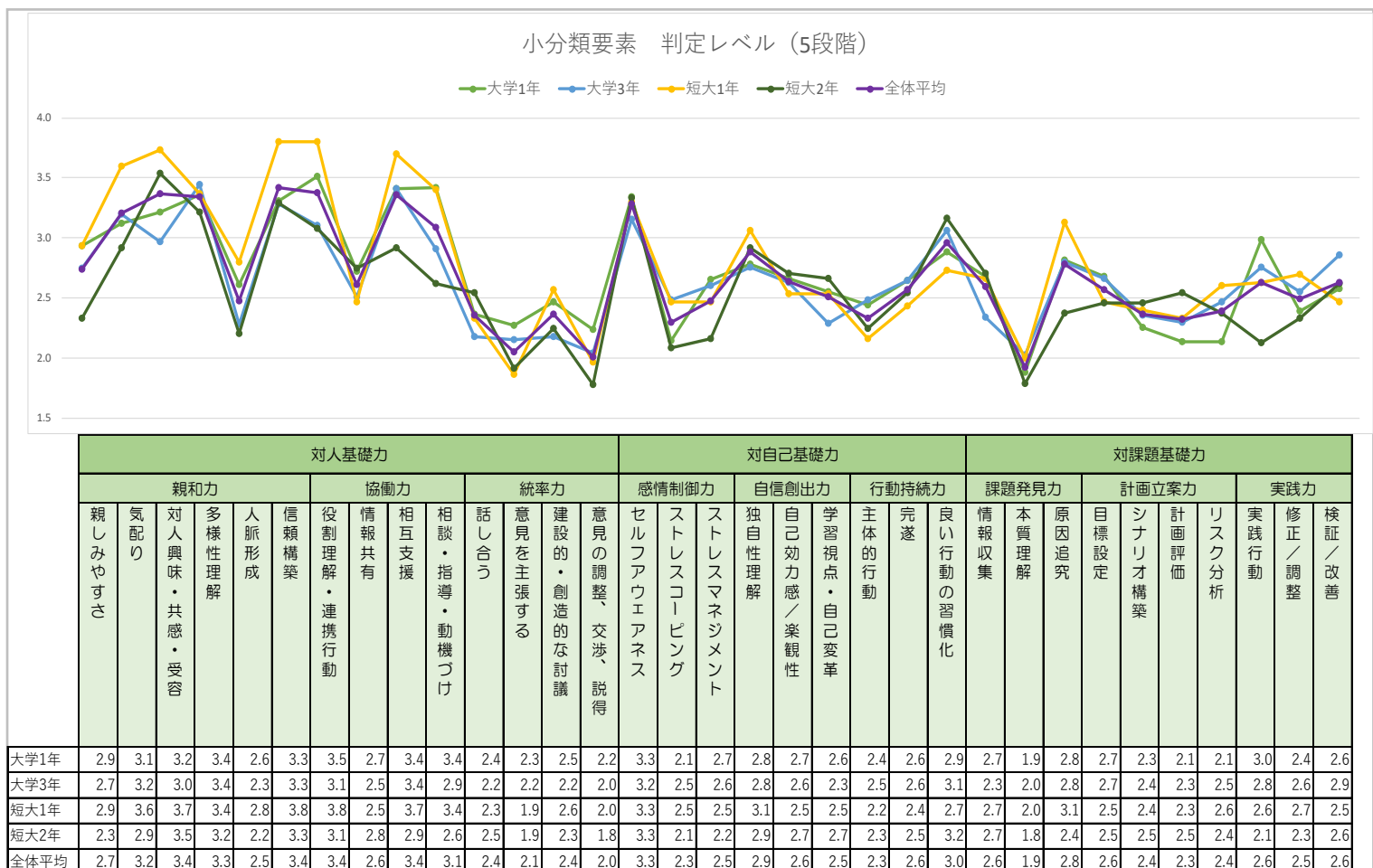


○小分類要素

中分類9要素を更に33要素に分けて判定した。

全体平均を見ると、親和力・協働力内の項目が高く、本質理解・意見の調整、交渉、説得の力が低い。

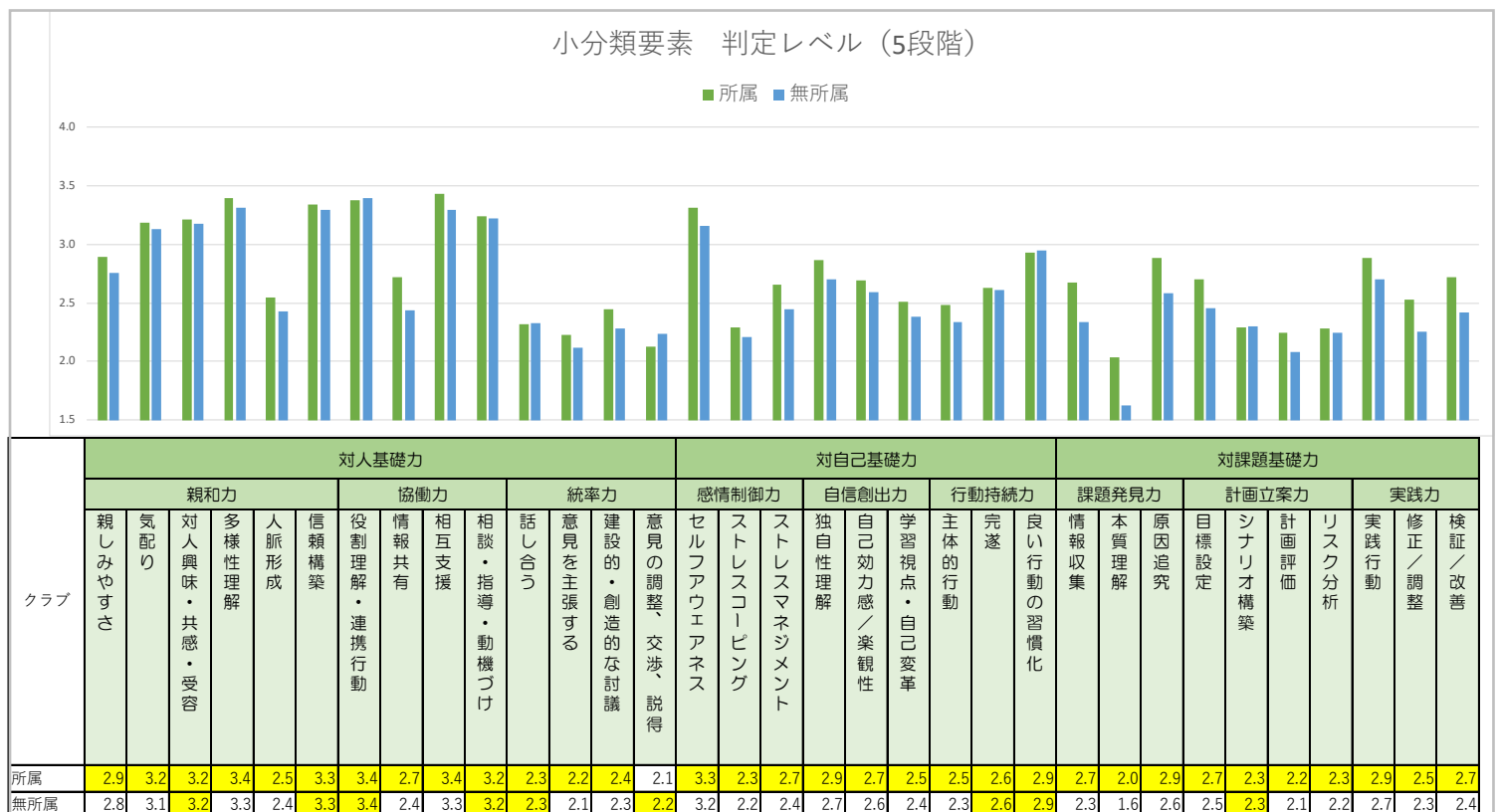
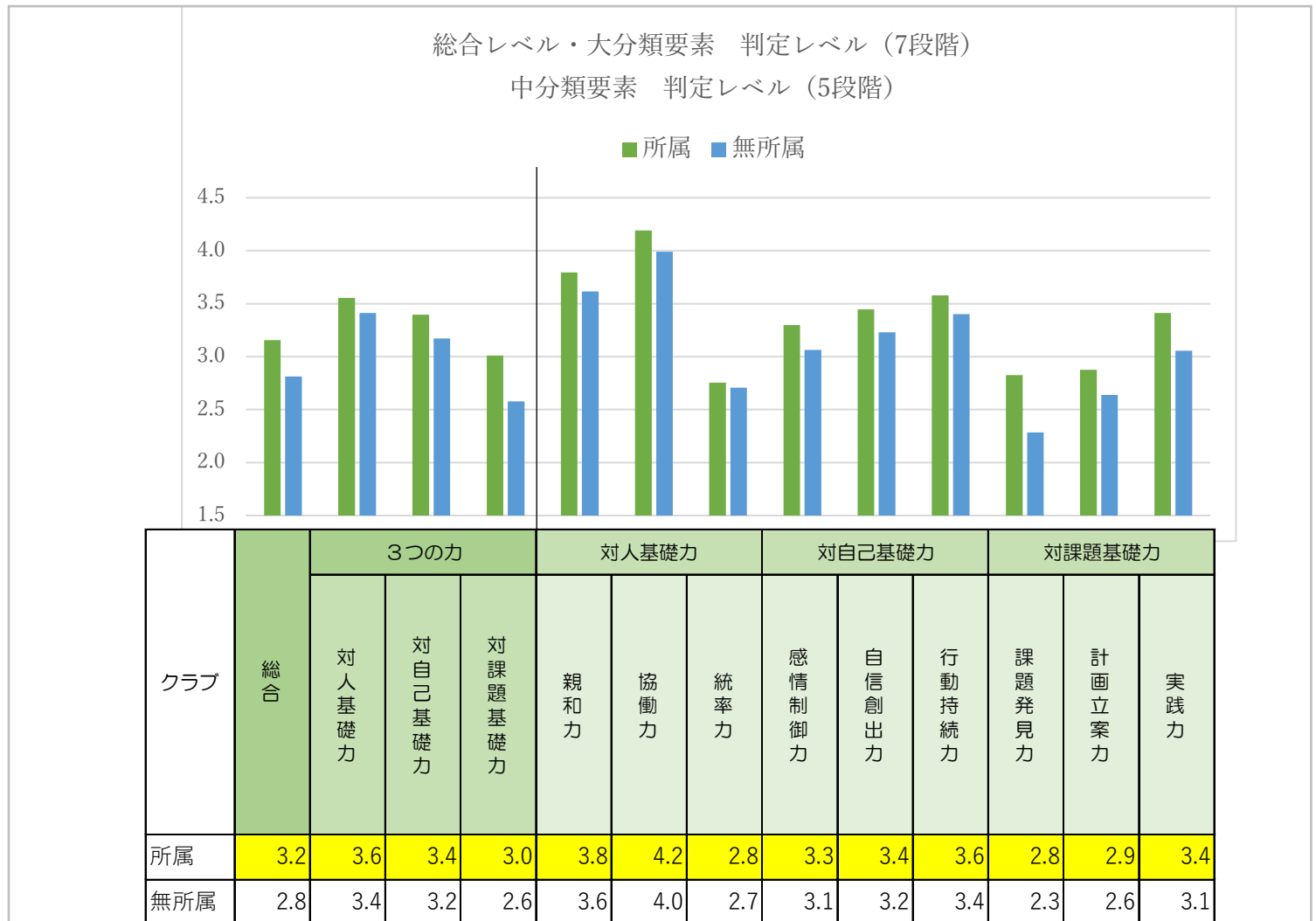
小分類要素 判定レベル (5段階)



3) クラブ所属状況別平均値

PROG テスト受験人数：412 名、クラブ所属 300 名、無所属 112 名（大・保・こ）

総合レベル・大分類要素・中分類要素で見ると、クラブ所属者の平均が無所属者の平均を全て上回った。



3) まとめ

大学1年と3年、短大1年と2年にそれぞれ大きな差はあまり見られず、学年・学科ごとの際立った特徴は見受けられなかった。全体傾向をみると、本学の特徴として、共に支え合い連携・協力する力が高い事がわかった。これは本学の学生の多くが部活動やスポーツを経験してきており、チームや仲間と過ごす中で得た力なのではと考えられる。低い結果となった課題発見力や統率力については、情報がすぐ手に入る世の中である一方で、情報が溢れていて正解や本質を見極める力が弱いということ、他人に頼り、自分の意見を持てない学生が多いのではないかと考える。また、意見を持てても、それを主張し相手とすり合わせるということが苦手な傾向にある。グループワークや問題解決型の授業を積極的に行い、学生一人一人が自身の弱みを克服できるよう行動することで、本学全体の能力向上を図れるのではないかと考える。

また、体育・スポーツはコンピテンシー能力向上に影響があるのかという観点から、クラブ所属者と無所属者の平均データを比較した。僅差な要素もあるが、クラブ所属者のレベルが無所属者を上回る結果となり、僅かでも良い影響があると考えられる。

今回の個人結果は、グループ担任・ゼミ担任・クラブ部長に担当学生・クラブ所属学生のデータを共有し、授業内容や学生指導に活用していく。また、教学関係の部署でのデータ活用方法についても検討していく。

PROGテストは今年度より導入したが、大学3年・短大2年については受験率が低く、データが充分ではなかった。次回実施の際は十分なデータを確保したい。来年度の実施時期や方法、学生への周知や、フィードバック方法については検討課題とする。また、今回受験した大学・短大1年生の1年後2年後の経年比較も今後行っていきたい。

【Ⅱ】各種調査・アンケート集計結果

1. 大学の生活と学びに関するアンケート

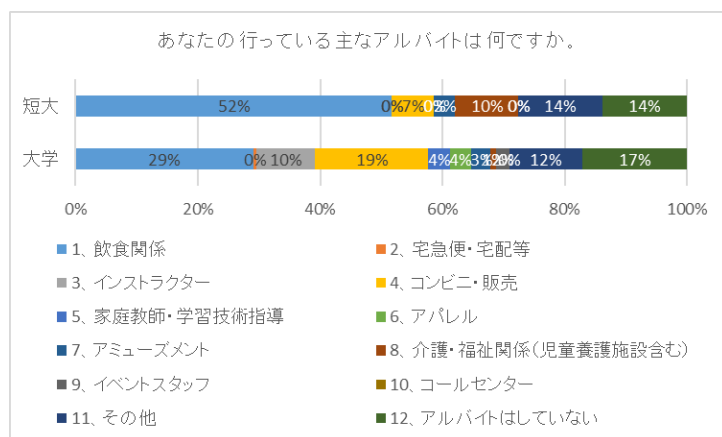
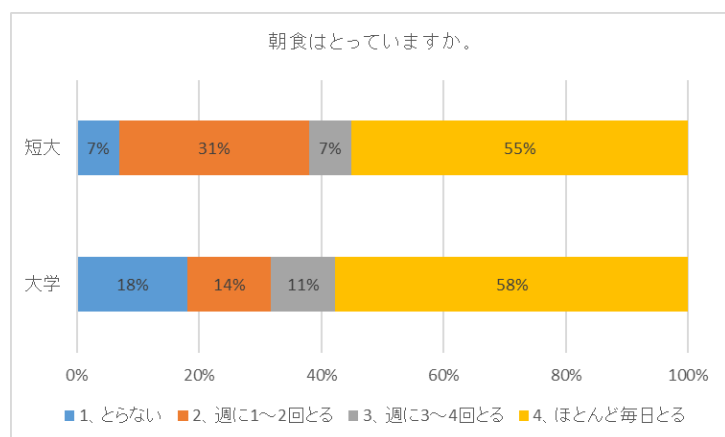
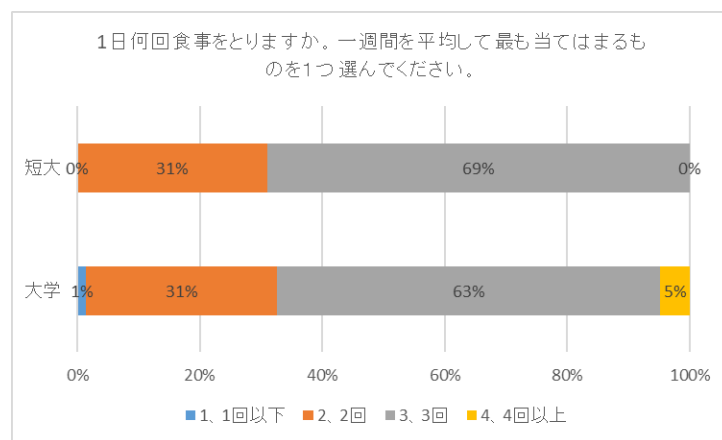
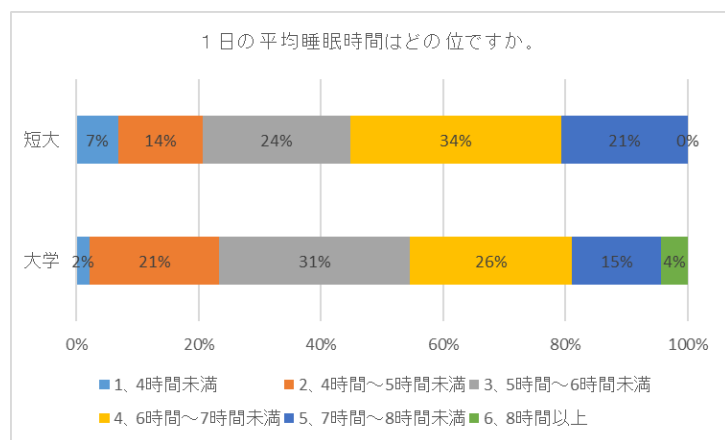
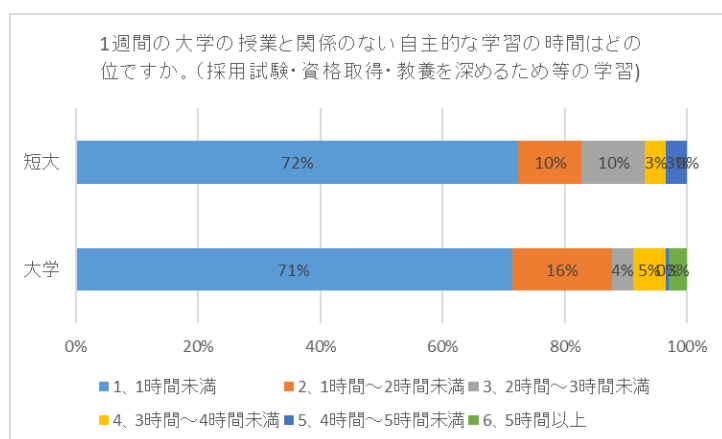
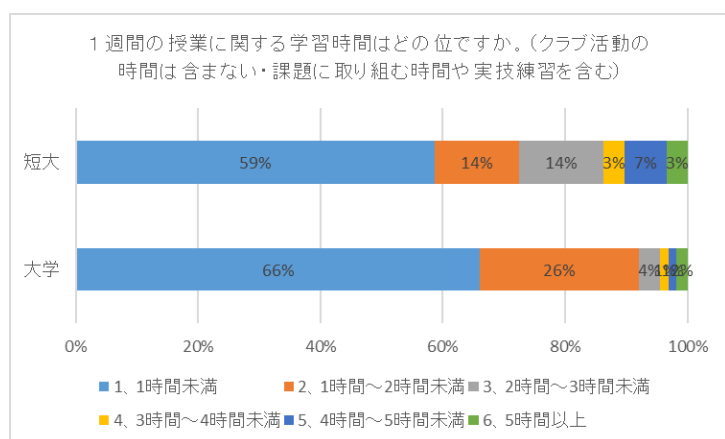
大学の生活と学びに関するアンケート（卒業年次）集計結果

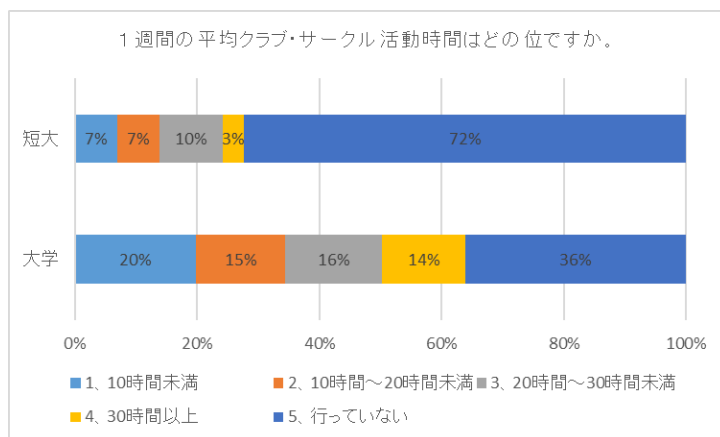
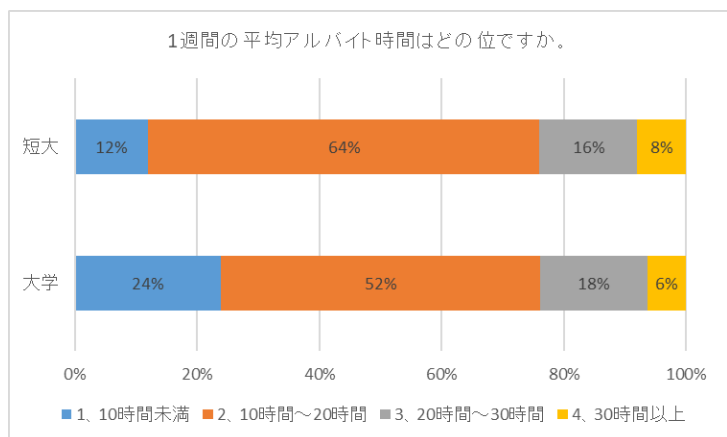
調査実施日：令和7年3月19日（卒業式ガイダンス）

大学卒業生：292名／回答数227名／回答率77.7%

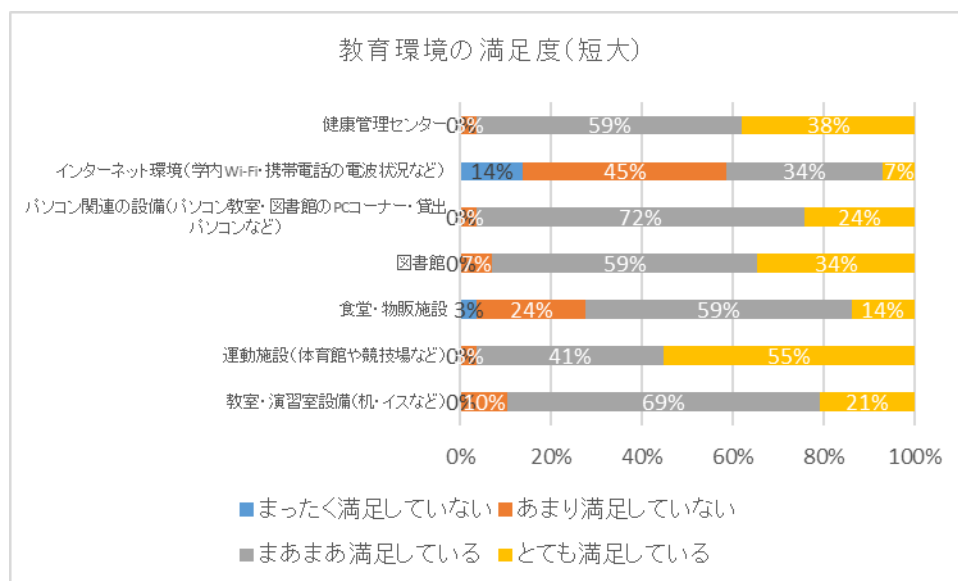
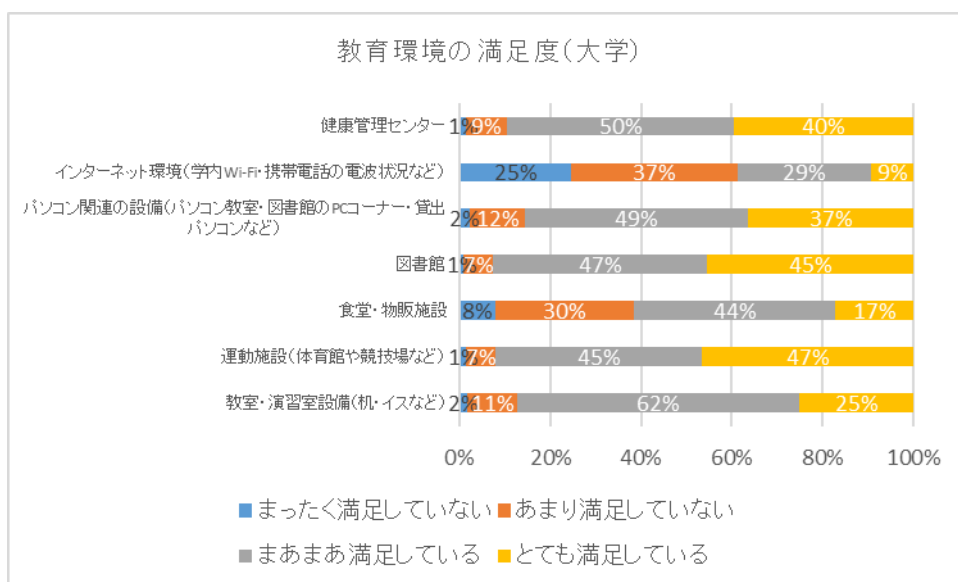
短大卒業生：48名／回答数29名／回答率60.4%

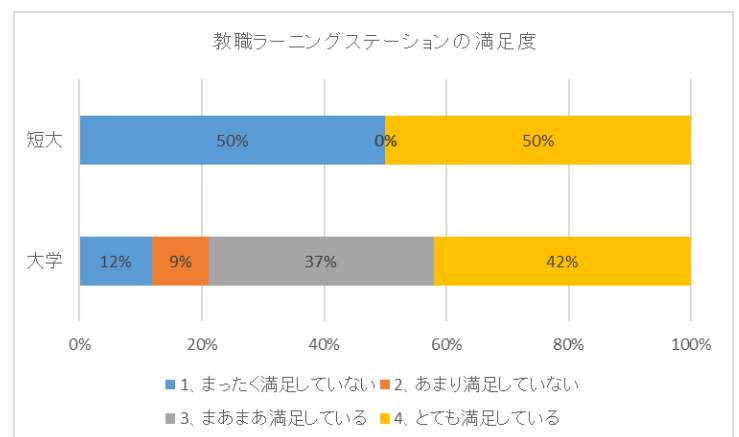
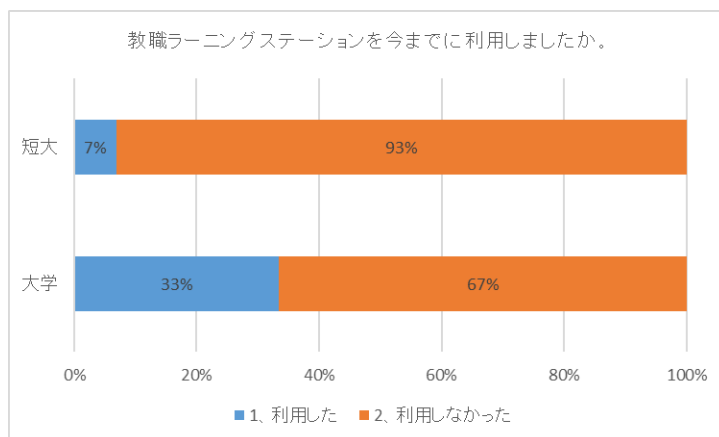
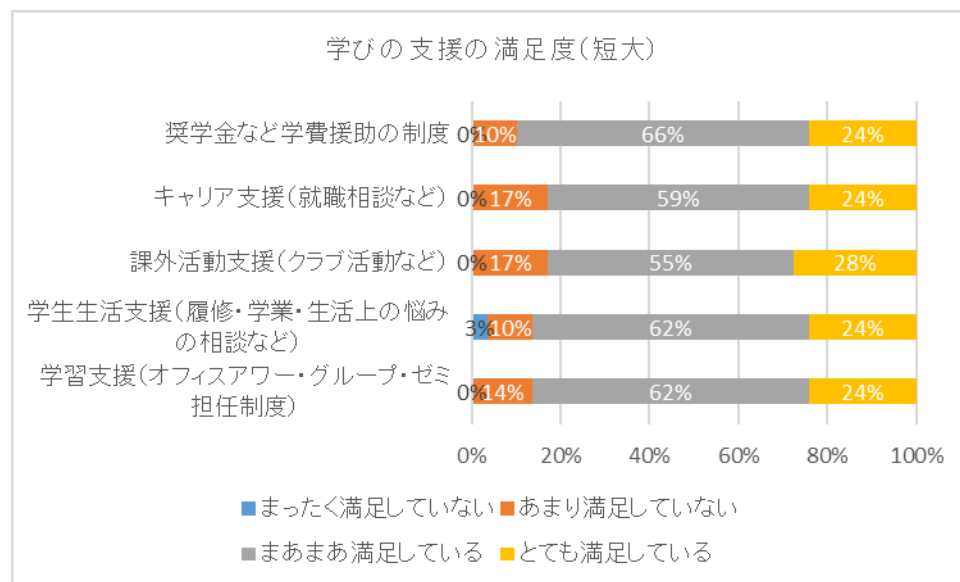
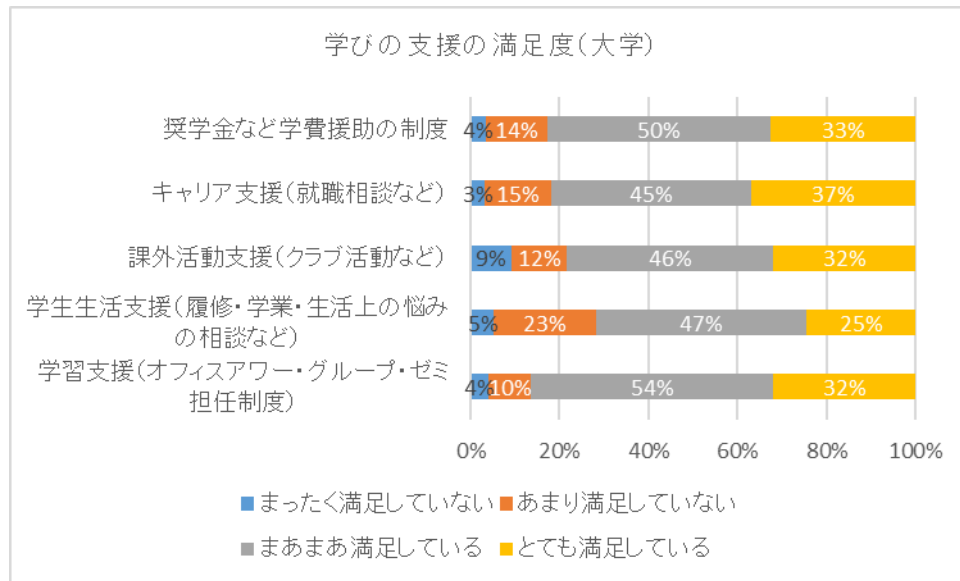
■学生生活

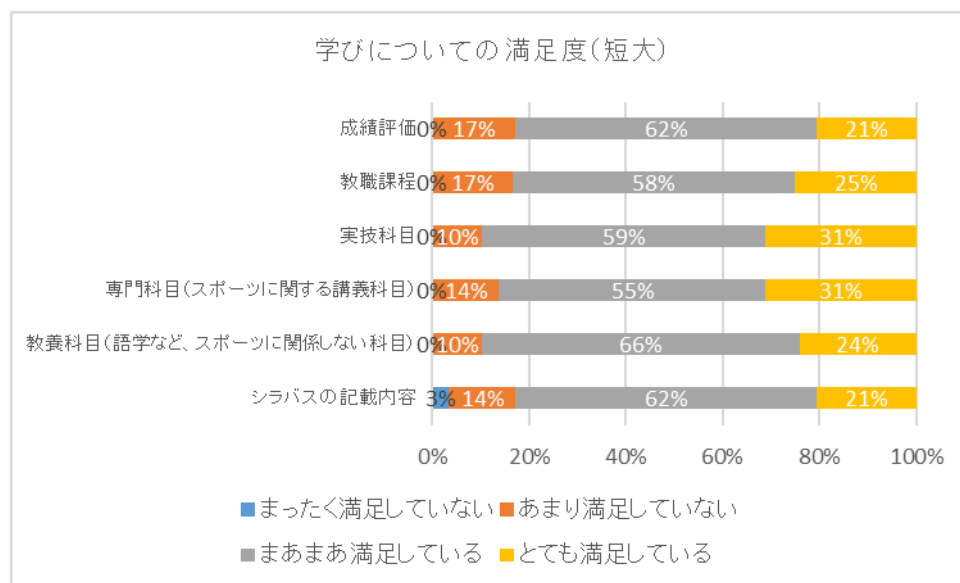
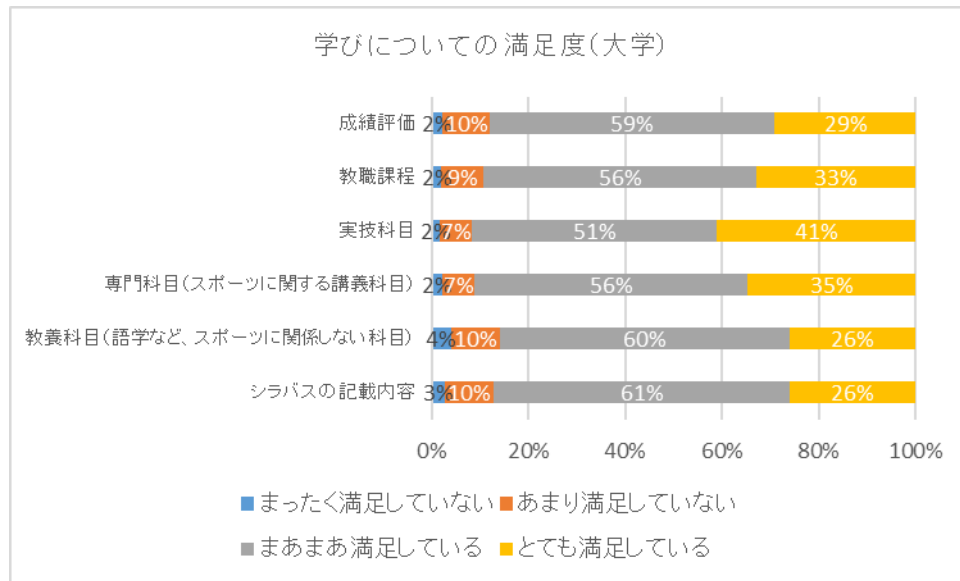




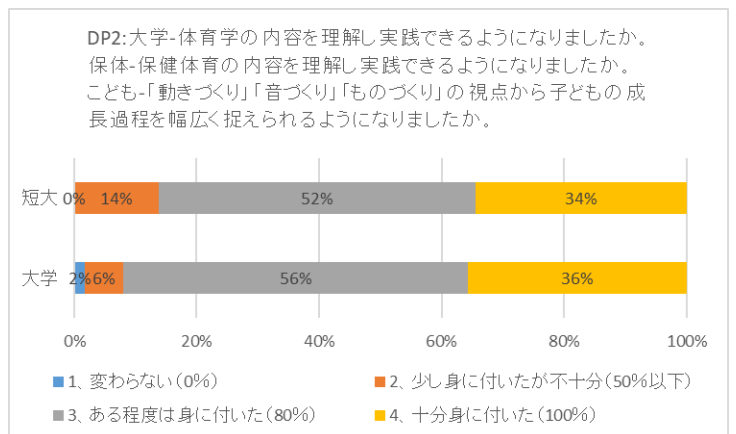
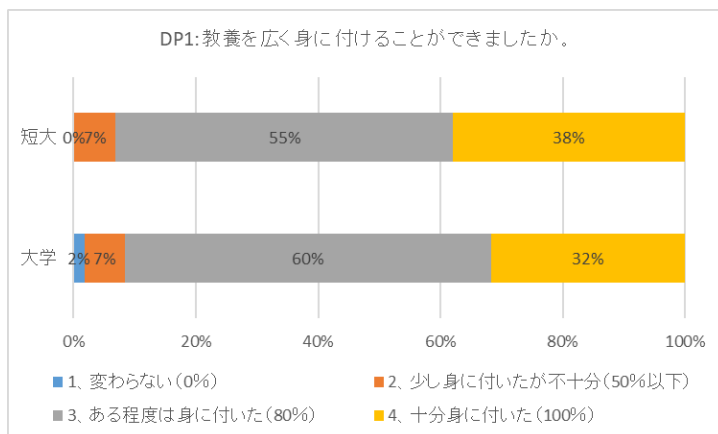
■満足度

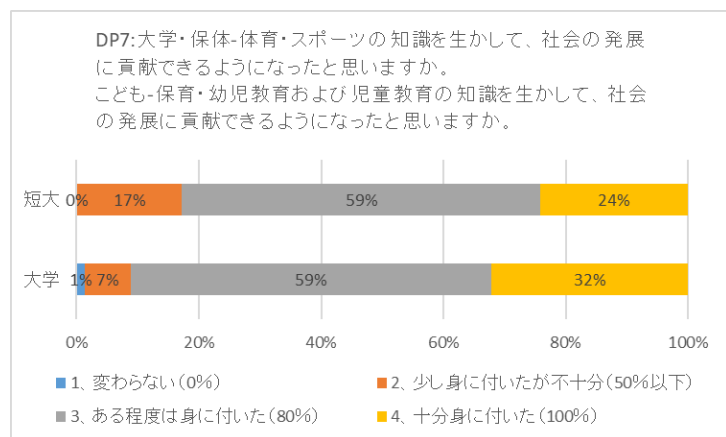
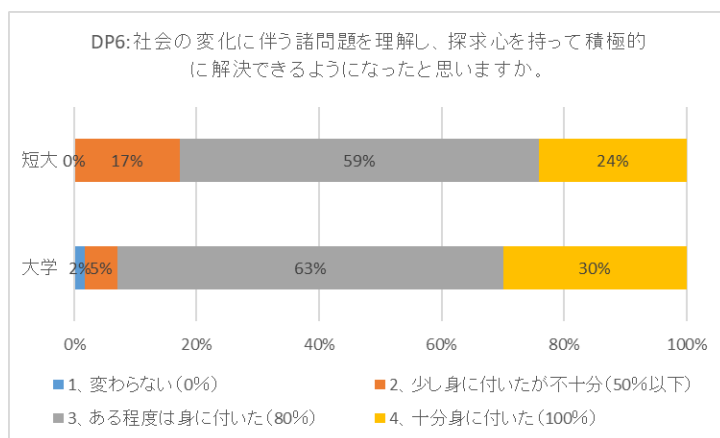
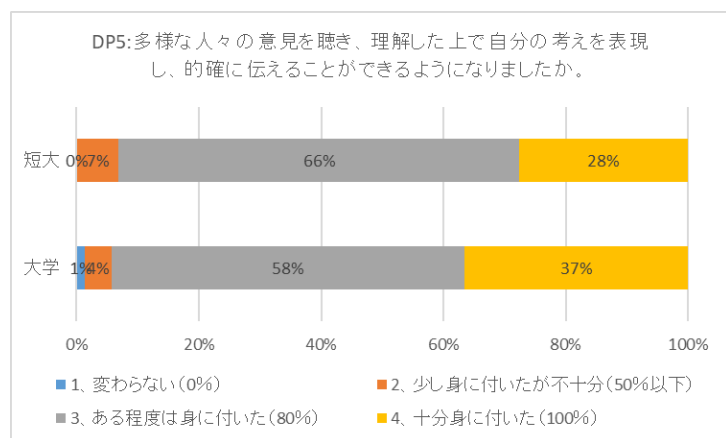
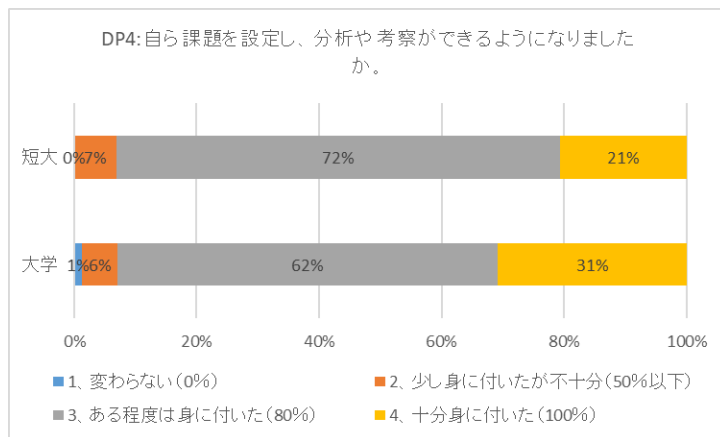
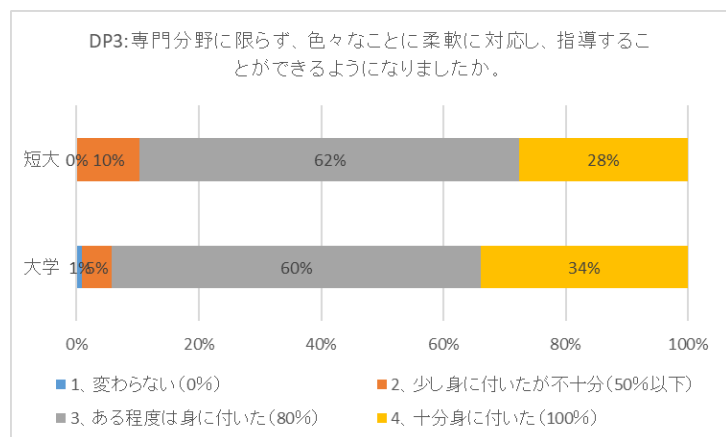




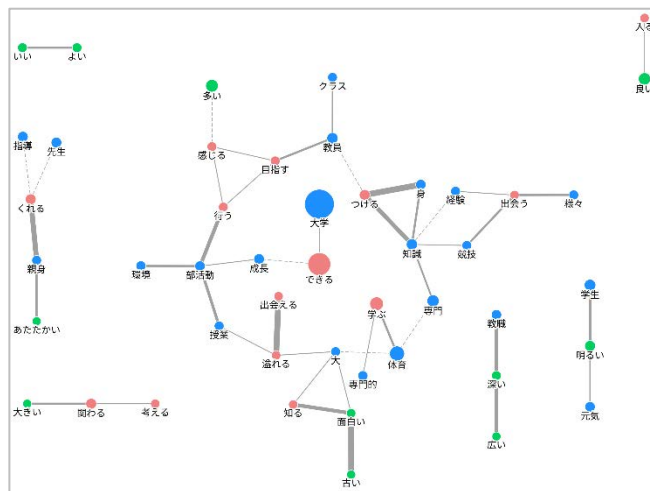
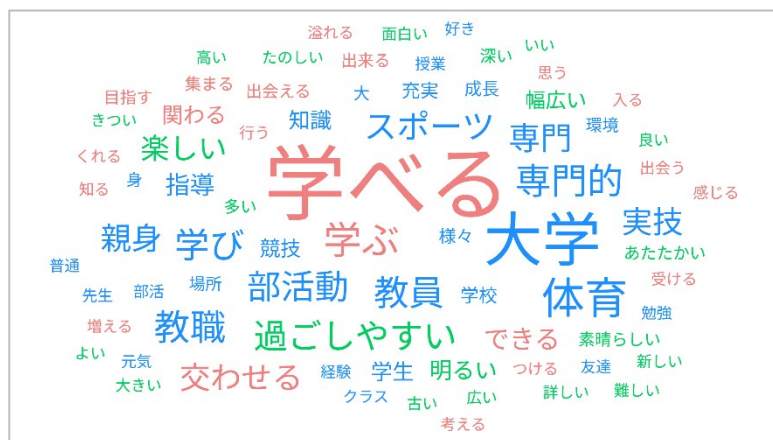


■成長実感 1年前と比べて

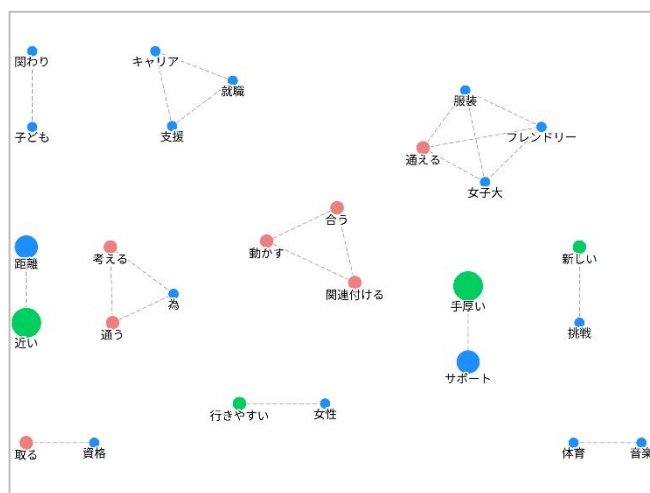
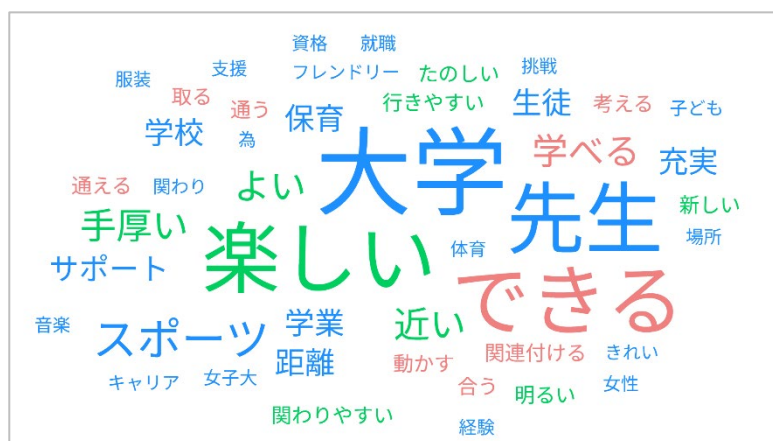




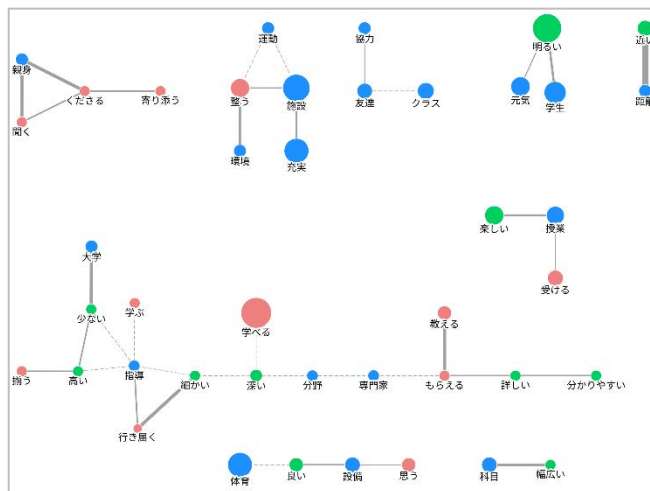
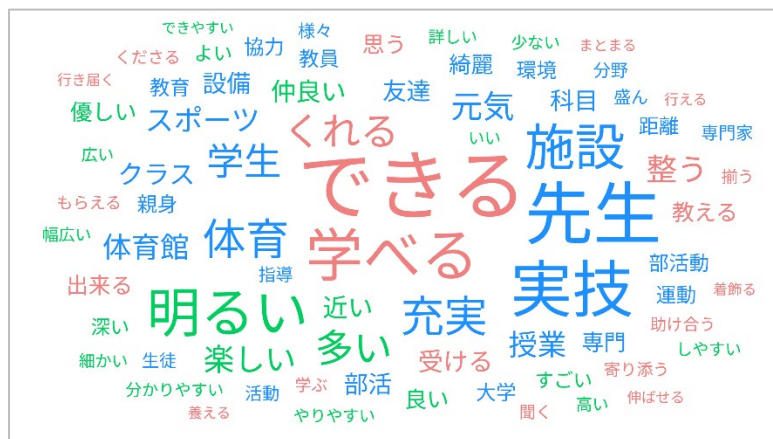
【大学】



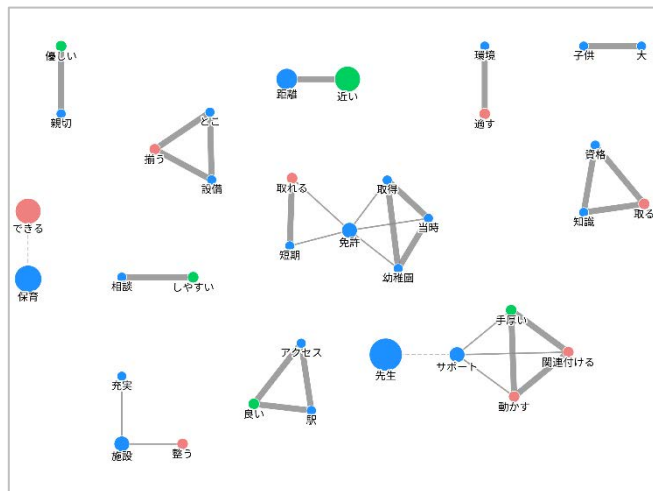
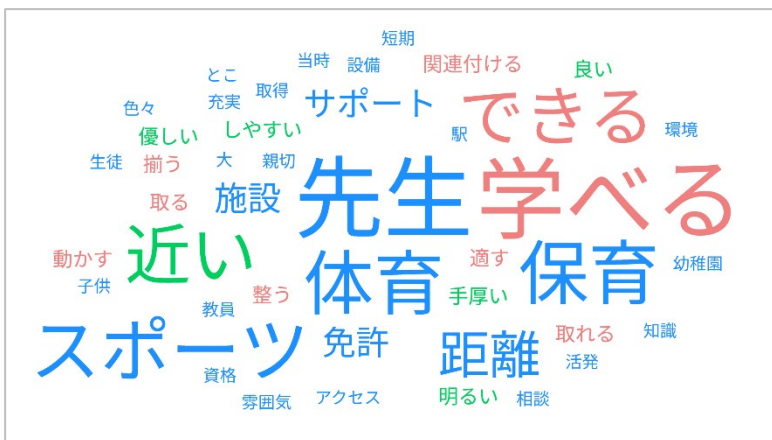
【短大】



【大学】

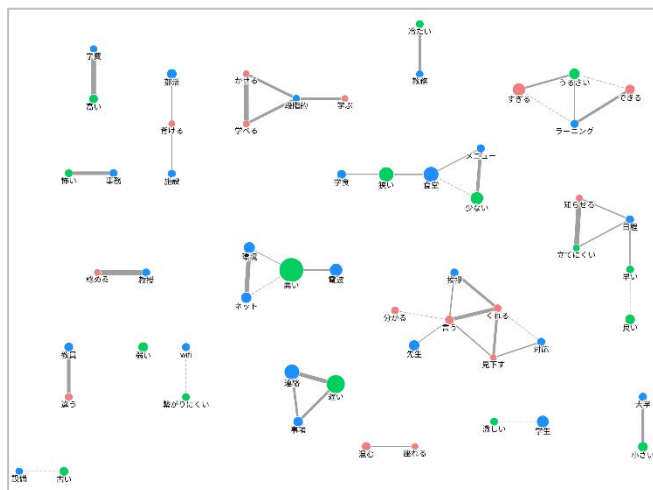
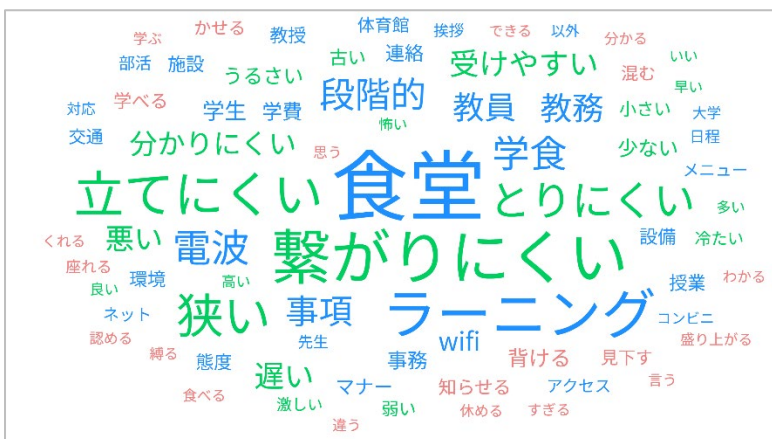


【短大】

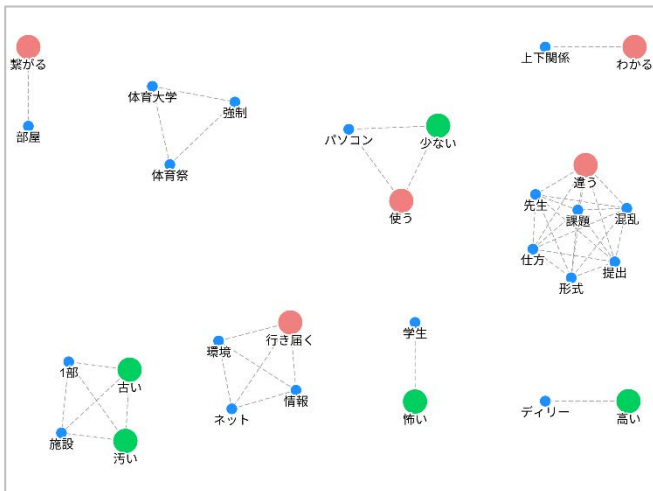
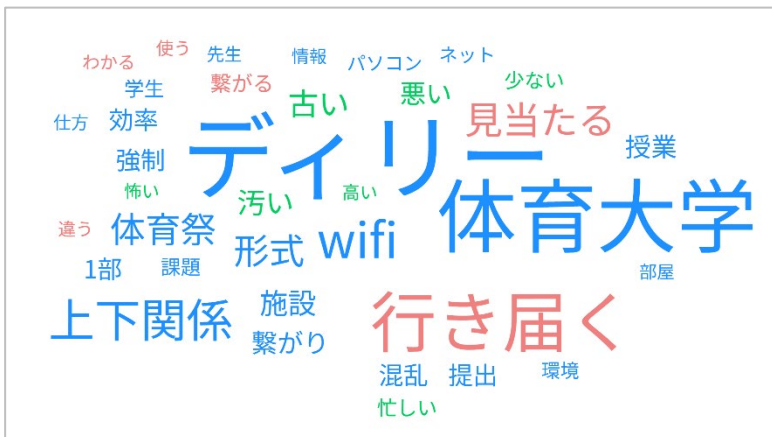


■大学・短大の悪いところ

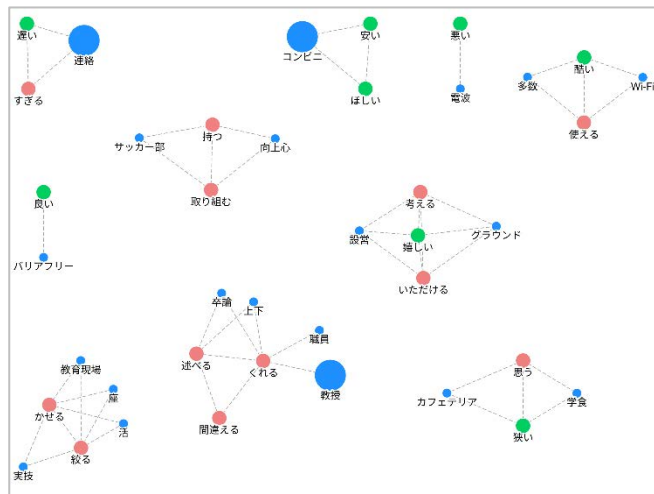
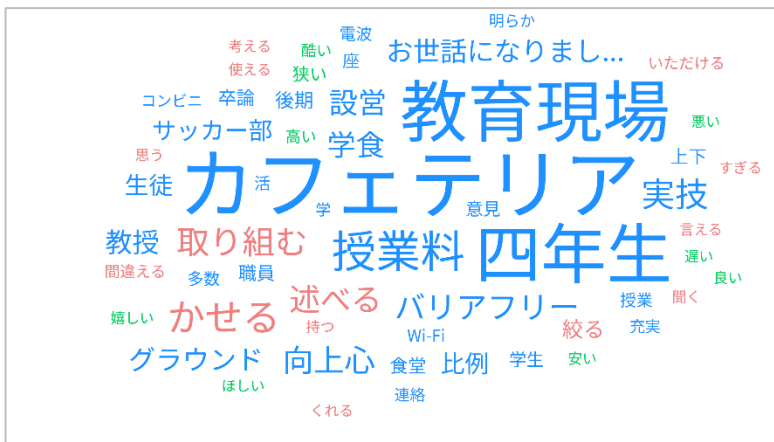
【大学】



【短大】



■意見・要望（自由記述）



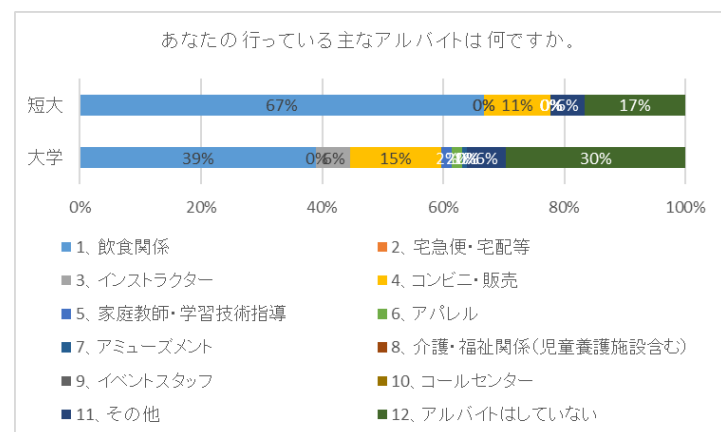
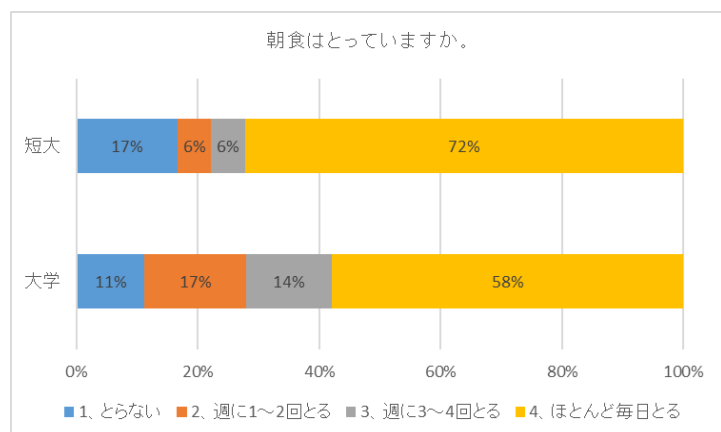
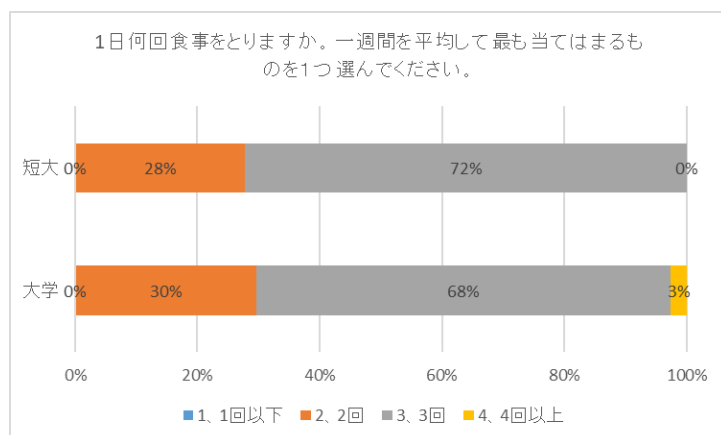
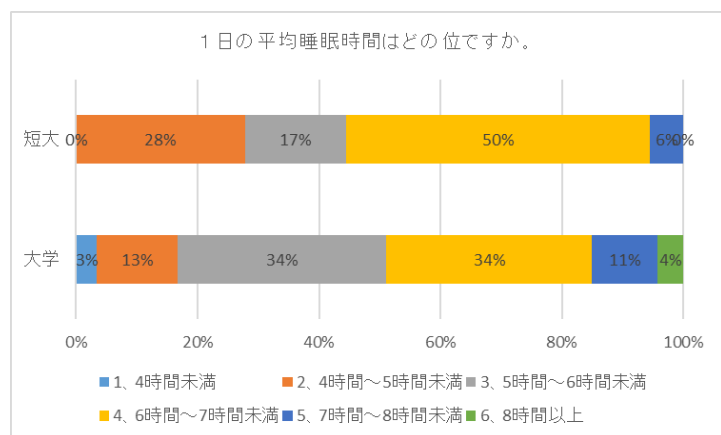
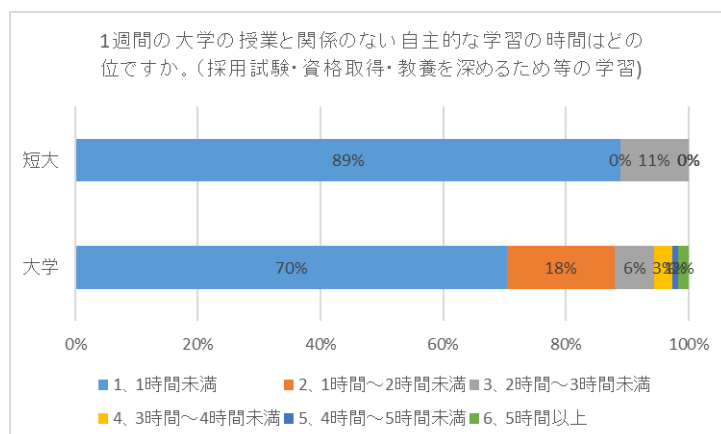
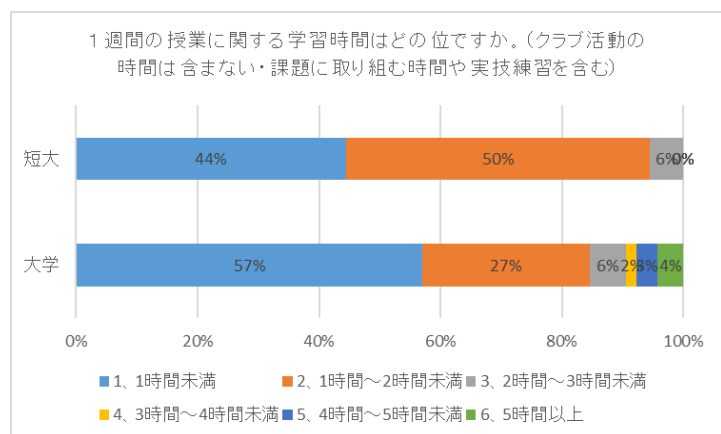
大学の生活と学びに関するアンケート（在学生）集計結果

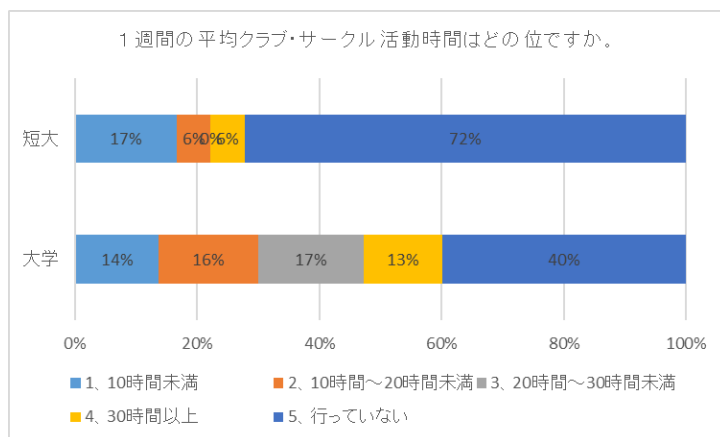
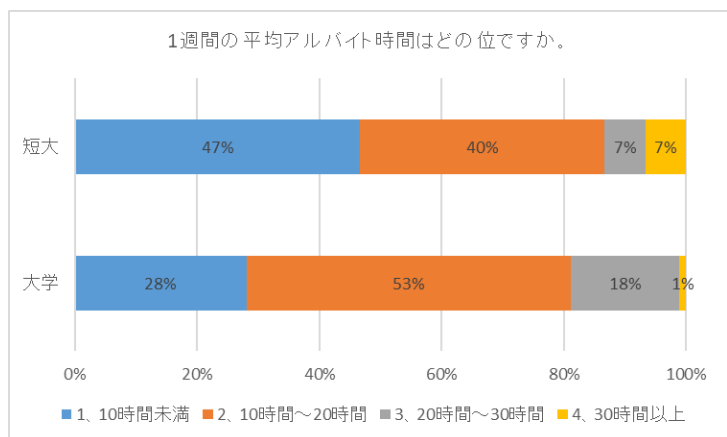
調査実施日：令和7年2月下旬～4月上旬（UNIVERSAL PASSPORT 通知）

大学在学生数：793名／回答数233名／回答率29.4%

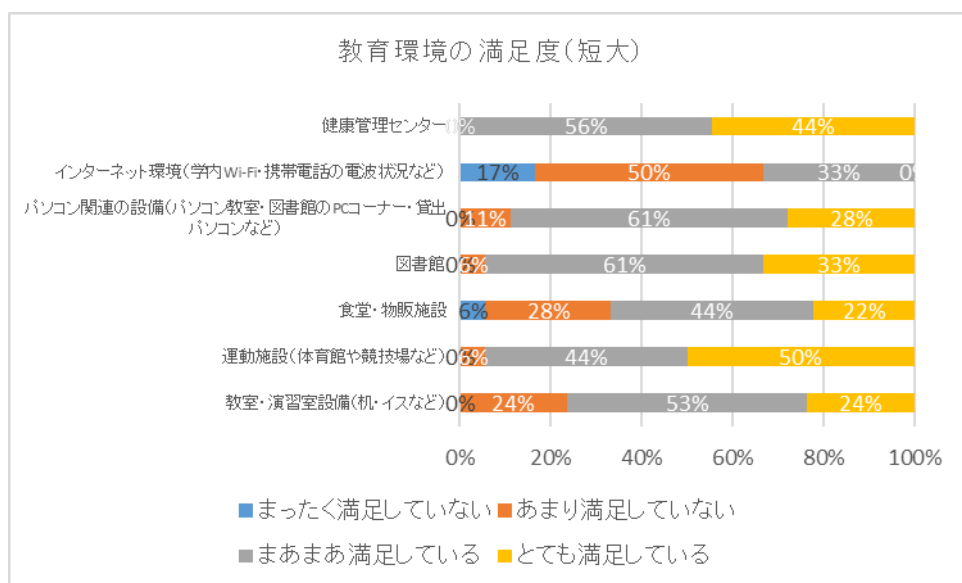
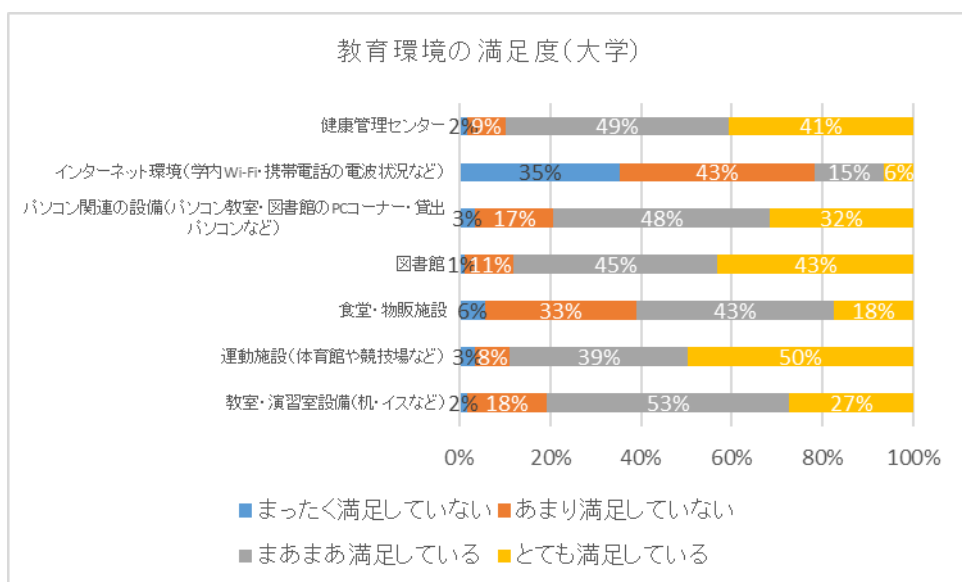
短大在学生数：27名／回答数18名／回答率66.7%

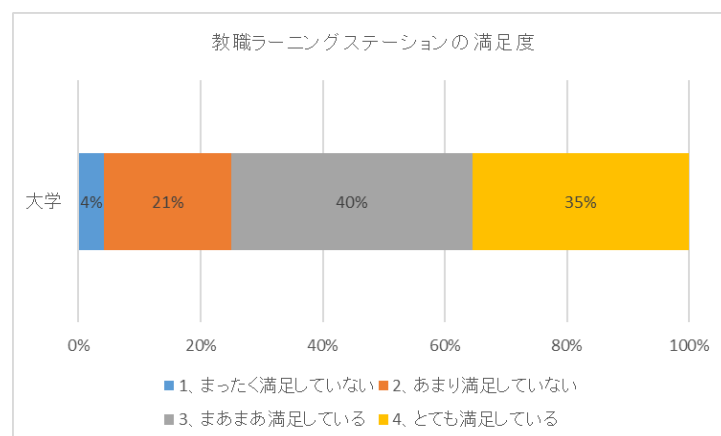
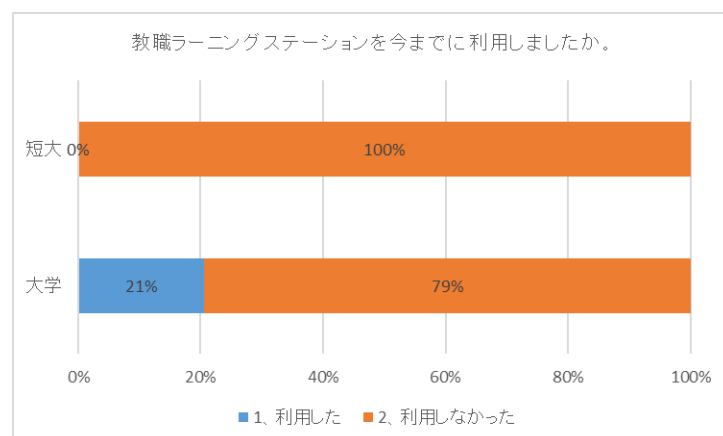
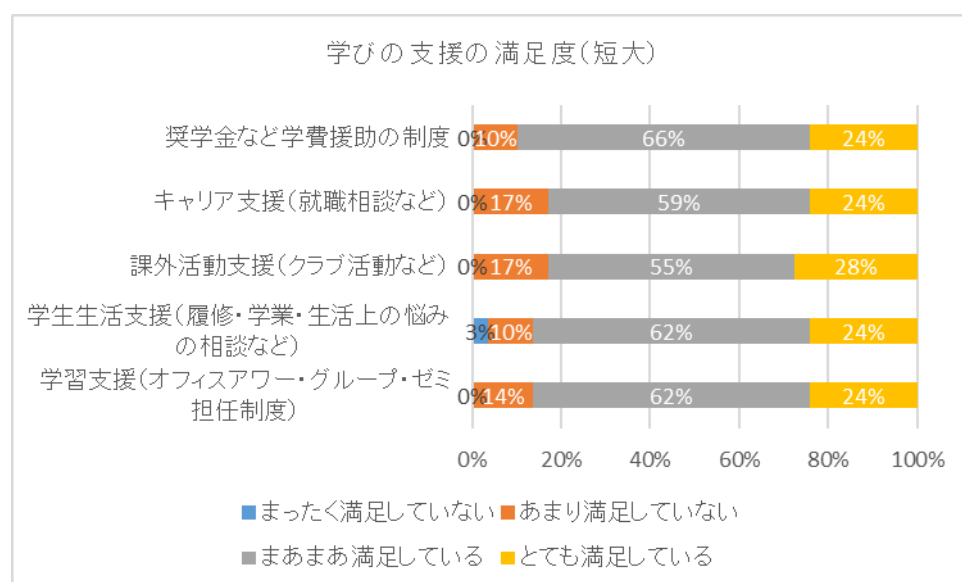
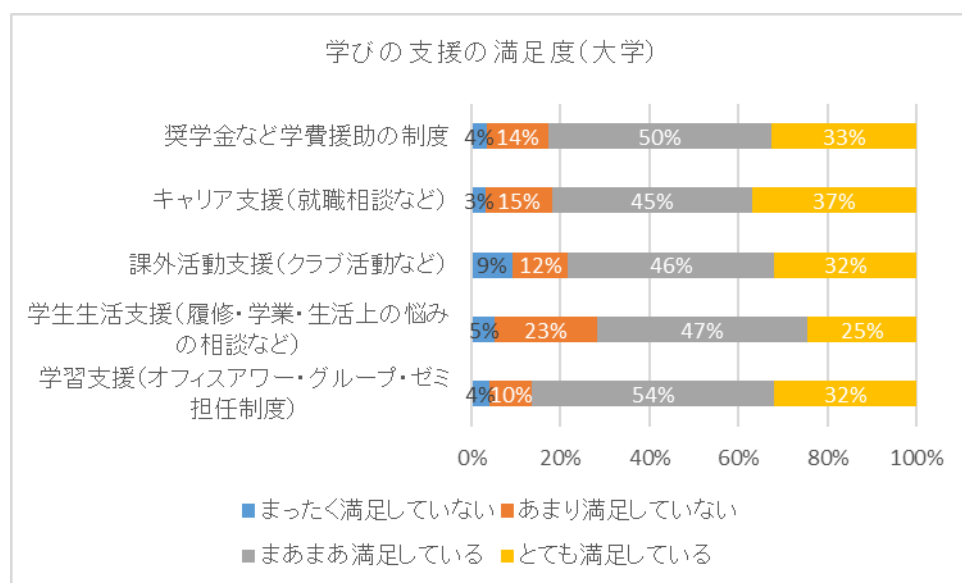
■ 学生生活

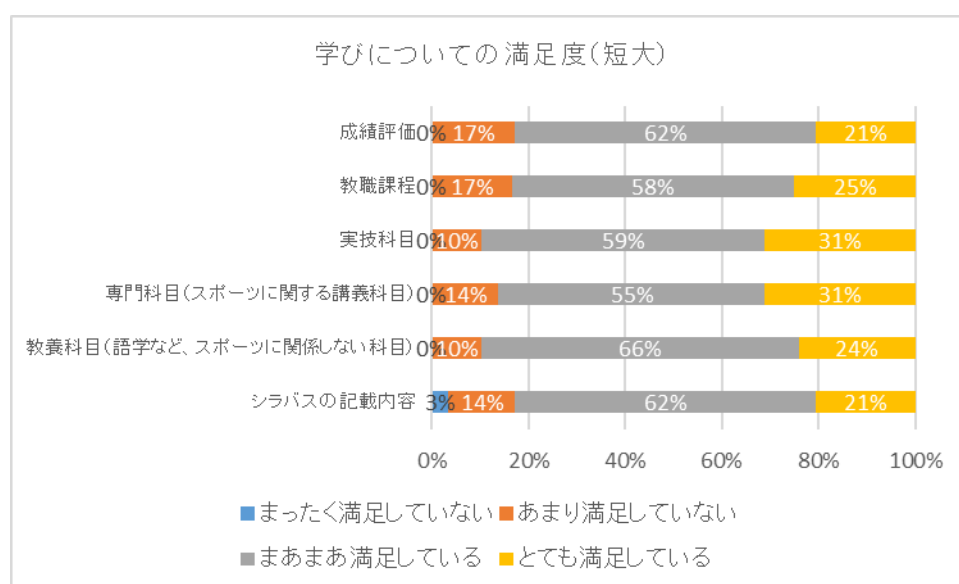
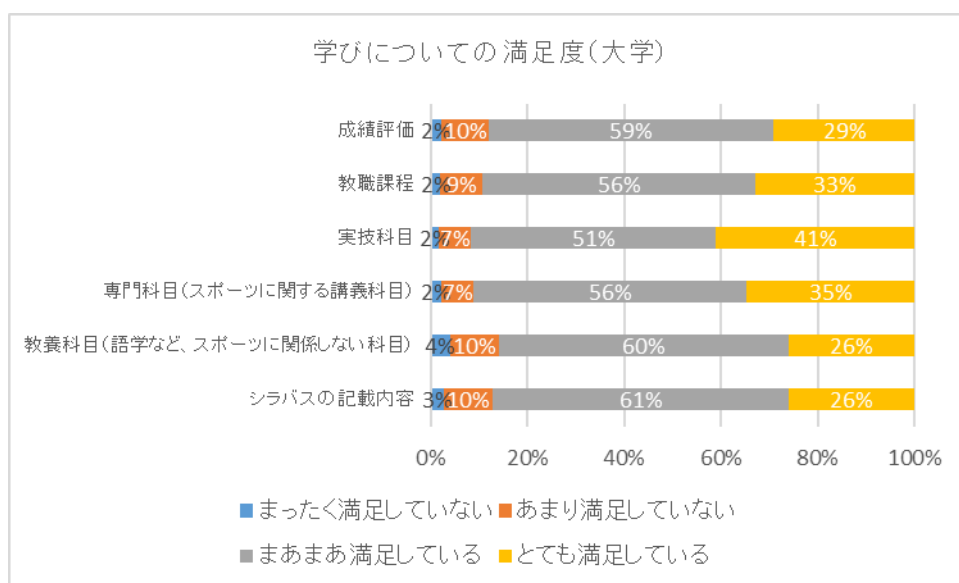




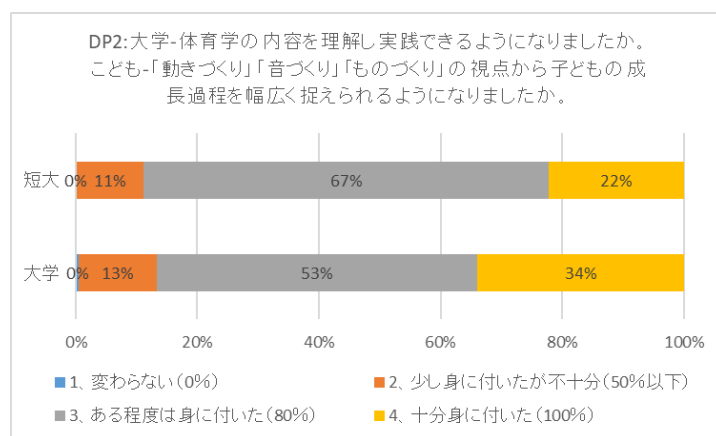
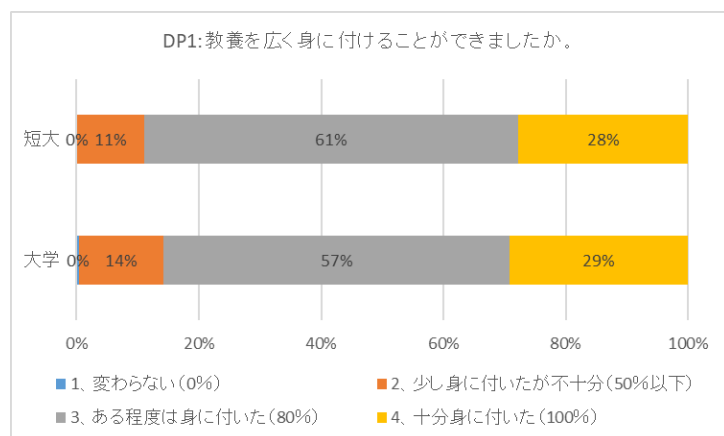
■満足度

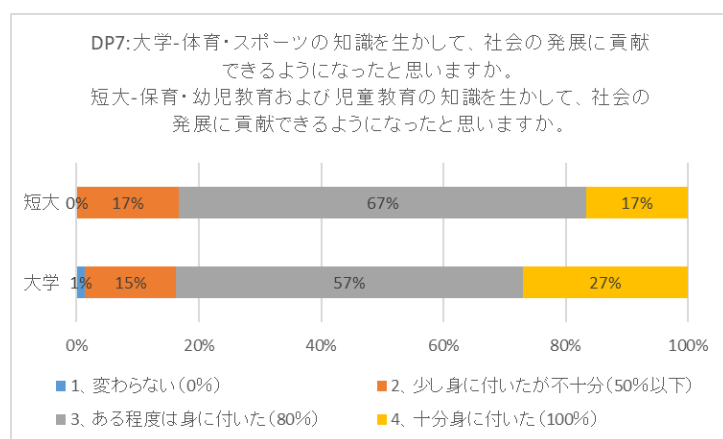
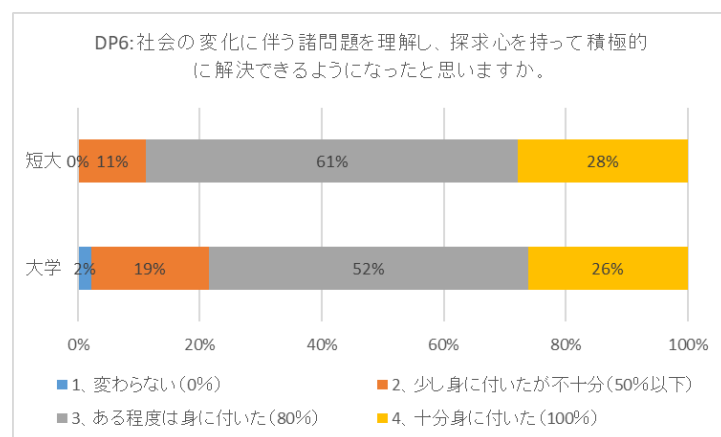
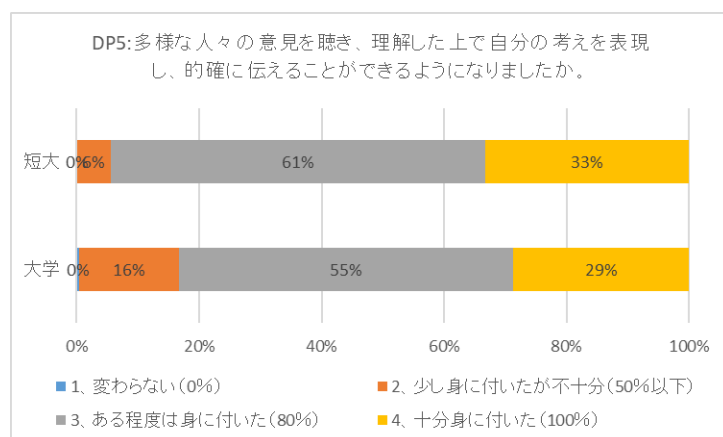
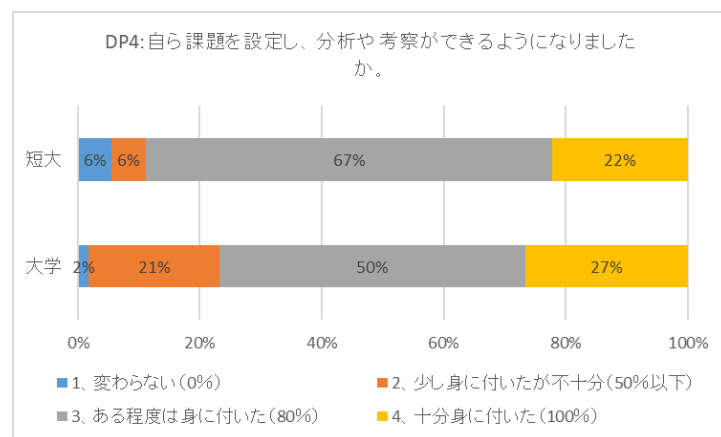
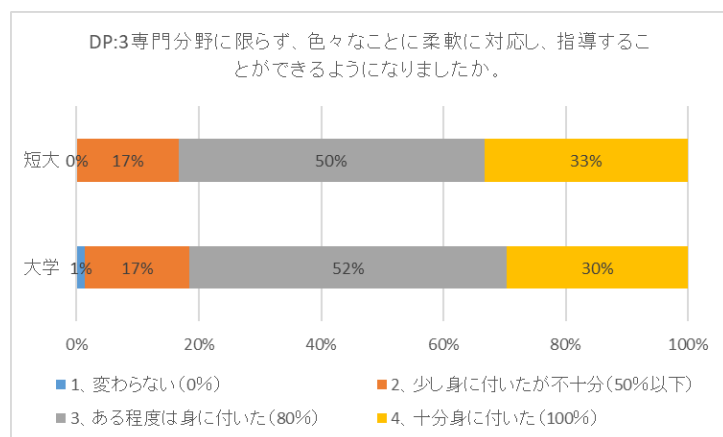




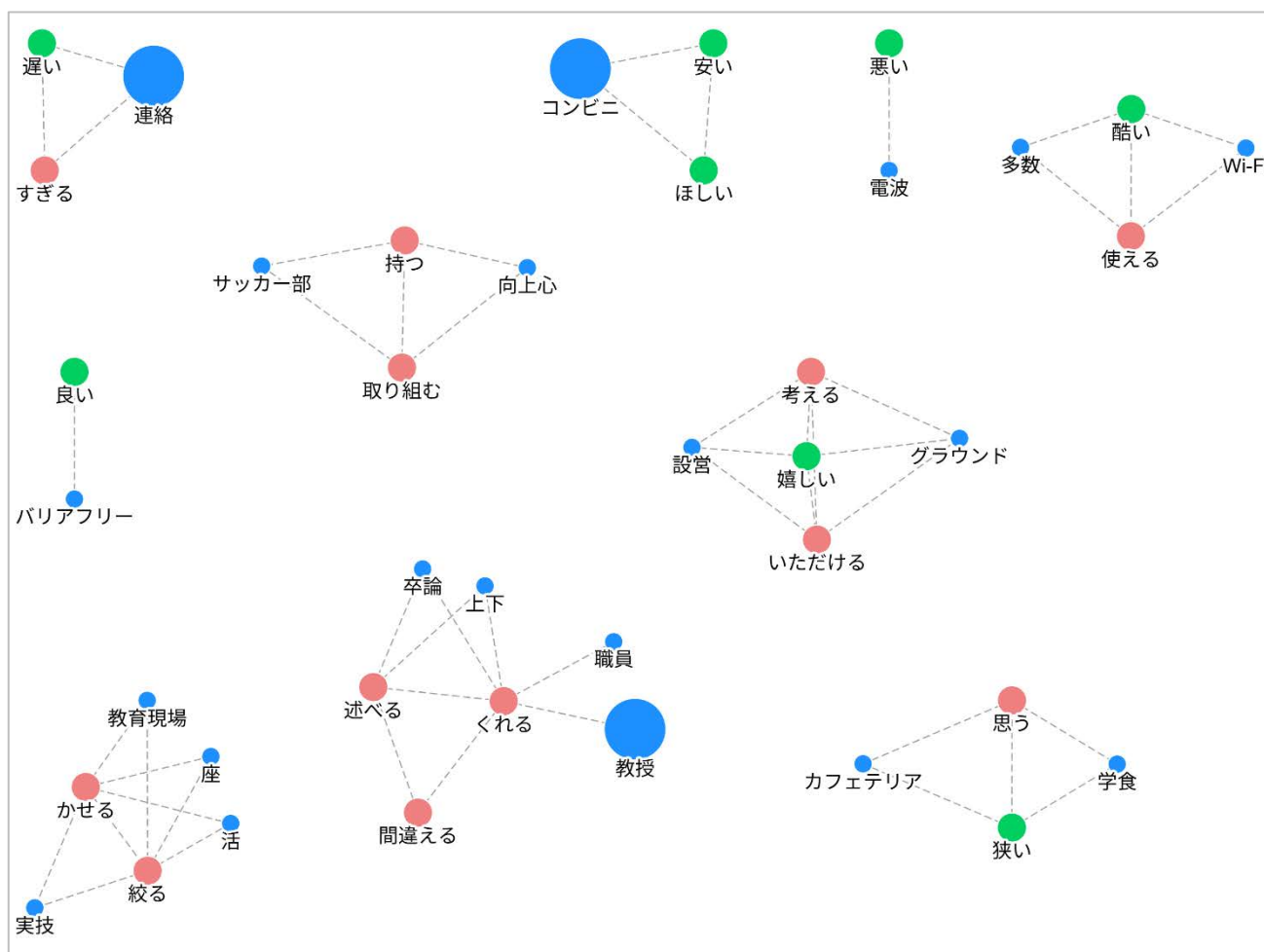
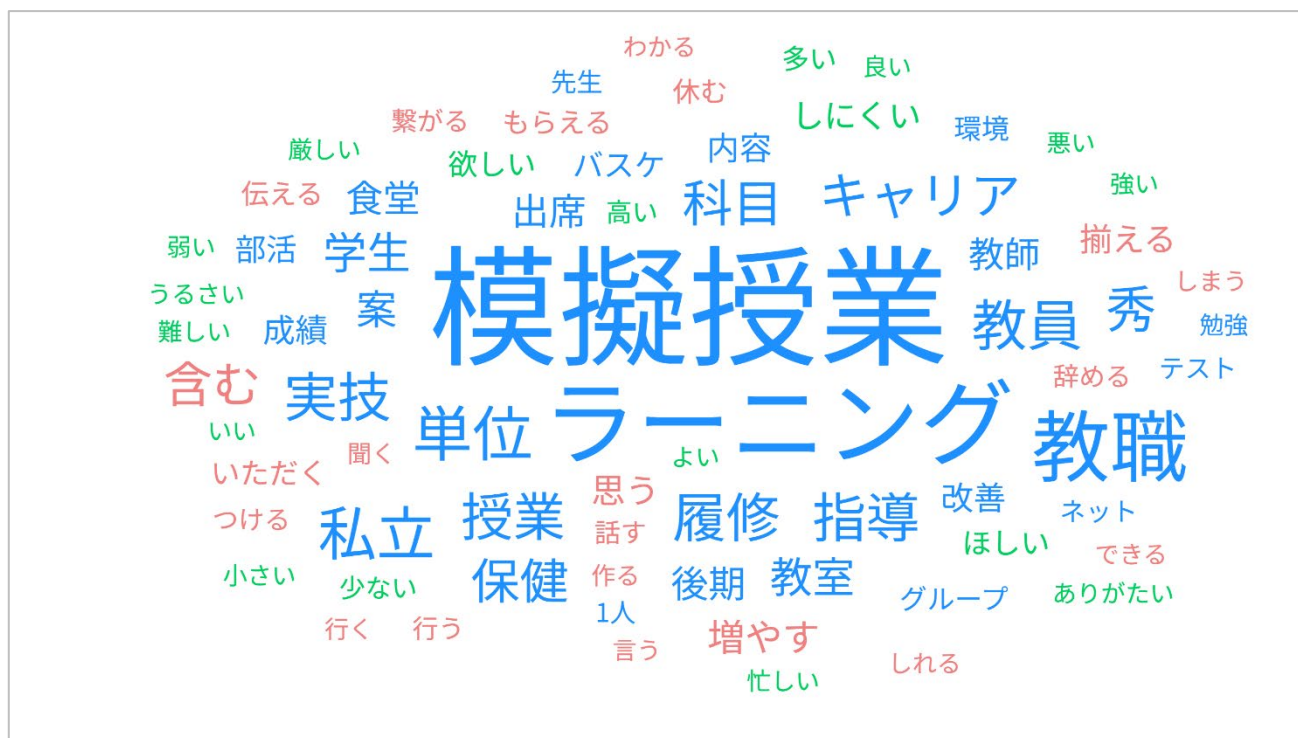


■成長実感 1年前と比べて





■意見・要望（自由記述）



<令和6年度大学の生活と学びに関するアンケート>

カテゴリー：学修実態

1. 1週間の授業に関する学習時間はどの位ですか
(クラブ活動の時間は含まない・課題に取り組む時間や実技練習を含む)
 - 1、1時間未満
 - 2、1時間～2時間未満
 - 3、2時間～3時間未満
 - 4、3時間～4時間未満
 - 5、4時間～5時間未満
 - 6、5時間以上

2. 1週間の大学の授業と関係のない自主的な学習の時間はどの位ですか
(採用試験・資格取得・教養を深めるため等の学習)
 - 1、1時間未満
 - 2、1時間～2時間未満
 - 3、2時間～3時間未満
 - 4、3時間～4時間未満
 - 5、4時間～5時間未満
 - 6、5時間以上

カテゴリー：学生生活

3. 1日の平均睡眠時間はどの位ですか (当てはまるものを1つ選んでください)
 - 1、4時間未満
 - 2、4時間～5時間未満
 - 3、5時間～6時間未満
 - 4、6時間～7時間未満
 - 5、7時間～8時間未満
 - 6、8時間以上

4. 1日何回食事をとりますか。一週間を平均して最も当てはまるものを選んでください。
 - 1、1回以下
 - 2、2回
 - 3、3回
 - 4、4回以上

5. 朝食はとっていますか
 - 1、とらない
 - 2、週に1～2回とる
 - 3、週に3～4回とる
 - 4、ほとんど毎日とる

6. あなたの行っている主なアルバイトは何ですか（当てはまるものを1つ選んでください）

- 1、飲食関係
- 2、宅急便・宅配等
- 3、インストラクター
- 4、コンビニ・販売
- 5、家庭教師・学習技術指導
- 6、アパレル
- 7、アミューズメント
- 8、介護・福祉関係（児童養護施設含む）
- 9、イベントスタッフ
- 10、コールセンター
- 11、その他
- 12、アルバイトはしていない

7. 【6の質問で1～11に回答した方への限定質問】

1週間の平均アルバイト時間はどの位ですか（当てはまるものを1つ選んでください）

- 1、10時間未満
- 2、10時間～20時間
- 3、20時間～30時間
- 4、30時間以上

8. 1週間の平均クラブ・サークル活動時間はどの位ですか（当てはまるものを1つ選んでください）

- 1、10時間未満
- 2、10時間～20時間未満
- 3、20時間～30時間未満
- 4、30時間以上
- 5、行っていない

本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。

【9～13 選択肢（共通）】：

1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

9. 教室・演習室設備（机・イスなど）

10. 運動施設（体育館や競技場など）

11. 食堂・物販施設

12. 図書館

13. パソコン関連の設備（パソコン教室・図書館のPCコーナー・貸出パソコンなど）

14. インターネット環境（学内Wi-Fi・携帯電話の電波状況など）

15. 健康管理センター

本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。

【14～18、20 選択肢（共通）】：

1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

16. 学習支援（オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度）

17. 学生生活支援（履修・学業・生活上の悩みの相談など）

18. 課外活動支援（クラブ活動など）

19. キャリア支援（就職相談など）

20. 奨学金など学費援助の制度

21. 教職ラーニングステーションを今まで活用しましたか。

1. 利用した

2. 利用しなかった

22. 【1.活用した に回答した方への限定質問】

教職ラーニングステーションの満足度を教えてください。

本学での学びについて、あなたの満足度を教えてください。

【21～27 選択肢（共通）】：

1、まったく満足していない、2、あまり満足していない、3、まあまあ満足している、4 とても満足している

23. カリキュラム（履修できる科目の種類や履修条件）

24. シラバスの記載内容

25. 教養科目（語学など、スポーツに関係しない科目）

26. 専門科目（スポーツに関する講義科目）

27. 実技科目

【教職課程を履修している方への限定質問】

28. 教職課程科目

29. 成績評価

本学であなたが学び、身に付けたことについてお聞きます。

【28～34 選択肢（共通）】：

- 1、変わらない（0%） 2、少し身に付いたが不十分（50%以下）
3、ある程度は身に付いた（80%） 4、十分身に付いた（100%）

30. 1年前のあなたに比べて、教養を広く身に付けることができましたか。

31. 1年前のあなたに比べて、体育学の内容を理解し実践できるようになりましたか。（大学）
保健体育の内容を理解し実践できるようになりましたか。（保健体育）
「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から子どもの成長過程を
幅広く捉えられるようになりましたか。（こどもスポーツ教育）

32. 1年前のあなたに比べて、専門分野に限らず、色々なことに柔軟に対応し、指導することができるよ
うになりましたか。

33. 1年前のあなたに比べて、自ら課題を設定し、分析や考察ができるようになりましたか。

34. 1年前のあなたに比べて、多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝え
ることができるようになりましたか。

35. 1年前のあなたに比べて、社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決できるよ
うになったと思いますか。

36. 1年前のあなたに比べて、体育・スポーツの知識を生かして、社会の発展に貢献できるようになった
と思いますか。（大学・保健体育）
保育・幼児教育および児童教育の知識を生かして、社会の発展に貢献でき
るようになったと思いますか。（こどもスポーツ教育）

最後に、本学について教えてください。

【35～37 自由記述】

37. あなたにとって本学はどんな大学でしたか。

38. あなたにとって本学の良いところはどこですか。

39. あなたにとって本学の悪いところはどこですか。

⇒37～39 は卒業学年のみの設問

最後に、気になることや意見・要望があれば記入してください。

【自由記述】

40. 自由記述



【卒業生向け】

令和6年度 東京女子体育大学・体育学部体育学科

「学生生活および学びに関するアンケート」 実施について



このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの1年間の成長実感を教えていただくものになります。

集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。

重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

1. スマートフォンで右のQRコードを読み込んでアンケート回答フォームを表示してください。



2. アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞ ガイダンス終了まで

- ・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外には使用しません。
- ・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
- ・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。

担当：1号館3階 企画調査室 kikaku@twcpe.ac.jp



【卒業生向け】

令和6年度 東京女子体育短期大学・保健体育学科

「学生生活および学びに関するアンケート」 実施について



このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの1年間の成長実感を教えていただくものになります。

集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。

重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

1. スマートフォンで右のQRコードを読み込んでアンケート回答フォームを表示してください。



2. アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞ ガイダンス終了まで

- ・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外には使用しません。
- ・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
- ・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。

担当：1号館3階 企画調査室 kikaku@twcpe.ac.jp



【卒業生向け】

令和6年度 東京女子体育短期大学・こどもスポーツ教育学科

「学生生活および学びに関するアンケート」

実施について



このアンケートは、学生の皆さんの生活・環境の把握、また大学生活での満足度とこの1年間の成長実感を教えていただくものになります。

集計した結果は、皆さんにフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用されます。

重要なアンケートですのでぜひご協力をお願いいたします。

＜回答方法＞

1. スマートフォンで右のQRコードを読み込んでアンケート回答フォームを表示してください。



2. アンケートの質問項目ごとの指示に従ってご回答ください。

＜回答締切り＞ ガイダンス終了まで

- ・ご回答者に関する情報は本学が責任を持って管理し、調査目的以外には使用しません。
- ・調査の分析は調査担当者のみが実施します。
- ・本アンケートに関するご質問については、企画調査室へご連絡ください。

担当：1号館3階 企画調査室 kikaku@twcpe.ac.jp